

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課	
		課長名	櫻江	
事業名	地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進			
	施策番号 I - 1 - (1) - ①			
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、市民や企業に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行います。			事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) ワーク・ライフ・バランス推進事業 本事業はその一部	目安の金額
	9,633 千円	10,531 千円	人件費	課長 0.02 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、市民や企業等に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行い、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現していきます。	成果実績	男女共同参画社会に関する調査(平成23年度)において、ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度が64%となりました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度) 増加(26年度)			—		
	子育て中の労働者で過労働時間60時間以上の雇用者の割合	29.0 %	減少	32.0 %	やや遅れ 遅れ	順調
(最終目標と目標年度) 減少(26年度)			—			

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催します。(市が直接実施)</li> <li>従業員向け広報啓発や、「ワーク・ライフ・バランス新聞」の小・中学校等全保護者へ配付します。</li> <li>ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業を実施します。(一部委託)</li> </ul>	活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。
------	--	------	------------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催回数	3 回	3 回	3 回	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、本市におけるワーク・ライフ・バランスの推進施策について協議するとともに、啓発事業を実施します。			100.0 %		
	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間参加者数	87,777 人	増加	85,512 人	やや遅れ 遅れ	順調
ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間への参加を促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進をPRします。			— %			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、「ワーク・ライフ・バランス新聞」を製作し、市内の保育所、幼稚園、小・中、特別支援学校の全保護者へ配付を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけていきます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課	
		課長名	櫻江	
事業名	企業等におけるワーク・ライフ・バランス推進の支援			
	施策番号 I - 1 - (1) - ①			
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行います。			
	事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
コスト	事業費	24年度執行額 4,344 千円	25年度当初予算額 5,360 千円	(事業費備考) ワーク・ライフ・バランス推進事業 本事業はその一部
				目安の金額 課長 0.03人 係長 0.10人 職員 0.10人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。			成果実績	(公財)日本生産性本部が実施する「第6回ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を本市を拠点とする2社が入賞し、また福岡県内初の受賞という快挙であります。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】		
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	仕事と生活のバランスについて、「希望」と「現実」が一致している人が少なく、保護者が望むワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)			—				
	子育て中の労働者で過労働時間60時間以上の雇用者の割合	29.0 %	減少	32.0 %	やや遅れ 遅れ	順調		
子どもと向き合う時間をとれるようにするとともに、子どもの病気など生活上必要なときに対応できるようにするためには、長時間労働の解消が必要であることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)			—					

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け講演会や、アドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。(一部委託)</li> <li>従業員向け広報啓発や、ワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業・事業所に呼びかけます。(一部委託)</li> <li>ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業を行います。(一部委託)</li> </ul>	活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。
------	--	------	------------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数	5 社	同程度	9 社	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することにより、企業等における取組みを支援・促進します。			— %		
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数	11 回	同程度	10 回	やや遅れ 遅れ	順調
新たにワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする事業者等や、その充実を図ろうとする事業者等に対し、アドバイザー(社会保険労務士)を派遣して、その取組みを支援・促進します。	— %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス新聞」を市内事業所へ配付を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけていきます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課	
		課長名	櫻江	
事業名	子育て等家庭生活や地域活動における男性の参加促進			
	施策番号 I - 1 - (1) - ①			
事業概要	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、男性向け家事・子育て関連講座等を開催します。			
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	事業費備考 (事業費備考) 男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業の一部
3,585 千円		4,102 千円	目安の金額 440 千円	課長 0.01 人 係長 0.01 人 職員 0.03 人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	子育て等の家庭生活において男女共同参画をさらに推進するため、男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて、男性向け家事・子育て関連講座等を開催し、男性の家事・子育てなどへの参画を進めます。			成果実績	男女共同参画社会に関する調査(平成23年度)において、ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度が64%となりました。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	仕事と生活のバランスについて、「希望」と「現実」が一致している人が少なく、保護者が望むワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)			—			
	子育て中の労働者で週労働時間60時間以上の雇用者の割合	29.0 %	減少	32.0 %	やや遅れ 遅れ	順調	
子どもと向き合う時間をとれるようにするとともに、子どもの病気など生活上必要などきに対応できるようにするためには、長時間労働の解消が必要であることから成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)	—						

活動計画	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて、男性向け家事・子育て関連講座を開催し、男性の家事・子育てへの参画を進めます。(指定管理委託)			活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	ムーブ及びレディスでの男性向け家事・子育て関連講座開催数	16 講座	同程度	14 講座	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	男性の家事・子育て活動への参画を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男性向け家事・子育て関連講座を開催します。						
	ムーブ及びレディスでの男性向け家事・子育て関連講座参加者数	623 人	増加	728 人	やや遅れ 遅れ	順調	
男性の家事・子育てや地域活動への参画を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男性向け家事・子育て関連講座を開催します。							

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	家庭生活への男性の参画促進のために、「介護入門講座」や「父と子の食育講座」などを実施し、知識と実技を習得してもらうことが出来ました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入し、効率的かつ経済的な事業実施に努めています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	保育課	
		課長名	重谷	
事業名	保育カウンセラー事業			
	施策番号 I - 1 - (1) - ①			
事業概要	虐待等が疑われる子どもやその保護者に対する保育所の保育指導や相談機能の強化、家庭保育力の向上を図るため、保育所の訪問等を行うカウンセラー事業を実施するもの。			
コスト	事業費	24年度執行額 1,426 千円	25年度当初予算額 3,582 千円	(事業費備考)
				目安の金額 5,300 千円
				課長 0.20 人 係長 人 職員 0.40 人
				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	虐待等が疑われる子どもや、その保護者に対応する保育所の保育指導や相談機能の強化、家庭保育力の向上を図るため、対象の保育所に訪問し、対象児の観察、保育所職員のカウンセリング等を行います。			成果実績	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所を訪問し、前年度を上回る件数の事例について、保育所の負担軽減を行いました。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %			やや遅れ 遅れ
	(最終目標と目標年度)						

活動計画	臨床心理士と保育課保育士が、虐待等が疑われる子どもや、その保護者に対応する保育所を訪問し、助言、指導等を実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	臨床心理士と保育課保育士による保育所訪問等、保育所への対応の回数			99 回	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	臨床心理士と保育課保育士が保育所を訪問し、虐待等の疑われる子どもの観察、指導・保育所職員のカウンセリング等を実施することが保育所の質の向上になるので指標として掲げました。	99 回	100 回	99.0 %		
				%		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所(53か所)を訪問、報告の上った全事例について保育所への助言、指導等を通し、虐待への意識の向上、保育所の負担軽減を行いました。また、訪問して一定期間後に電話連絡等のフォロー(69か所)を行い、継続した支援を行いました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活カ導入の視点	保育カウンセラーの賃金は子ども総合センターの臨床心理士報償費に基づき、金額を設定しています。カウンセリング等の専門的指導をする上で、これ以上のコスト削減はできません。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題 26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河淵

事業名	研修内容の充実(保育所)				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い、一層の充実を図ります。具体的には相談技術、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実します。また、市内外で行われる専門研修に積極的に参加します。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.20人	(人件費備考)
	4,326 千円	4,529 千円		3,675 千円	係長 0.10人 職員 0.05人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所の研修について、その効果を検証しながら内容等の検討を行い、一層の充実を図ります。具体的には相談技術、児童虐待問題、情報化や国際化等の研修を充実します。また、市内外で行われる専門研修に積極的に参加します。			成果実績	研修後の理解度アンケートでは、概ね9割の参加者が「理解できた」「概ね理解できた」としており、そのほとんどが研修内容を保育の現場で活かしたいとしています。
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)					
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	実施計画に基づいた17項目(新任・中堅・主任級研修や課題別(言葉・表現・健康)研修、保育セミナー、乳児保育、統合保育、カウンセリング研修、心理学、施設長研修等)の研修を行います。 延べ日数:73日	活動実績	計画した17項目(延べ日数72日、参加人数延べ1,600名)の研修を行いました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	施設長や保育士等の研修の実施					
	計画した17項目の研修を年度内に履修します。	72 日	72 日	72 日 100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			%	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	計画した17項目(延べ日数72日 参加人数1,600名)の研修を年度内に履修しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	北九州市福祉事業団に委託された社会福祉研修所は、長年の実績があり優れた研修のノウハウを持っています。同コストで今まで以上の研修を企画・実施することは困難と考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	保育課	
		課長名	河洑	
事業名	認可外保育施設研修代替職員費補助			
	施策番号 I - 1 - (1) - ①			
事業概要	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)が市主催の研修に参加するために、代替職員を雇用した場合の経費の一部を補助するものです。			
	事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)
		142 千円	202 千円	目安の金額    課長 人 0 千円    係長 人 職員 人 (人件費備考)

【Plan】計画 →			【Do】実施 → 【Check】評価			
目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	認可外保育施設の職員に積極的な受講を勧め、職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。	成果実績	認可外保育施設(届出対象施設)のうち、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」交付の施設数の割合は、82.9%です。		

代表的な成果指標	指標	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)					
	保育の質の向上		向上		大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  <b>順調</b>
	安全や人権等の保育の基礎に関する研修を実施するとともにその参加を促進することにより、認可外保育施設の職員向上及び入所児童の処遇向上を図ります。 (最終目標と目標年度)					
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	北九州市内に所在する認可外保育施設(届出対象施設)が市主催の研修等に参加するために、代替職員を雇用した場合の経費の一部を補助することにより、認可外保育施設の職員の資質向上を目指します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
------	--	------	----------------

活動指標	指標	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)					
	研修に参加した認可外保育施設		36 施設	33	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  <b>順調</b>
	施設における安全保育や子どもの人権、保育技術等の研修、感染症等の最新の情報を盛り込んだ研修会へ参加することで、職員の資質向上を図ります。	32/35 施設 (91.4%)		91.7 %		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p><b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>対象施設36施設中、33施設が研修に参加しました。                      ・H24.7.13 33施設中30施設参加(44人)    ・H24.11.6 35施設中14施設参加(14人)                      ・H24.11.18 35施設中12施設参加(19人)    ・H25.1.23 35施設中15施設参加(16人)                      ・H25.3.28 36施設中27施設参加(34人)                      本事業は、認可外保育施設に従事する職員の資質向上および入所児童の処遇向上を図るものであり、ニーズが高く、その有効性は高いと考えます。</p> <p><b>「経済性」</b>(同成果を低コストで) <b>「効率性」</b>(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>民間保育所運営補助金における職員代替に係る経費から積算(有資格者3,605円、無資格者3,065円)しています。雇用に係る経費の一部補助であるため、これ以上補助額を下げると、代替職員の雇用ができず、研修への参加を断念する施設が増えるおそれがあります。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河淵

事業名	保育指導専門員の配置				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	認可外保育施設の指導監督を強化するため、認可保育所の所長経験者2名を保育課に配置し、きめ細やかな指導を行うものです。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	事業費	24年度執行額 3,334 千円	25年度当初予算額 7,125 千円	(事業費備考)		目安の金額

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	所長経験者の立場から、子どもの育ちや子どもを保育する上で留意すべき事項等を設置者や職員に知らせ、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。			成果実績	認可外保育施設(届出対象施設)のうち、「認可外保育施設指導監督基準を満たす旨の証明書」交付の施設数の割合は、82.9%です。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育の質の向上		向上		大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	安全や人権等の保育の基礎に関する研修の実施や施設の立入調査を行うなど、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を図ります。 (最終目標と目標年度)				順調		
					やや遅れ	順調	
(最終目標と目標年度)				遅れ			

活動計画	認可外保育施設の指導監督を強化するため、認可保育所の所長経験者2名を保育課に配置し、きめ細やかな指導を行い、施設や職員の資質向上及び入所児童の処遇向上を目指します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	認可外保育施設への立入調査の実施	31/31 施設 (100%)	35 施設	35 施設	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	認可外保育施設(届出対象施設全て)に立入調査を行い、指導監督を行います。			100.0 %	順調		
					やや遅れ	順調	
				遅れ			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	届出対象認可外保育施設に対し、立入調査など必要な助言及び指導を実施しました。本事業は、認可外保育施設に対する指導監督を強化するため、平成23年度より認可保育所の所長経験者である保育指導専門員を配置し、きめ細やかな指導を行ったものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	現在の指導専門員は、嘱託員であり、経済性や効率性も重視した雇用形態としています。現在、保育指導専門員は1名ですが、主任、係長共に所長経験者のため、立入調査の際は、少なくとも2名は所長経験者が担当できる状況です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	延長保育事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	保護者の就労形態の多様化や、残業等に伴う保育時間の延長への需要に対応するため、通常の保育時間を越えて、午後7時まで延長する「延長保育」の実施箇所数を拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育の実施を検討します。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	761,528 千円	855,157 千円			1,750 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	午後7時まで延長する「延長保育」の実施箇所数を拡充します。また地域の実状を踏まえ、子どもの生活リズムに配慮しながら、午後8時までの延長保育の実施を検討します。		成果実績	当初の計画通り、延長保育事業(1時間延長)の実施施設を2箇所拡充し、延べ利用児童数は17,513人/月であり、多くの方々に利用されています。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %		
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	延長保育事業を実施する保育所の施設数を拡充します。午後8時までの延長保育の実施について検討します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	延長保育事業を実施する保育所の施設数(午後7時まで)			144 箇所	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育所の新設や公立民営化に伴う延長保育事業の実施および既存保育所の新規実施により、実施施設数の増を図ります。 (最終目標と目標年度) 153箇所(平成26年度)	143 箇所	143 箇所	100.7 %		
	(最終目標と目標年度)					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年度は、延長保育事業(1時間延長)の実施施設を2箇所増設し、合計144施設で延長保育を実施しました。平成24年度の延べ利用児童数は、17,513人であり、多様化する就労形態への対応として高い効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	国が、補助基準額に準じて補助を設定しており、効果的に事業を実施しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇
施策番号	
I - 1 - (1) - ①	
事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	(人件費備考) 課長 0.00 人 係長 0.00 人 職員 0.10 人

事業名	夜間(長時間)保育事業				
事業概要	保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するため、午前7時から概ね深夜0時まで利用できる「夜間保育所」を1所開設しています。今後は利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。				
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額
	8,700 千円	12,508 千円			750 千円

## 【Plan】計画 →      【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 保護者の就労形態の多様化に伴い、夜間の保育需要に対応するため、午前7時から概ね深夜0時まで利用できる「夜間保育所」を1所開設しています。今後は利用者の動向を踏まえて入所定員の拡大を検討します。	成果実績	夜間保育事業の延べ利用児童数は、519人/月であり、現在の入所状況及び入所申込状況を考えると概ね順調に対応できています。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 保育所に対する満足度(保育内容)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %		
	(最終目標と目標年度)			-		順調

活動計画	現在の施設で事業を継続し利用者の動向をふまえて入所定員の拡大を検討します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
------	---------------------------------------	------	----------------	--	--

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 夜間保育事業を実施している保育所の現状維持	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	夜間保育事業の実施施設数については現状の体制の維持に努めます。 (最終目標と目標年度) 現状維持(平成26年度)	1 箇所	1 箇所	1 箇所 100.0 %		
						順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	現在の入所状況及び入所申込状況から考えると、現状1所に対応可能と思われます。 平成24年度は延べ利用児童数は、519人/月であり、多様化する就労形態への対応として深夜にまで仕事及び保護者に高い効果があります。
「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	国が示す補助基準額等に基づき補助を行っており、効果的に事業を実施しています。

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入</b>	
見直し状況等	26年度の活動計画(見直し内容)
課題	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	休日保育事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	市内の認可保育所に入所、または家庭保育員制度を利用している児童等で、日曜日や祝日等に保護者の就労により家庭での保育ができない児童を、指定の保育所で保育する制度です。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 人
	17,075 千円	17,358 千円			750 千円	係長 人 職員 0.10 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 日曜日、祝日及び年末に就労している保護者に対応するため、休日等に指定された保育所を開所し、保護者の就労を支援します。	成果実績	休日保育事業は、各区1箇所で開催し、平成24年度の延べ利用児童数は、1,522人/日であり、休日等に就労する多くの保護者に利用されています。
----	---	------	--

代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
		保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元氣発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %		
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	休日等に指定した保育所を開所します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。
------	--------------------	------	----------------

活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
		休日保育事業を実施している保育所の施設数			7 所	大変順調 順調
	日曜日、祝日及び年末に就労している保護者に対応するため、休日等に指定した保育所を開所します。 (最終目標と目標年度) 9箇所(平成26年度)	7 所	7 所	100.0 %		
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	保護者の就労形態が多様化する中、各区1か所で事業を実施しました。平成24年度の延べ利用児童数は1,522人/日であり、多様化する就労形態への対応として、一定の効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額となっており、合理的に実施しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	特定保育事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	勤務などの理由により家庭で保育することが出来ない児童を、午前のみ、午後のみ利用など必要な日時について柔軟に保育する制度です。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
						( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 人
	5,760 千円	7,200 千円			750 千円	係長 人 職員 0.10人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	パート就労などの多様な働き方を支援するため、週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。		成果実績	平成24年度における特定保育事業の延べ利用児童数は561人/日であり、パート就労などの多様な働き方をしている保護者を支援しており、概ね順調であるといえます。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %		
	(最終目標と目標年度)				遅れ	順調

活動計画	週に2,3日程度または午前か午後のみなどの就労形態に応じて柔軟に利用形態を決めることができる「特定保育」を実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	特定保育事業を実施している保育所の施設数			5 所	大変順調 順調 やや遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	特定保育事業の実施箇所数について、現状の実施体制の維持に努めます。 (最終目標と目標年度) 現状維持(平成26年度)	5 所	5 所	100.0 %		
	(最終目標と目標年度)				遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年度の延べ利用児童数は561人/日であり、多様化する就労形態に対応しており一定の効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	委託料は国の補助基準額をベースに実績に応じた額となっており、合理的に実施しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	急病の子どもを支える仕組みづくり				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	0 千円	0 千円			575 千円	課長 0.05 人 係長 人 職員 人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。			成果実績	社会福祉研修所における研修を通じて、保育所等の施設が子どもの病気時の対応についての理解を深めており、急病の子どもを支える仕組みづくりは順調に推進されています。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)						
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発達！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %	順調 やや遅れ 遅れ	順調	

活動計画	仕事と子育ての両立を支援するため、保育所等の施設やボランティア、医療関係者、企業等の職場、保護者などが子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支える仕組みづくりを推進します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	社会福祉研修所における研修の実施と企業などの職場に対する働きかけ					
	保育所等の施設が、子どもの病気時の対応についての理解を深めるため、社会福祉研修所において研修を実施しました。 企業などの職場に対して、子どもの病気についての理解を深めるための情報提供を行いました。				大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「ほっと子育てふれあいセンター」など、各種団体による支援の促進 「ほっと子育てふれあいセンター」など、各種団体による支援の促進のための情報提供を行います。				順調 やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	保育所に対しては、社会福祉研修所における研修を通じて、乳幼児期の子どもの病気や、保育所などでの対応についての啓発を行いました。この研修は、保育所等の施設などが子どもの病気についての理解を深め、相互に連携しながら、急病の子どもを支えるものであり、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	保育課の課長級職員を研修の講師とするなど、必要最小限のコストで高い効果が得られるものと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	病児・病後児保育の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	病児・病後児の児童に対応するため、医療機関併設型の施設において児童を保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。あわせて、より効果的・効率的にサービスを提供するため、施設の空き情報を共有化して保護者に提供するなど、病児保育のネットワーク化を進めます。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	100,759 千円	114,603 千円		1,750 千円	係長 0.10 人	(人件費備考)
					職員 0.10 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	病児・病後児の児童に対応するため、医療機関併設型の施設において児童を保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。あわせて、より効果的・効率的にサービスを提供するため、施設の空き情報を共有化して保護者に提供するなど、病児保育のネットワーク化を進めます。			成果実績	利用児童数は前年度比で横ばいであり、保護者のニーズが依然高い中、25年度以降の拡充に向けて検討を行いました。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %			
	(最終目標と目標年度)				遅れ	順調	

活動計画	病児・病後児の児童に対応するため、医療機関併設型の施設において児童を保育し、保護者の子育てと就労の両立を支援します。あわせて、より効果的・効率的にサービスを提供するため、施設の空き情報を共有化して保護者に提供するなど、病児保育のネットワーク化を進めます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。				
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	病児・病後児保育事業を実施している施設の箇所数			9 施設	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	保護者ニーズが高いため、医師会に対して実施施設の推薦を働きかける等により、実施箇所数の増を図ります。 (最終目標と目標年度) 11箇所(平成26年度)	9 施設	9 施設	100.0 %			
	病児保育室の空き情報の共有化				やや遅れ	順調	
インターネットを使って、病児・病後児保育施設の空き情報を共有化し、保護者に提供できる仕組みをつくります。				遅れ			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	病児・病後児保育事業の実施施設の箇所数を、平成24年度中は現状維持(9施設)とし、25年度以降の拡充に向けて検討を行いました。平成24年7月に病児・病後児保育施設の空き情報システム【病児・病後児保育施設の利用状況(空き情報)】をインターネットを共有化し保護者に提供する仕組みづくりを「子育てマップ」にて運用開始しました。仕事と子育ての両立支援のため、平成24年度は9箇所で開催しましたが、利用児童数は前年度に比べ横ばいで推移しており、保護者ニーズは依然高く、その有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	国の補助基準額を踏まえた委託料で所要の人員配置をしつつ、多忙な小児科医の自助努力により事業を実施している状況から、コスト削減は困難と考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	重谷

事業名	障害児保育の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	心身に障害を有する児童を保育所において健常児とともに保育を行うことにより、当該児童の福祉の増進と相互の健全な発達を図ります。全保育所を実施対象としています。平成17年度から障害児延長保育事業、障害児一時保育事業を平成22年度から直営保育所で重度障害児受け入れを開始しました。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.30人
	179,577 千円	233,401 千円			8,200 千円	係長 0.40人 職員 0.10人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	通常保育での受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害のある子どもの受け入れを行います。また、障害のある子どもの福祉の向上と保護者の就労を支援するため、関係機関の協力のもと、統合保育の可能な重度の障害のある子どもを直営保育所で受け入れられます。			成果実績	平成25年3月1日現在、市内107施設で307名の障害児を、直営保育所では13名の重度障害児を受け入れており、障害児保育への対応は順調に進んでおります。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)			86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	- %			
						やや遅れ	順調
(最終目標と目標年度)					遅れ		

活動計画	通常保育の受け入れに加え、延長保育、一時保育を含めて統合保育の可能な障害児の受け入れを行います。また、統合保育の可能な重度の障害児を直営保育所で受け入れられます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	通常保育における障害児の入所状況			158	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	・通常保育で障害児の受け入れを全保育所で行います。 ・統合保育の可能な重度障害児の受け入れを直営保育所で行います。	158 施設	158 施設	100.0 %			
	特別保育における障害児の入所状況	(延長保育) 143 (一時保育) 58	(延長保育) 144 (一時保育) 60	(延長保育) 145 (一時保育) 63		やや遅れ 遅れ	順調
保護者の仕事と子育ての両立支援を図るため、通常保育のみならず特別保育事業においても全実施保育所で障害児の受け入れを行います。			- %				

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成25年3月1日現在市内107施設で307名の障害児を受け入れました。直営保育所では重度障害児13名を受け入れました。障害の有無にかかわらず、一緒に保育し、ともに育ち生活する中で、相互の健全な育成を図ることができます。保育所での保育が可能な障害のある子どもを積極的に受け入れており、なおかつ就労を希望する保護者も増加すると思われるため、障害児保育のニーズは高まると予想されます。有効性は高いと思われます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	現在は障害児数に応じた職員配置を常勤やパートで行っており有効性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	馬場

事業名	保育所入所定員の拡大				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	保育所が特に不足する地域について、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増を行い、年間を通じた待機児童の解消と、年度当初における定員超過入所の状況の解消を目指します。なお、新規開設の公募にあたっては、「安心こども基金」を活用した補助金の交付や私立幼稚園(幼保連携型認定こども園)など既存施設の活用を図り、より幅広い視点から民間活力の活用を図ります。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人員費
	571,418 千円	0 千円			12,200 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	保育所が特に不足する地域について、民間保育所の新規開設や既存保育所の定員増を行い、年間を通じた待機児童の解消と、年度当初における定員超過入所の状況の解消を目指します。				成果実績	下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】		
	待機児童数(年度当初:4月)			0人	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあります。今後もこれを維持していくため、成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年度当初の待機児童「0人」を維持(26年度)	0人	0人	100.0%				
	待機児童数(年度中途:10月)			116人	やや遅れ 遅れ	順調		
一部地区では、年度中途から待機児童が生じています。保育需要は、今後も増加すると考えており、年間を通じた待機児童の解消を成果指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 年間を通じた待機児童の解消(26年度)	67人	0人	%					

活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に保育所入所定員の拡大を図ります。				活動実績	下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	民間保育所の新規開設			2 施設	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	平成22年度から26年度までの5年間で、民間保育所4か所の新規開設等を図り、入所定員の拡大を図ります。	1 施設	2 施設	100.0%			
					やや遅れ 遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	計画通り、当初予定していた2か所の民間保育所の新規開設を実施し、現行プランで計画していた4か所の新規開設が全て完了しました。 この結果、現在、年度当初の入所児童数は定員を下回っており、市全体では概ね保育需要に対応できる状態にあります。しかし、一部地区では、年度中途から待機児童が生じており、更なる入所定員の拡大に向けて、取り組む必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	福岡県の「安心こども基金」を活用して事業を実施しています。(市負担:1/12) また、新規開設の保育所は、全て民間保育所を対象にしています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	馬場

事業名	直営保育所の再編・民営化				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.40人
	272,268 千円	0 千円			13,350 千円	係長 0.50人 職員 0.50人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) どのような状態にしたいのか 保育所運営の効率化と機能の集約・強化を図るため、児童数の減少等に伴う近隣の保育所との統合や、老朽化した施設の建て替え等にあわせて直営保育所の民営化を行い、施設の再編を進めます。			成果実績	下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(施設、環境)				大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	老朽化の進む施設の計画的な改築など、保育所の施設環境と機能の向上は重要であることから成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	66.7 %	向上	78.9 %		
	保育所に対する満足度(保育内容)				やや遅れ 遅れ	順調
保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %			

活動計画	平成22年2月に策定した「元気発進！子どもプラン」に基づいて、計画的に直営保育所の再編・民営化を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	直営保育所の再編・民営化				大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	平成22年度から26年度までの5年間で、直営保育所4か所の民営化と1か所の統合を図り、18か所に再編します。 (最終目標と目標年度) 18箇所(平成27年4月)	1 施設	1 施設	1 施設 100.0 %		
	民営化施設の老朽改築				やや遅れ 遅れ	順調
保育環境の向上を図るため、民営化した保育所について「民設民営方式」による施設の老朽改築を行います。	1 施設	1 施設	1 施設 100.0 %			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	計画通り、当初予定していた「初音保育所」の民営化と、「早鞆保育所」の老朽改築を実施しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	直営保育所の再編・民営化を進めることにより、保育所運営に係る市負担額の軽減と、保育所運営の効率化を図っています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河淵

事業名	産休明け保育等の対応の強化				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	保護者の就労等のため保育に欠ける生後43日以上、原則2歳までの児童を技能と経験を有する者が、自宅等を開放して、保護者から委託を受け、家庭的な明るい雰囲気の中で保育を行う。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	69,162 千円	74,305 千円			7,300 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どの様な状態にしたいのか 産休明けを含む乳児期の保育ニーズに対応するため、生後43日目から保育を行う家庭的保育員の増加を図るとともに、一般の保育所において、段階的に概ね3か月から乳児を受け入れます。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)					
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %	遅れ	順調

活動計画	公募による新規募集により、家庭保育員を2名増員します。 一般保育所での概ね3か月からの入所受け入れについて、その方法、受け入れの可能性について調整します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	家庭保育員数					
	公募による新規募集により、家庭保育員を2名増員します。 一般保育所での概ね3か月からの入所受け入れについて、その方法、受け入れの可能性について調整します。 (最終目標と目標年度) 20人(平成26年度)	16 人	18 人	18 人 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	一般保育所での概ね生後3か月からの入所受け入れ 受け入れ可能な保育所があるかの検討、調整を行いました。			%	遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	家庭保育員2名の拡充を行いました。産休明け保育に対応できる保育所は他になく、定員は1か所5名以下であり、家庭的な雰囲気での保育を希望する保護者も多いため、入所率は8割を超え、効果は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	保育所の新規開設に比べ、施設設備費はかからず、保育に対する市の負担額も低いため経済面での効果はよいと考えられます。 児童福祉法により、市に実施責任が課せられており、市以外で行うことは困難です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	計画的な老朽改築等の推進				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	民間法人協力のもと、老朽化している民間保育所の改築を進めます。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	270,468 千円	254,000 千円			課長 1人 係長 0.10人 職員 0.20人	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 民間法人の協力のもと、老朽化の進む施設を対象に、計画的な施設の改築などを行います。	成果実績	完成時期に変更が生じたものの、当初の計画どおり3施設の民間保育所の老朽改築に着手しました。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(施設、環境)					
	老朽化の進む施設の計画的な改築など、保育所の施設環境と機能の向上は重要であることから成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上26年度	66.7 %	向上	78.9 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %	順調 やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	老朽化したふたば保育園(八幡東区・昭和52年建築)の改築(平成23年度繰越)、また白鳩保育園(小倉南区・昭和46年建築)の改築、木屋瀬保育園(八幡西区・昭和49年改築)の大規模修繕を行い、合わせて多様な保育ニーズへの対応や保育環境の充実を図ります。	活動実績	活動結果は下記の通りです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	計画的な施設の改築					
	多様な保育ニーズへの対応や乳幼児の保育環境の充実を図りながら、改築を行います。	1 施設	3 施設	3 施設 100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 予定の3施設については、予定通り整備を行いました。
「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	国の安心子ども基金を最大限活用し、市負担の軽減を図りながら、保育環境の向上に努めています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	緊急時対応保育所の整備				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	新型インフルエンザなどの新型感染症発生時や災害発生時など、保育所を一斉休園する緊急時に、両親とも医療関係者など、特に保育を必要とする保護者へ対応するため、直営保育所を「緊急対応保育所」として開所できる体制を整えます。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	0 千円	0 千円			1,750 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	新型インフルエンザなどの新型感染症発生時や災害発生時など、保育所を一斉休園する緊急時に、両親とも医療関係者など、特に保育を必要とする保護者へ対応するため、直営保育所を「緊急対応保育所」として開所できる体制を整えます。			成果実績	成果の状況は以下のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(施設、環境)						
	老朽化の進む施設の計画的な改築など、保育所の施設環境と機能の向上は重要であることから成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	66.7 %	向上	78.9 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %		順調	

活動計画	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。	活動実績	直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	「緊急対応保育所」運用制度についての検討					
	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討します。	-	-	-	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)					順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「緊急対応保育所」としての保育所選定、施設整備、人員体制、受入方法、関係機関との調整などについて検討しました。直営保育所については、民間との役割分担を踏まえ、そのあり方自体を検討中です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	既存の施設や人員を活用してサービスを提供することが可能であるため、「経済性」「効率性」の高い取り組みと考えています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	区役所における保育サービス等の相談・コーディネート機能の向上				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化し、保育サービスに関するきめ細かい説明や情報提供を行いながら、児童と保護者の状況を踏まえた保育サービス等のコーディネートに取り組むものです。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	0 千円	0 千円			875 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	区役所の保育サービスに関する窓口の体制を強化し、保育サービスに関するきめ細かい説明や情報提供を行いながら、児童と保護者の状況を踏まえた保育サービス等のコーディネートに取り組めます。				成果実績	成果の状況は下記のとおりです。
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)						
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %		順調	

活動計画	入所窓口等体制等の整備を行います。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	関係機関との協議					
	障害児保育の入所調整など、保育ニーズの多様化とともに入所事務が複雑化しており、子ども総合センター、療育センターなどの療育機関や区保健福祉課等との調整のため、入所窓口等の人員体制強化を図ります。				大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)					順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「元気発進！子どもプラン」に基づき、体制強化を図るため、引き続き関係機関との調整を進めます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	現行の窓口の体制を強化し、多様化する保育ニーズに応える必要があり、民間活力導入にはなじまないと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	保育サービスに関する情報提供の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ①	
事業概要	市のホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	0 千円	0 千円			525 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市のホームページ上で各保育所の入所状況を表示し、保育所入所希望者等への情報提供の充実を図ります。			成果実績	各保育所の入所状況を表示したホームページを毎月更新しており、平成24年度の年間アクセス数は、30,961件でした。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	保育所に対する満足度(保育内容)						
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %	やや遅れ 遅れ	順調	

活動計画	ホームページ等の充実を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	ホームページの更新回数					
	平成21年度より、市内の各保育所の受入状況をホームページで公開しており、毎月更新することを継続します。	12 回	12 回	12 回 100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	計画どおりに毎月更新して、情報提供を行っています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	ホームページでの情報提供は低いコストでより高い効果が期待でき、これ以上のコスト削減は困難であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	保育課	
		課長名	重谷	
<b>事業名</b>	支援の必要な子どもと家庭生活を支えるネットワークの構築		施策番号	
			I - 1 - (1) - ①	
<b>事業概要</b>	発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者など、支援の必要な子どもと家庭への個別の対応と継続した支援を行うため、区役所と直営保育所の連携を深め、保健、医療、福祉、教育の連携によるネットワーク作りを進めます。		<b>事業手法</b> <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
<b>コスト</b>	24年度執行額 0 千円	25年度当初予算額 0 千円 <small>(事業費備考)</small>	目安の金額 415 千円	課長 0.01人 係長 0.03人 職員 0.00人 <small>(人件費備考)</small>

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	発達の気になる子どもや育児に不安を抱えた保護者などへの個別の対応や継続した支援を十分に行えるよう、区役所と直営保育所の連携を深め、保健、医療、福祉、教育の連携によるネットワーク作りを進めます。			<b>成果実績</b>	発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者が増えている中、東篠崎保育所、黒崎保育所で親子通園を実施し、連携を進めました。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> <small>(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)</small>	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	<b>【成果の状況】</b>		
	保育所に対する満足度(保育内容)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
	保育の質の向上、多様なサービスに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気！発進子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上 (26年度)			-			%	
					やや遅れ 遅れ	順調		
(最終目標と目標年度)								

<b>活動計画</b>	区役所と直営保育所の連携を進め、保健、医療、福祉、教育の連携によるネットワーク作りを進めます。				<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> <small>(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)</small>	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	<b>【活動の状況】</b>		
	ネットワークの構築				大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	親子通園の利用者の入所調整、入所後の支援体制についてのネットワーク作りを進めます。							
					やや遅れ 遅れ	順調		
(最終目標と目標年度)								

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	小倉北区の東篠崎保育所と八幡西区の黒崎保育所は支援の必要な子どもと家庭を支えるため、区役所、医療、教育機関等と連携をすすめています。発達の気になる子どもや、育児に不安のある保護者が増えていますので、直営保育所と区役所をはじめとしたネットワークの構築は有効性が高いと思われます。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	直営保育所の機能を活かしながら、支援の必要な子どもとその家庭への個別対応と継続した支援を行うので、これ以上のコスト削減は困難と考えます。

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入</b>	
<b>見直し状況等</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
課題	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	一時保育事業				施策番号		I - 1 - (1) - ①
	事業概要 保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。今後は、実施施設数を増やします。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	課長 人 係長 0.10人 職員 0.10人	(人件費備考)
コスト	24年度執行額 49,342 千円	25年度当初予算額 54,487 千円	(事業費備考)	人件費			

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 一時保育の実施箇所数を増やすとともに、今後もニーズの把握に努めます。	成果実績	4施設で、一時保育の新規開設を行い、全63施設において年間延べ25,829人の児童に利用されています。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)					順調
(最終目標と目標年度)						

活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	一時保育事業を実施する保育所	59 施設	58 施設	63 施設	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保育所の新設や改築に伴い一時保育室を設置するなどして一時保育事業実施保育所数の増を図ります。			108.6 %		
	(最終目標と目標年度)					順調
(最終目標と目標年度)						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年度は4所で新規開設を行い、全63施設における年間延べ利用児童数は、25,829人でした。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について高い効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

## PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ①	
事業手法 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	(人件費備考)

事業名	全児童化のための施設整備			
事業概要	留守家庭の保護者が安心して子どもを預けて働くことができるよう、放課後児童クラブの施設整備を行います。さらに、留守家庭以外の児童も受け入れ、希望するすべての子どもたちの放課後の居場所づくりを推進します。そのため、希望者全員を受け入れることができ、国のガイドライン(児童の生活スペースや静養スペースの確保等)に沿った施設整備を行います。また、適切な指導を行う上で必要な環境を整えるため、大規模クラブの分割を行います。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	5,124 千円	77,700 千円	人件費	目安の金額 9,075 千円 課長 0.05 人 係長 0.40 人 職員 0.60 人

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	留守家庭の保護者が安心して子どもを預けて働くことができるよう、放課後児童クラブの施設整備を行います。さらに、留守家庭以外の児童も受け入れ、希望するすべての子どもたちの放課後の居場所づくりを推進します。そのため、希望者全員を受け入れることができ、国のガイドライン(児童の生活スペースや静養スペースの確保等)に沿った施設整備を行います。また、適切な指導を行う上で必要な環境を整えるため、大規模クラブの分割を行います。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	放課後児童クラブの待機児童数	0 人	維持	0 人	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	放課後児童クラブの全児童化に必要な施設整備を行い、待機児童の解消に向けた指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 0人(26年度)			-		
	登録児童71人以上のクラブ数	3 クラブ	減少	4 クラブ	やや遅れ 遅れ	順調
国のガイドラインでは、登録児童数は最大70人までとすることとされています。71人以上の大規模クラブの解消を図るため施設整備を行い、クラブの分割を進めます。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 0クラブ(26年度)			-	%		

活動計画	大里柳小学校校区では、全児童化に伴う施設整備を25年度に行うため、24年度は実施設計に取り組みます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	全児童対応クラブの割合	99.5 %	100 %	100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	希望する全ての児童を受け入れられるよう必要な施設整備を行い、全クラブで全児童化を実施します。			100.0 %		
					%	やや遅れ 遅れ
				%		

<b>【Check】評価(分析)</b>	
<b>分析及び課題の整理</b> 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	大里柳小学校校区については、予定通り実施設計を行うことができたので、活動の状況は順調と判断しました。また、待機児童数も引き続き0人を維持しており、成果の状況も順調と考えています。全児童化のための施設整備により、待機児童の解消などの放課後児童クラブの課題の解決が図られており、有効性の高い取り組みと考えています。  施設整備にあたり、立地場所については市立小学校敷地内を、建物については小学校の余裕教室を優先活用することとしており、経済性・効率性の高い取り組みと考えています。

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入</b>	
見直し状況等	課題 26年度の活動計画(見直し内容)  その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ①	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )
(人件費備考)	
課長	0.35 人
係長	1.30 人
職員	2.40 人

事業名	放課後児童クラブの運営体制の基盤整備			
事業概要	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	1,311,480 千円	1,415,159 千円	人件費	目安の金額
				課長 0.35 人 係長 1.30 人 職員 2.40 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)にしたいのか	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	放課後児童クラブに対する満足度(利用日、利用時間)			77.8 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	クラブごとに開設日や開設時間などの運営状況が異なる中、市民ニーズの多様化への対応を示す指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.5 %	向上	— %		
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ	やや遅れ
(最終目標と目標年度)			%	遅れ		

活動計画	指導員の資質向上を図るため、より実践的な研修に取り組みます。また、障害児を受け入れているクラブに臨床心理士、アドバイザーを派遣し、指導員に助言等を行います。開設時間の標準化の推進にも取り組みます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	18時30分以降まで開設している放課後児童クラブの割合			97.9 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	放課後児童クラブは多様な団体によって運営されていることから、クラブごとに開設時間などの運営状況に違いがあります。放課後児童クラブに対する様々なニーズに応えられるよう開設時間の標準化・延長をはじめ、運営の質を高めます。 (最終目標と目標年度) 100%(26年度)	96.8 %	向上	— %		
	障害のある児童の受入			245 人	やや遅れ	順調
全児童化により、受入が増加する障害のある児童への対応が適切に行えるよう、研修の充実や臨床心理士等の派遣により指導員の資質の向上を図ります。	229 人	障害児の受入促進	— %	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>	<p>障害児の受入等で先進的なクラブに事例を発表してもらうなど、より実践的な研修の実施や、臨床心理士やアドバイザーの派遣指導といった指導員の資質の向上に取り組んだ結果、障害児の受入が促進されています。また、開設時間の標準化に向けた協議をクラブと行い、18時30分以降まで開設しているクラブも増えています。そのため、活動の状況は順調としました。成果指標については、アンケート結果における満足度(利用日、利用時間)が少し低下しており、やや遅れとしました。</p> <p>障害児の受入に関しては、市に臨床心理士、アドバイザーを設置(雇用)し、必要に応じて各クラブに派遣して、指導員の助言等にあたらせることができるため、各クラブで専門職を設置する場合に比べて、低コストで効率的な取り組みと考えています。</p>
-----------	--	---

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下

事業名	放課後児童ヘルパーの設置				施策番号					
					I - 1 - (1) - ①					
事業概要	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (各クラブが設置 )				
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費	目安の金額	課長 人	係長 0.10 人	職員 人
	0 千円	0 千円			1,000 千円					

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	放課後児童クラブの魅力向上	—	向上	—	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	学校や地域と連携し、活動内容の充実を図ることで、各地域の特色を活かした魅力ある放課後児童クラブの運営が促進されると考え、指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)			%		順調	
				やや遅れ	順調		
(最終目標と目標年度)			%	遅れ			

活動計画	夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、放課後児童ヘルパーを活用したモデル事業の取り組みの結果を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介します。このモデル事業の成果を踏まえて、夏の教室(地域版)の実施に併せ、各クラブでの放課後児童ヘルパーの活用を促進していきます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	ヘルパー活用クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	放課後児童クラブの多くは、地域の方々が運営に参画されており、地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくために、「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。 (最終目標と目標年度) 50%(26年度)			— %		順調	
				やや遅れ	順調		
			%	遅れ			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	活動については、モデル事業の取り組みの成果(ヘルパーの活用方法等)を指導員研修会を通じて紹介したことで、ヘルパーを活用するクラブが増えてきていることから、順調としました。成果についても、地域の人材をヘルパーとして活用することで、農作業体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっていることから、順調としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	地域の身近なところで、クラブの活動を支援してくれる人材を確保することができるので、経済性・効率性が高い取り組みと考えています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ①	
<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(各クラブで実施)	
(人件費備考)	

<b>事業名</b>	夏の教室(地域版)の実施				
<b>事業概要</b>	スポーツ、文化等の指導員の派遣や放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中に小学校で一週間程度実施されている「夏の教室」の地域版を放課後児童クラブで実施し、生活体験や自然体験、スポーツや伝統文化などさまざまな体験をさせるとともに、学習習慣を養います。また、学校との連携により、校内で育てている動植物の世話や観察などを行います。				
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	1,922 千円	2,054 千円			目安の金額
			1,000 千円	課長 1人	係長 0.10人
				職員 1人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)にしたいのか スポーツ、文化等の指導員の派遣や放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中に小学校で一週間程度実施されている「夏の教室」の地域版を放課後児童クラブで実施し、生活体験や自然体験、スポーツや伝統文化などさまざまな体験をさせるとともに、学習習慣を養います。また、学校との連携により、校内で育てている動植物の世話や観察などを行います。			<b>成果実績</b>	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	放課後児童クラブの魅力向上	-	向上	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	学校や地域と連携し、活動内容の充実を図ることで、各地域の特色を活かした魅力ある放課後児童クラブの運営が促進されると考え、指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)			%			やや遅れ
					%	遅れ	順調
	(最終目標と目標年度)						

<b>活動計画</b>	23年度にスポーツ等さまざまな体験活動に取り組んだモデル事業の結果を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介します。このモデル事業の成果を踏まえ、放課後児童ヘルパーや放課後ジュニアリーダー等を活用して、各クラブでの夏の教室(地域版)の実施を促進していきます。			<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	実施クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	放課後児童ヘルパー等の地域力の活用などにより、夏季休業日中の放課後児童クラブの活動内容の充実を図ります。 (最終目標と目標年度) 50%(26年度)			-			順調
					%	やや遅れ	順調
				%	遅れ		

<b>【Check】評価(分析)</b>	
<b>分析及び課題の整理</b>	<p><b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>活動については、モデル事業の取り組みの成果(放課後児童ヘルパー等を活用して普段取り組めないようなさまざまな活動を行うことができたことなど)を指導員研修会を通じて紹介したことで、夏の教室(地域版)の実施クラブが増えてきていることから、順調としました。</p> <p>成果についても、普段実施できないような農作業体験活動等に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっていることから順調としました。</p> <p><b>「経済性」</b>(同成果を低コストで) <b>「効率性」</b>(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>体験活動の実施にあたり、放課後児童ヘルパー等地域の人材を活用するとともに、各クラブで活動内容を企画・実施するので、経済性・効率性の高い取り組みと考えています。</p>

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入</b>					
<b>見直し状況等</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 5%; text-align: center;">課題</td> <td>26年度の活動計画(見直し内容)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その結果目指す成果(26年度の成果目標)</td> </tr> </table>	課題	26年度の活動計画(見直し内容)		その結果目指す成果(26年度の成果目標)
課題	26年度の活動計画(見直し内容)				
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)				

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下

<b>事業名</b>	放課後ジュニアリーダープログラムの展開					施策番号	
						I - 1 - (1) - ①	
<b>事業概要</b>	高学年児童(5~6年生)をジュニアリーダーとし、指導員、放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をすることで、高学年児童の思いやりの心や自立心を促していきます。					<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (各クラブで実施)
							(事業費備考)
<b>コスト</b>	<b>事業費</b>	24年度執行額	25年度当初予算額		<b>目安の金額</b>	<b>課長</b>	
		0 千円	0 千円		1,000 千円	係長 0.10人 職員 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	高学年児童(5~6年生)をジュニアリーダーとし、指導員、放課後児童ヘルパーとともに、低学年児童等のお世話をすることで、高学年児童の思いやりの心や自立心を促していきます。			<b>成果実績</b>	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
	<b>代表的な成果指標</b>	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標		24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
放課後児童クラブの魅力向上		-	向上	-	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック		
学校や地域と連携し、活動内容の充実を図ることで、各地域の特色を活かした魅力ある放課後児童クラブの運営が促進されると考え、指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)				%				
(最終目標と目標年度)				%	やや遅れ 遅れ	順調		
			%					

<b>活動計画</b>	平成23年度事業である夏の教室(地域版)モデル事業の実施に併せ、高学年児童をジュニアリーダーに位置づけ、体験活動に関わせたモデル事業の取り組みの結果を指導員研修会を通じて全放課後児童クラブへ紹介します。このモデル事業の成果を踏まえて、夏の教室(地域版)の実施に併せ、各クラブでの放課後ジュニアリーダープログラムの実施を促進していきます。			<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
	<b>活動指標</b>	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績		24年度目標	24年度実績(達成率)	→
実施クラブの割合				18.7 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
高学年児童の受け入れに伴い、異学年間の交流を活かした活動内容の充実を図ります。 (最終目標と目標年度) 50%(26年度)		8.2 %	単年度の目標設定はありません	-			
(最終目標と目標年度)				%	やや遅れ 遅れ	順調	
			%				

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	活動については、モデル事業の取り組みの成果(体験活動の中で高学年児童を活用していく手法等)を指導員研修会を通じて紹介したことで、高学年児童をリーダーに位置づけた体験活動を実施するクラブが増えてきていることから、順調としました。成果についても、高学年児童をリーダーに位置づけ活動することで、農作業体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっていることから、順調としました。事業の実施を通し、高学年児童に思いやりや精神的な成長が見られたことから、有効性の高い取り組みと考えています。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	普段、利用しているクラブ(身近な場所)で、思いやりの心等を育む貴重な体験活動(夏の教室(地域版)等での活動)ができることから、効率性の高い取り組みと考えています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	<b>課題</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	母親学級等の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	妊娠や出産・育児に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費		目安の金額
	25,335 千円	27,275 千円			500 千円	0.05 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	妊娠や出産・育児に関する知識の普及を図るため、託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。母子の健康に関する知識の普及を図ります。			成果実績	できるだけ多くの方が参加できるように、チラシの作成や電話勧奨などで工夫しています。参加人数が増えています。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	安全に安心して妊娠・出産できる環境づくり	-	妊娠や出産・育児に関する情報提供及び知識普及の場を提供	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	母体の心身の変化が著しい妊娠。出産期における不安軽減を図るため、妊娠や出産・育児に関する情報提供及び知識普及の場を提供します。 (最終目標と目標年度)			%			
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	やや遅れ	順調	
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	- %						

活動計画	母子の健康確保や妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供するため、妊婦を対象とした母親学級を各区で開催します。また、教室内容の充実を図るため、医療機関における保健指導の実施状況について調査します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	母親学級開催数	84 回	維持	105 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの妊産婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ることは重要です。			- %			
	母親学級参加者数	1,707 人	参加者数の向上	1,273 人	やや遅れ	順調	
より多くの妊産婦やその家族に対して、妊娠・出産・育児に必要な知識の普及を図ります。	- %						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	参加者からは仲間がで、同じ立場の参加者同士の交流が参考になったとの意見がありました。計画通り開催できたので順調と判断しました。関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	妊婦同士の交流や妊娠・出産・育児に必要な知識を提供し、また交流する場として機能することで、必要な情報を得ることができ、参加者にとっても効率的です。また、母子の健康に対する正しい知識をタイムリーに学ぶことは、安全な出産や将来の母子の健康にとって有益です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	母子健康手帳の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	妊娠や出産・育児に関する知識の普及を図るため、母子健康手帳に盛り込まれているさまざまな情報を見やすくするとともに、母子健康手帳を活用した講座等を実施します。また、妊婦健診の早期受診やマタニティマーク等の情報を効果的に提供し、普及を図ります。				<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長
	25,335 千円	27,275 千円			5,250 千円	係長 0.15 人 職員 0.50 人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	母子の健康状態を記録するとともに、妊娠・出産・育児に関する正しい知識を提供することで、母子の健康の保持及び増進を図ります。また、妊婦健診の早期受診の勧奨やマタニティマーク等の情報を効果的に提供し、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進します。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	妊娠11週までの妊娠届出者の割合			91.9 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、妊娠早期から妊婦健診を受診することが必要であるため、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 100%(26年度)	91.8 %	増加	- %		
					やや遅れ	順調
(最終目標と目標年度)			%	遅れ		

活動計画	妊婦健診の周知を図り、妊娠11週までの妊娠届出者の割合を増加させます。また、母子健康手帳交付時に、子育てに関する情報を提供し、保健師等の専門職が相談に応じ、妊娠中からの継続した支援を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	母子健康手帳の交付率(分娩前までに手帳を受け取った人/全交付数)			99.8 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	個別面接による随時交付を実施することで、ハイリスク者への相談・支援の機会を保障します。母子健康手帳交付時に安全な出産のための妊婦健診の重要性について説明します。	99.9 %	100 %	99.8 %		
	母子健康手帳の交付案内の配布			13,000 枚	やや遅れ	順調
母子健康手帳交付のご案内のチラシを作成し、関係機関と協力して、母子健康手帳の交付の周知活動を行います。	13,000 枚	関係機関への必要枚数の配布	- %	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	重いなどの意見に対応して、必要な情報を整理して掲載するなど、より利便性を考慮した母子健康手帳に改訂しました。また、個別面接による交付と同時に相談や情報提供を行い、母子の健康管理と養育支援に役立っています。出生連絡はがきを利用して、産後直後の情報を専門家と共有できるように工夫したことから、順調と判断しました。母子健康手帳の交付により妊娠中から必要な情報を提供し、継続した支援を行うことは、育児不安の軽減に繋がりが、安心して妊娠・出産・育児ができることから、母子健康手帳の交付は必要です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	関係団体の意見を参考に、北九州市独自の母子健康手帳を作成しているため、コストダウンは難しい状況です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額 25年度当初予算額 (事業費備考) 971,218 千円 1,013,798 千円 目安の金額 課長 人 3,500 千円 係長 0.05 人 (人件費備考) 職員 0.40 人

事業名	母子健康診査事業		
事業概要	妊婦や乳幼児の疾病または異常の発見および防止を図り、健康を保持増進させるため、妊婦、乳幼児の定期的な健診機会を提供します。		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	妊婦や乳幼児に対する健康診査を公費助成することで、子育て世帯の経済的な負担を軽減するとともに、母体の健康維持や胎児の健やかな発育を支援します。	成果実績	妊娠早期から母体の健康維持に配慮できることを目指して、関係機関とともに母子健康診査の受診率向上に取り組んでいます		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	91.8 %	増加	91.9 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、妊娠早期から妊婦健診を受診することが必要であるため、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 100% (26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)	%	順調			

活動計画	妊婦健診の公費助成を14回行うとともに、受診勧奨を行うことで、受診率を向上させます。また、様々な機会を通じて妊婦健診を周知し、11週までの妊娠届出者数を増加させます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	妊婦健診受診率	98.5 %	増加	96.6 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	母体の健康を保持し、安心して出産・出産するために、妊婦健診を受診することは必要です。 (最終目標と目標年度) 100% (平成26年度)			- %		
	3歳児健診受診率	89.9 %	増加	91.3 %	やや遅れ 遅れ	順調
乳幼児の健康を保持し、健全な育成を促すために、乳幼児健診を受診することは必要です。 (最終目標と目標年度) 90% (平成26年度)	- %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	一人14回の妊婦健診と乳幼児の健康診査を実施し、必要者には継続的支援を行ったため順調と判断しました。また、早期に妊娠届けを提出することでより早く、妊婦健診をうけることになり、疾病の予防や異常の早期発見につながることから、母体や乳幼児の健康保持のために母子健康診査は重要です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	関係機関等と協議して実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(事業費備考) 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部 目安の金額 課長 人 係長 0.05 人 職員 0.30 人 (人件費備考)

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実		
事業概要	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつけます。また、関係機関と連携し、地域での見守り体制を強化するとともに、訪問員のスキルアップを図ります。		
コスト	24年度執行額 44,211 千円 25年度当初予算額 45,590 千円	(事業費備考) 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	目安の金額 2,750 千円 課長 0.05 人 係長 0.05 人 職員 0.30 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	生後4か月までの乳児家庭訪問の割合	84.4 %	増加	86.3 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	育児の孤立化を防ぎ、子育てに関する情報を提供するために、生後4ヶ月までの間に乳児がいる家庭を訪問することは有効な手段であることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 100%(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)	%	遅れ	順調		

活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	専門職による訪問	5,855 件	適切な訪問	6,273 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全戸家庭訪問により、母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に掲げました。			- %		
	(最終目標と目標年度)	%	遅れ	順調		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 対象家庭に専門職と地域支援者が協働して訪問し、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行ったため順調と判断しました。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。
「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	無償で活動している地域の主任児童委員と、専門職が協働で実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容) その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)
事業費	課長 0.05 人 係長 0.05 人 職員 0.50 人

事業名	産後うつ対策の充実		
事業概要	産後のうつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するため、全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いるとともに医療機関と行政が連携し、産後うつに対して早期対応する体制を整備します。		
24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	人件費
44,211 千円	45,590 千円		目安の金額 4,250 千円

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) 産後のうつ状態等を早期に把握し、きめ細かに支援するために全産婦に産後うつを早期に発見するための質問票を用いるとともに医療機関と行政が連携し、産後うつに対して早期対応する体制を整備します。	成果実績	産後に訪問等により、専門的な質問票を実施することで、適切に支援することができず。質問票を実施する産婦の数は増加しています。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)			%		順調

活動計画	全戸訪問での面接を目指します。産後うつ質問票を実施し、必要な場合は適切に継続支援します。訪問を継続実施するとともに、連携体制の充実を図るため、関係機関と連携します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	専門職による産後うつ質問票の実施件数	5,477 件	増加	6,089 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	産後うつ質問票を活用することで、産後うつの早期発見につながります。			- %		
	質問票の実施により継続支援した件数	715 件	適切な継続	820 件		順調
産後うつを早期に発見し対応することで、育児負担の軽減につながります。	- %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	4か月までの乳児家庭全戸訪問と合わせて実施しており、訪問した産婦に産後うつ質問票を実施しています。また、その結果支援が必要と判断された産婦は保健師等が継続的に支援できているため順調と判断しました。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。また、医療機関との連携を強化し、対象家庭を早期に訪問するための体制について検討しました。 産婦の状況に応じて地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。
-----------	---	---

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )

事業名	(仮称) 養育支援が必要な家庭への訪問指導員派遣事業			
	10代の母親等で、養育に問題を抱えている家庭に対し、養育能力の向上を図るため、訪問指導員がその居宅を訪問し、家事・育児に関する指導・助言等を行います。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	0 千円	0 千円	人件費	目金の金額
			課長	人
			係長	0.05 人
			職員	0.05 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 養育に問題を抱えている家庭に対し、訪問指導員がその居宅を訪問し、家事・育児に関する指導・助言等を行うことにより、当該家庭の養育能力の向上を図ります。	成果実績	自治体によって対象者や回数、費用など特徴があります。北九州市として早期に養育支援をする方法を検討します		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→ 【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %	
	(最終目標と目標年度)	%	順調		
(最終目標と目標年度)	%				

活動計画	検討資料とするため、他都市の実施状況を確認します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→ 【活動の状況】
	養育支援体制の検討	-	単年度の目標設定はありません	-	大変順調 順調
	他都市の状況を参考にしながら、養育支援の体制を検討します。			%	
		%	順調		
	%				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>虐待予防の観点から、特定妊婦や要支援家庭に対して、妊娠中又は出産後早期に支援できる体制づくりが必要ですが、他都市の状況を参考にしながら、検討を行っています。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>妊娠期からの養育支援のため、関係機関と連携体制の構築を図り、効果的に実施できるよう検討する必要があります。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

<b>事業名</b>	乳幼児健診における問診項目の見直し					施策番号	
						I - 1 - (1) - ②	
<b>事業概要</b>	乳幼児健診等における発達障害の早期発見の精度を上げ、標準化するため、受診票の問診項目の見直しを行います。					<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他
							( )
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	<small>(事業費備考)</small> 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長 人	<small>(人件費備考)</small>
	25,335 千円	27,275 千円			4,500 千円	係長 0.15 人 職員 0.40 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	乳幼児健診等における発達障害の早期発見の精度を上げ、標準化するため、受診票の問診項目の見直しを行います。	<b>成果実績</b>	乳幼児健診で適切に発達障害を早期発見するため、専門家による乳幼児健診問診項目等の見直し検討会を開催しました。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-		
	(最終目標と目標年度)	%	順調			
(最終目標と目標年度)	%	順調				

<b>活動計画</b>	母子保健調査研究事業(小児保健研究会)において、発達障害を早期に発見するための乳幼児健診項目について検討します。また、その結果を踏まえ、関係機関と協議します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。			
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	問診項目の見直しの推進(検討会の実施)	1 回	検討会の実施	3 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	乳幼児健診の問診を適切に実施することで、発達障害を早期に発見し、支援に繋がります。そのために医療関係者、大学関係者など専門家と検討会を実施しました。			-		
	(最終目標と目標年度)	%	順調			
(最終目標と目標年度)	%	順調				

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b>	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p>
	<p>検討会で話し合った結果、問診項目の見直しだけでなく、確実な問診等により、発達障害の早期発見の精度を上げることが必要だと判断しました。関係機関(北九州地区小児科医会、乳幼児保健・学校保健・障害児対策委員会など)と検討を行い、1歳6か月児の健診時のマニュアルを見直したので、順調と判断しました。</p> <p>効果的に実施できるよう関係機関と連携する必要があります。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
<b>見直し状況等</b>	<p>26年度の活動計画(見直し内容)</p> <hr/> <p>その結果目指す成果(26年度の成果目標)</p>

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	乳幼児発達相談指導事業の拡充				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	心身の発達が気になる乳幼児の発達を早期に支援し、保護者の育児不安に対応するため、保育初頭の健診診断や乳幼児健康診査等から「わいわい子育て相談」につなぐ体制を強化します。また、専門職による継続支援が必要な親子を対象に遊びを通して支援する教室「親子遊び教室」を全区で実施します。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長
	25,335 千円	27,275 千円			2,750 千円	係長 0.20 人 職員 0.10 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	心身の発達が気になる乳幼児について、医師・臨床心理士・保育士等がチームで相談に応じ、保護者の育児不安に対応することで、発達障害等を早期に発見し、乳幼児の健全な発達を支援します。			成果実績	わいわい子育て相談の中で遊びを通じた指導をした区を除いて、親子遊びに特化した「親子遊び教室」を5区で開催しました
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	親子遊び教室の開催数	6 区	6 区	5 区	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	発達相談の中で気になる親子に対しては、専門職による継続した支援が必要であるため、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 全区で開催(26年度)			83.3 %		
						順調
(最終目標と目標年度)			%			

活動計画	親子を対象にした遊びや相談に応じる教室を実施し、子どもの発達を促すとともに、親の育児不安の軽減に繋がります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	わいわい子育て相談の実回数	105 回	増加	104 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	発達が気になる子どもを早期に発見し、親子を支援するために相談体制の充実が必要です。			- %		
	わいわい子育て相談の参加者数	366 人	増加	364 人		順調
発達相談の中で気になる子どもを早期に発見し、支援するために相談体制の充実が必要です。			- %			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	発達障害に対して保護者の不安に答えられる相談が求められていることから、開催回数は増やしませんでしたが、保護者の不安の軽減と早期発見及び早期支援ができる体制を目指して、24年度に取り組むべき区の重点課題にあげて、取り組んできたので順調と判断しました。これからも、関係機関と連携を維持して効果的な事業を実施します。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	医療関係者等の専門職が実施していることから、これ以上のコスト削減は困難です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	育児教室等の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	乳幼児の子育てや基本的な生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「すくすく子育て支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費		目安の金額
	25,335 千円	27,275 千円			1,250 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	乳幼児の子育てや基本的な生活習慣等に関する知識の普及を図るため、土日開催や託児を設けるなど、開催方法等を検討し、参加しやすい教室を実施します。			成果実績	参加人数の増減にとらわれず、継続的に身近な場所で適切な情報を提供できる教室等を開催します。必要な情報が提供できる場として充実させるため、乳幼児健診等のアンケートを分析教室に生かしていきます。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %			
	(最終目標と目標年度)					順調	
(最終目標と目標年度)				%			

活動計画	母子の健康確保のため、乳幼児の保護者を対象とした育児教室を各区で開催します。子どもを持つ親同士の交流や育児に必要な知識を提供します。また、教室内容の充実を図るため、医療機関における保健指導の実施状況について調査します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	育児教室開催数	601 回	継続的な開催	565 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防など、育児に必要な知識の普及を図ります。			- %			
	育児教室参加者数	10,010 人	増加	8,396 人	やや遅れ	順調	
より多くの乳幼児の保護者に対して、基本的な生活習慣や事故予防等、育児に必要な知識の提供を図ります。	- %						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	大規模な講演会などの開催を抑えたため、参加者数が減少しましたが、定期的に各区で開催することになっている育児教室は、予定どおり開催できており、子どもを持つ保護者同士が交流し、情報を交換等は図られたと考えるため、順調と判断しました。基本的な生活習慣を育成するためには、乳幼児期は大切な時期であることから、乳幼児を持つ保護者に対して、知識の普及を図ることは重要です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	関係機関と連携し、参加しやすい教室内容を工夫することで、より効果的な情報提供を行うことが必要です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

<b>事業名</b>	食を通じた乳幼児等の健康づくり				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
<b>事業概要</b>	妊産婦や乳幼児の食事に関する悩みや不安を解消するために、乳幼児等食生活実態調査の結果を踏まえて、ニーズに応じた母子栄養教室内容の充実や、参加しやすい教室を開催し、栄養指導・啓発を行います。					<b>事業手法</b> ( )
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.01人
	1,397 千円	1,220 千円			5,690 千円	係長 0.07人 職員 0.65人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	妊産婦や乳幼児の食事に関する悩みや不安を解消するために、ニーズに応じた母子栄養教室内容の充実や、参加しやすい教室を開催し、栄養指導・啓発を行います。			<b>成果実績</b>	「平成23年度北九州市健康づくり実態調査」において、子どもの食事のことを学ぶ機会があった保護者の割合が20年度の51.1%から57.6%と増加しており、教室等の参加がしやすくなったと評価できます。
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-		
	(最終目標と目標年度)			%	やや遅れ	順調
			%	遅れ		

<b>活動計画</b>	23回と教室開催回数は減りましたが、対象者のニーズやコスト面を考慮した実施会場の設定や運営の委託化を行う予定です。また、リーフレットの配布を行い、より多くの市民に啓発していきます。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。			
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	教室開催回数	25 回	23 回	23 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	食について学ぶ機会があった保護者のほうが、野菜の摂取量やバランスの取れた食生活が実践できているという調査結果から、市民がより参加しやすい形に見直した教室の開催回数を活動指数として掲げました。 (最終目標と目標年度) 30回(26年度)			100.0 %		
				%	やや遅れ	順調
			%	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p>	<p>23回と教室開催回数は減りましたが、対象者のニーズや事業の効率化を考慮し、一部を休日開催や利便性のよい民間の施設等で実施し概ね好評であるため、順調としました。また、区役所等へのリーフレットの配布を行い、より多くの市民に啓発することができました。</p> <p>教室の一部は、運営委託を行い、効率よく事業を行うことができました。</p>
------------------	---	--

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	<b>課題</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	思春期保健連絡会の設置				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にす健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。				事業手法 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	1,576 千円	2,905 千円		3,500 千円	係長 0.20人 職員 0.20人	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にす健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。	成果実績	代表的な成果指標の他に、ファクトシートを作成し、健康教育に利用できるようになりました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	10代の人工妊娠中絶率	25年秋に確定	低下	26年秋に確定	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	性に関する正しい知識を普及させることで、思春期の性感染症や意図せぬ妊娠の減少を図ります。したがって、指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 低下(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)			遅れ	順調	
			%			

活動計画	思春期の子どもを課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「健康指導イラスト教材集」の改訂を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	連絡会の開催	6回	適切な開催	3回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	思春期保健連絡会を開催し、関係者の連携を強化します。思春期保健の課題を共有し、効果的に健康教育を推進するのに重要です			- %		
	健康教室の開催	22回	適切な実施	47回	やや遅れ	大変順調
小・中学校における健康教室の実施による知識の普及啓発、課題の共有が必要であるため、指標として設定しました。	- %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	モデル教室の検証結果を踏まえ、小中学校における思春期健康教室の実施を充実させ、開催回数が増えました。また、保護者向けの「北九州市の思春期の子どもを知るためのファクトシート」を作成したので、大変順調と判断しました。今後は確実な思春期の心とからだの健康教育の推進とあわせて、ファクトシートを利用した保護者向けの学習の充実に取り組むことが課題です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	様々な関係団体との連携強化を図ることで、教材を作成することができました。それを利用した健康教室をすることで効率的な実施ができています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ②	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )

事業名	乳幼児等医療費支給制度			
	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、保険診療にかかる医療費の自己負担額を助成します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	2,645,389 千円	2,640,299 千円		
		課長 0.10人		(人件費備考)
		係長 0.40人		
		職員 0.80人		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	乳幼児等の健康の保持と健やかな育成を図るため、乳幼児等の保険診療による医療費の自己負担額を助成します。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	24.0 %	減少	39.6 %	やや遅れ	順調
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	- %					

活動計画	現行制度を継続して実施します。					活動実績	活動実績は計画通りです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】		
	乳幼児等医療の受給者数(小・中学生を除く)	53,534 人	53,558 人	53,492 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック		
	乳幼児等医療の受給者数が増えることにより、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。			99.9 %				
	小・中学生の入院件数	1,102 件	1,333 件	1,517 件	やや遅れ	順調		
小・中学生の入院件数が増えることにより、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。	113.8 %							

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>受給者数はほぼ目標どおりであり、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の負担を軽減していると考えられるため、施策に対する効果は高いと考えます。</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>保険診療による自己負担額を助成するものであるため、代替手段によるコスト削減または市以外の団体による関与は考えられません。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	特定不妊治療費助成				施策番号	
					I - 1 - (1) - ②	
事業概要	心身にわたる悩みや経済的負担の軽減を図るために、特定不妊治療に要する費用の一部を助成するとともに、専門の相談窓口において、不妊に関するさまざまな相談に応じます。また、不妊の要因や治療についての理解を深めるため、広く市民に対して広報します。				事業手法 ( )	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
事業費	116,192 千円	138,727 千円		6,500 千円	係長 0.05 人 職員 0.80 人	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	不妊に悩む夫婦が、経済的理由で不妊治療を断念することがないように、医療費が高額な特定不妊治療に要する費用の一部を助成することにより、経済的負担の軽減を図ります。また、専門の相談窓口を設置し、不妊に関する様々な相談に応じることで、心身にわたる悩みを軽減します。	成果実績	不妊相談件数、助成件数ともに増加しました。安心して不妊治療を受けることができる環境作りに取り組みました		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	不妊治療に関する支援の充実および市民の理解促進	—	—	—	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	不妊治療について経済的負担の軽減を図るとともに、不妊に関する広報等を行い、治療を行う夫婦のみならず、その家族や市民にも不妊治療に関する理解を深めます。 (最終目標と目標年度)			%		
	(最終目標と目標年度)			%	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	5年間の助成期間のうち、1年目の公費助成回数を3回に拡充し実施します。また、情報誌への掲載や交流会の開催など不妊に関する情報の普及啓発に努めます。そのことで必要な人に支援が届くようにします。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	助成件数	684 件	適切な助成	746 件	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	不妊に悩む夫婦が経済的理由で不妊治療を断念することがないように、助成することが必要です。			— %		
	相談件数	392 件	増加	354 件	やや遅れ 遅れ	順調
不妊に関する様々な相談に応じ、心身にわたる悩みを軽減することが必要です。	— %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	不妊に関する相談者は減少しましたが、特定不妊治療費の助成を受ける夫婦は年々増加しており、相談内容も多様になっているため、相談を受ける専門職のスキルアップや不妊に悩む方の交流会等を実施するなど、事業を継続します。助成希望者の増加に対応できるよう予算を拡充したので順調と判断しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	助成内容は国の要綱に基づいて実施しています。今後は、治療費を助成事業するだけでなく、年齢による流産の増加や妊孕性なども考慮し、生涯を通じた女性の健康や働き方なども踏まえて、女性が安全に妊娠できるよう支援する必要があります。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	子ども家庭政策課
		課長名	猪本
事業名	子育てに優しいまちづくりに向けたキャンペーン		
	施策番号 I - 1 - (1) - ③		
事業概要	本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを、広く市民にPRするとともに、行政のみならず、身近な地域においても、子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでもらえるよう、キャンペーン(すくすく子育てフェスタ)を実施します。		
コスト	事業費	24年度執行額 9,453 千円	25年度当初予算額 6,000 千円 (事業費備考)
	人件費	目安の金額 3,650 千円	課長 0.10人 係長 0.10人 職員 0.20人 (人件費備考)
		事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生育させることができるように、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを、広く市民にPRするとともに、行政のみならず、身近な地域においても、子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでもらえるよう、キャンペーン(「すくすく子育てフェスタ」)を実施し、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。	成果実績	親子で楽しみふれあうことができる「すくすく子育てフェスタ」を実施し、市民に「子育てで日本一を実感できるまちづくり」を進めていることをPRするなど、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めました。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調

活動計画	平成24年12月23日に、西日本総合展示場新館にて、「すくすく子育てフェスタ」を開催します。	活動実績	平成24年12月23日に「すくすく子育てフェスタ」を開催しました。49団体が参加し、8,600人の来場者に、市の子育て支援施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことができました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	「すくすく子育てフェスタ」の来場者数 来場者数の増加が、より多くの市民にPRすることにつながることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 10,000人(26年度) 来場者アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した割合 来場者の満足度を測る指標として掲げました。	9,100 人	9,100 人	8,600 人 94.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   大変順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年12月23日に「すくすく子育てフェスタ」を開催しました。49団体が参加し、8,600人の来場者に、市の子育て支援施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことができました。市の施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことは、「子育ての悩みや不安の解消」に向け、高い効果が期待できるとともに、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを実感してもらえる良い機会となっています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	イベント実施にあたっては競争入札を行うとともに、地域で子育て支援活動に携わっている企業・団体等の協力を得て、経済的・効率的な運営を行っています。また、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることをPRするのは、本市自身が行うべきであり、実施主体として市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本
施策番号	
I - 1 - (1) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)

事業名	子ども家庭レポートの発行			
事業概要	本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	1,363 千円	1,000 千円		
			目安の金額	課長 0.10 人
			2,900 千円	係長 0.10 人
				職員 0.10 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生き育てることができるように、本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。	成果実績	「子ども家庭レポート」を平成24年10月に発行し、幅広く市民に周知することにより、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。(最終目標と目標年度) 増加(26年度)				順調	
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ	
					遅れ	順調

活動計画	平成24年10月頃に、「子ども家庭レポート」の発行を行います。			活動実績	「子ども家庭レポート」を平成24年10月に1,800冊発行し、親子ふれあいルーム、子どもの館、子育てふれあい交流プラザ、保育所等を通じて、市民に周知を図りました。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「子ども家庭レポート」の発行	発行	—	発行	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「子ども家庭レポート」を発行することが、幅広く市民に本市の子ども家庭行政を周知することにつながるため、活動指標として掲げました。				順調	
					やや遅れ	大変順調
				遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データを盛り込んだ「子ども家庭レポート」を平成24年10月に発行し、幅広く市民に周知を図ることにより、子どもの成長と子育てを地域で支える環境づくりを進めました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	契約の際には複数社から見積書を徴収するなど、経済的・効率的な作成・発行に努めています。本市が取り組んでいる子どもの健全育成や子育て支援についての成果や課題、データ等の取りまとめについては、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局	
担当課	子育て支援課	
課長名	大下	
施策番号		
I - 1 - (1) - ③		
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他	
(人件費備考)		

<b>事業名</b>	子育てに優しいまちづくり(地域の子育て支援)の推進			
<b>事業概要</b>	個々の子育てで家庭のニーズに対応できるよう、地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めていくため、小学校区単位を基本に、市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進します。 具体的には、子育て相談の実施など区役所の保健師などによる支援や、研修会など地域の子育て支援にかかわる人材の育成などを行います。			
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	5,232 千円	5,600 千円		
			目安の金額	課長 0.10人 係長 0.35人 職員 0.35人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めていくため、小学校区単位を基本に市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進します。			<b>成果実績</b>	成果の状況は以下のとおりです	
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)		23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合		55.9 %	増加	59.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)				-		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)		38.0 %	減少	27.7 %	やや遅れ	遅れ
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)		-			%		

<b>活動計画</b>	平成24年度は20地域を採択し、財政的支援(子育て支援活動経費として10万円を交付)、人的支援(アドバイザーを地域に派遣し子育て支援活動をサポート)、人材育成支援(子育てに関する研修会(年2回実施)や活動事例報告会(年度末実施))を行います。				<b>活動実績</b>	20地域に補助金の交付、アドバイザーの派遣、人材育成研修会(8、12月)及び活動事例報告会(3月)を開催しました。採択地域においては、地域の実情に応じた、地域ぐるみの子育て支援活動を展開しました。	
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)		23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	支援地域数		20 地域	20 地域	20 地域	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域ぐるみで子育てを支えるには、各校区のまちづくり協議会を核としたネットワークによる地域での子育て支援活動の展開が望ましく、地域の実情に応じた子育て支援活動を実施する地域数を拡充していく必要があると考え、支援地域数を活動指標とします。				100.0 %		
						やや遅れ	大変順調
				%	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	成果の状況は、年度により若干の上下変動は見られるものの、目標達成に向け推移していることから順調とし、活動の状況については、計画どおりの20地域で、地域の実情に応じた様々な子育て支援活動が実施されたことから、大変順調としました。 また、本年度は20支援地域採択枠に30地域からの申請があったことから、本事業のニーズが高く、地域が主体となって積極的に子育て支援活動に取り組んでいることから、事業目的を達成する上で大変有効的であると考えられます。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	本年度、実施した研修会や活動事例報告会では、支援地域以外からの参加者も多数あり、本事業についての関心やニーズが高いことが確認されました。このことから、支援地域以外においても、自主的に子育て支援活動へ取り組むこととなれば、効率的に本事業の目的が達成できると考えます。 身近な地域で子育てをさせる仕組みをつくるとともに、子育てを地域で支えるという意識を市民に啓発する必要があることから、実施主体としては市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	<b>課題</b>	26年度の活動計画(見直し内容)   その結果目指す成果(26年度の成果目標)
---------------	-----------	--

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本

事業名	赤ちゃんの駅登録事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	2,400 千円	2,294 千円			4,400 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生み育てることができるように、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。また、本事業については、公共施設だけではなく、民間事業者の協力も得るなど、地域社会全体で子育て中の家庭を支える環境づくりを進めます。			成果実績	子育て家庭が安心して外出できるように、登録施設数の増加や利用促進に向けてPR活動に取り組み、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)					順調	

活動計画	「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けて、チラシ等を活用したPR活動を行うほか、「すくすく子育てフェスタ」会場でもPR活動を行います。登録施設には、利用者が気軽に立ち寄れるよう、目印となるステッカー等を目立つ場所に掲示します。			活動実績	下記のほか、チラシや啓発グッズを配布し利用促進に向けたPR活動を実施しました。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「赤ちゃんの駅」登録施設数 「赤ちゃんの駅」登録施設数が増加することが、乳幼児を持つ保護者の利便性の向上につながるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と目標年度) 300施設(26年度)	342 施設	300 施設	352 施設 117.3 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)					大変順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「すくすく子育てフェスタ」会場でのPRチラシと啓発グッズの配布、臨時赤ちゃんの駅を設置しPRを行いました。また、各区親子ふれあいルーム等でのPRチラシの配布など幅広く行い、「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けたPRを効果的に実施できました。地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充にあたっては、公共・民間施設を問わず、既存の施設を有効活用することとしており、経済的・効率的な登録施設の拡充に努めています。子育てしやすい環境づくりは市が主体で行うもので、市が積極的に関与する必要がありません。また、「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充のため、民間事業者の無償協力を得るには、実施主体としては市が適切です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)

事業名	親子ふれあいルーム整備事業			
事業概要	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などに整備し運営します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	32,027 千円	33,322 千円		
			目安の金額	課長 0.10 人 係長 0.35 人 職員 0.35 人
			7,275 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)にしたいのか	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などに整備し運営します。	成果実績	成果の状況は以下のとおりです		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われて中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)			- %		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	やや遅れ 遅れ	順調
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	- %					

活動計画	区役所等7か所・児童館10か所での親子ふれあいルームの運営を実施します。親子ふれあいルームの利用促進を図るため、情報発信(PRチラシ作成、配布等)を実施します。親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を行います。			活動実績	区役所等7か所の親子ふれあいルームについては、委託により運営を実施。(28,560千円)また、PRチラシ(2,2万枚)を作成、配布し、利用促進を図り、運営スタッフ向けの研修を2回行っています。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	親子ふれあいルーム利用者数(保護者)	25,347 人	単年度の目標設定はありません	28,017 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	親子ふれあいルームを利用することで、子育ての不安や悩みを軽減できると考えられるため、利用者数を活動指標とします。			- %			
					やや遅れ 遅れ	順調	
			%				

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>成果の状況は、年度により若干の上下変動が見られるものの、目標達成に向け推移していることから順調とし、活動の状況については、目標設定はないものの、利用者数が増加していることから、順調としました。また、親子ふれあいルームの整備については、これまでに区役所等に7か所、児童館に10か所整備し、「元気発進！子どもプラン」の計画を達成しています。</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>親子ふれあいルームの整備は、既存の公共施設を活用しています。運営については、公募により選考を行い、子育て支援活動の実績のある団体へ委託し、民間活用を行っています。これからも親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を引き続き実施し、事業内容についての検討を行います。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	地域子育て支援センター事業				施策番号		I - 1 - (1) - ③
	事業概要 保育所等の有するノウハウを利用して、子育て家庭支援活動の企画、調整等を担当する職員を指定施設に配置し、拠点として北九州市地域子育て支援センター事業の実施要綱に基づいて事業を行います。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )		
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額	課長
	65,844 千円	68,819 千円			1,500 千円	係長	人
						職員	0.20 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 保育所等を拠点とした地域子育て支援センターを設置し、育児相談や情報提供、親同士の交流などの場を設け、地域の子育て家庭の支援等を行います。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と最終年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  順調
				- %		
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	育児相談や情報提供、親同士の交流など、保育所等の特性を活かした子育て支援の場を設け、地域の子育て家庭の支援を行います。	活動実績	本市では、施設の情報交換会を開催するなど、情報の共有化を図る取り組みを行いました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) 地域子育て支援センター事業を実施している保育所の施設数	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	地域子育て支援センター事業の実施施設数については、現状の実施体制の維持に努めます。 (最終目標と目標年度) 現状維持(平成26年度)	8 所	8 所	8 所	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  順調
				100.0 %		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	地域の子育て中核施設として育児講座や育児相談等の事業を積極的に行っており、子育て家庭の支援に大きな効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	限られた補助金等の中で、配置保育士2名分の給与を支出すると同時に、各保育所でパンフレットや手引き等を作成するほか、離乳食講座、手作り教室など各種交流行事を開催しており、効率性は高いと言えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題 26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河淵

事業名	子育て支援員の養成・配置(保育所)				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	子育て支援指導者の育成を計画的に行い、子育て家庭の支援の推進および保育の質の向上を図るものです。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	699 千円	587 千円			3,675 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	北九州市社会福祉研修所の研修の充実を図り、保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として育成します。「子育て支援員」は、各区役所や市民センター等と連携しながら、地域に根ざす保育所の子育て支援の中心的な役割を担います。			成果実績	成果の状況は以下のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前の保護者)						
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と最終年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %	順調		

活動計画	年間40名を受講対象とし、4年を1クールと設定し、全保育所(158施設)の保育士が参加できるように計画しています。	活動実績	40名定員の「子育て支援要請講座」を6日間実施しました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子育て支援員の増員					
	専門性を活かし、きめ細かな子育て相談等に対応できるよう、子育て支援員の要請を継続します。	40 名	40 名	40 名 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子育て支援員の配置保育所数 保育所の保育士を子育てに関する相談や育児サークルの支援等に対応できる「子育て支援員」として養成し、保育所に配置し、育児に悩む保護者を支援できるよう、活動指標として掲げました。(最終目標と最終年度)全ての保育所(26年度)	158 施設	158 施設	158 施設 100.0 %	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	子育て支援指導者の育成を計画的に行い、「子育て支援員養成講座」を6日間実施しました。子育て支援の推進及び保育の質の向上を図ることができました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	北九州市福祉事業団に委託している社会福祉研修所が主催した研修を受講しているので、これ以上コストをさげることはできません。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本

事業名	一時預かりサービス情報の提供				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	民間事業者が提供する子どもの一時預かりサービスに関する情報を、幅広く収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行います。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「子どもの館」・「子育てふれあい交流プラザ」の運営費の総額、本事業はその一部	人件費		目安の金額
	259,466 千円	268,951 千円			2,900 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生み育てることができるように、民間事業者が提供する子どもの一時預かりサービスに関する情報を、幅広く収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行い、地域社会全体で子育てを家庭を支える環境づくりを進めます。			成果実績	子育て中の人々が求めるときに知りたい情報を手軽に入手できるよう、ホームページで一時預かりサービスに関する情報を提供することにより、地域社会全体で子育てを家庭を支える環境づくりを進めました。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    <b>順調</b>	
	(最終目標と目標年度)						

活動計画	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報の収集及びホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行います。			活動実績	計画どおり情報の収集及びホームページでの情報提供を行いました。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「子育てマップ北九州」内専用ページのアクセス件数 より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定します。	2,153 件	増加	2,517 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック    <b>順調</b>	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報を収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報提供を行いました。「子育ての悩みや不安の解消」に向けて、必要とされる情報を保護者にタイムリーに提供することにより地域社会全体で子育てを家庭を支える環境づくりを進めました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	ホームページ「子育てマップ北九州」管理運営は、「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ」運営に関する指定管理業務の一部として実施しており、経済的・効率的な情報提供に努めています。市が実施主体となって、情報のとりまとめを行い、ホームページ「子育てマップ北九州」において情報提供を行う必要があると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

## PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	ほっと子育てふれあい事業の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	仕事の都合や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎など、子育て支援サービスの充実を図ります。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	15,299 千円	15,572 千円			3,075 千円	

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	ほっと子育てふれあいセンターにおいて、地域で子育ての援助を行いたい者と子育ての援助を受けたい者を組織化し、相互に援助できるよう支援することにより、安心して子育てと仕事を両立できるような環境づくりに資するとともに地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標	(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
		子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
		地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)			- %		
		(最終目標と目標年度)		%	順調		

活動計画	定期的な会員募集を行い、会員獲得に努めています。また、提供会員の基本研修、ステップアップ研修や会員相互の交流会活動を通じて、会員の資質向上を図っています。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標	(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
		提供(両方)会員の確保	2,370 人	単年度の目標設定はありません	2,556 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
		援助活動の需要に対する供給の確保に努めます。			- %		
		研修会の実施	18 回	18 回	18 回	やや遅れ 遅れ	順調
	研修会を実施し、会員の質の向上に努めます。	100.0 %					

### 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	仕事の都合で保育所等への送迎ができない方や、急な用事のために子どもを預ける必要がある方等を援助し、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上に寄与することにより、十分な効果が得られていると考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	会員の質の向上のため、子どもの心身の健康や事故の対応などの研修を行っています。研修内容や会員同士の交流会の充実を図ることにより、安全で質の高いサービスの提供に努めることとしており、効率性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	児童手当				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを支援するため、中学校卒業までの子どもに児童手当を支給することにより、子ども一人一人の育ちを社会全体で応援します。					事業手法
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.88人
	16,345,949 千円	16,323,000 千円			38,720 千円	係長 0.88人
						(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	児童手当を支給することにより、次代の社会を担う子どもの育ちを支援することを目的とします。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	24.0 %	減少	39.6 %	やや遅れ 遅れ	順調
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	- %					

活動計画	法令等に基づき、確実に手当を支給します。 平成23年度 子ども手当【廃止】 平成24年度 児童手当【新規】	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	手当の確実な支給	- 千円	-	16,345,949 千円	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	法定受託事務であり、法令等に基づいて、手当を確実に支給することが必要であるため、指標に設定しました。			- %		
					やや遅れ 遅れ	順調
			%			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	子育てにかかる経済的な負担を軽減し、経済的な負担を和らげるために有効であると考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	法定受託事務であり、支給要件・手当額当が全国一律に定められているため、評価に馴染まないと考えています

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)



# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ③	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )

事業名	子ども・家庭相談コーナーの運営			
事業概要	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげています。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	84,403 千円	88,085 千円		目安の金額
				課長 0.75人 係長 7.10人 職員 7.60人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %			やや遅れ
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	24.0 %	減少	39.6 %	遅れ	順調	
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	- %						

活動計画	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	相談件数	76,648 件	-	77,404 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	各区の「子ども・家庭相談コーナー」において、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。			-		
					遅れ	順調

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図るとともに、関係機関との連携により一定の成果をあげており、事業の適切な運営がなされています。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>事業実施にあたり、計画的な研修を通じて相談員の資質の向上を図るなど効率的な運営をしています。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河淵

事業名	身近な施設における相談の実施				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	保育所や幼稚園、学校、市民センター、小児科医などの身近な施設において、通常の業務や活動の中でそれぞれの特性を活かした子育て相談や情報の提供を行っています。このうち、保育所においては、全ての施設で地域の子育て家庭を対象とした育児相談をはじめ、情報の提供を行います。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額 0 千円	25年度当初予算額 0 千円	(事業費備考)	人件費 目安の金額 2.025 千円		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	全保育所においては、通常の業務や活動の中でそれぞれの施設の特性や地域性を活かし、子育てで家庭への育児相談や情報の提供を行い、子育ての不安や悩みの解消を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前の保護者)						
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と最終年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %	順調		

活動計画	保育所において、子育て家庭を対象として育児に関する相談や情報提供を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	相談実施保育所数					
	全保育所で育児相談や子育て情報の提供を実施	158 施設	158 施設	158 施設 100.0 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	保育所における地域事業の一環として位置づけをしています。保育所が持つ専門知識やノウハウを活かして相談を受けたり、親子のふれあい遊びを提供して愛着関係がスムーズに築けるよう支援をしました。各保育所で開催している子育て広場は、年々参加者が増加し、電話相談も多くなっています。子育てに不安を感じている在宅の母親にとって地域にある身近な相談場所として大きな役割を果たしています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	保育所の地域事業の一環として実施している相談事業であり、新たなコストがかかりません。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	河渕

事業名	子育て支援総合コーディネーターの配置				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	「子育て支援サロン“ぴあちえーれ”」に子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、面接、電話やメールによる子育てに関する相談の対応を行い、必要な関係機関との連絡、調整等の支援を行います。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額		課長 人
	15,048 千円	15,217 千円		1,750 千円	係長 0.10 人 職員 0.10 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 子育てに悩む保護者の思いを傾聴することで、不安をとりのぞき、子どもの育ちを支えていきたいと思います。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方) 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と最終年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	24.0 %	減少	- %		
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と最終年度) 減少(26年度)			39.6 %	やや遅れ	順調
			- %	遅れ		

活動計画	市において、北九州市保育所連盟と委託契約を締結し、保育士等により構成された子育て支援コーディネーター3名を配置して子育てに関する相談への対応や各関係機関との連携、コーディネート業務等を実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明) コーディネーターの配置人数	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子育て支援サロン“ぴあちえーれ”のコーディネーターの数の現状維持に努め、子育て相談や関係機関との連携、調整等にきめ細かく対応します。	3 名	3 名	3 名	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
				100.0 %		
						やや遅れ 遅れ

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「子育てふれあい交流プラザ」内の子育て支援サロン“ぴあちえーれ”において、子育て支援総合コーディネーターを3名配置し、子育てに関する相談に応じ、利用者に必要な関係機関との連携、調整等を行いました。また、大学教授や小児科医、保育経験者等を講師に招き、子どもの発達や食育、遊び等をテーマとした育児講座の開催や絵本の貸出を行い、子育て支援の充実を図りました。子育てに関する相談は、電話相談1240件、面接相談1113件、メール相談232件あり、利用者に必要な関係機関との連携、調整等も行っていきます。子育て支援のコーディネーター機能を発揮する市内唯一の事業であり、有効性が高いと考えます。
	<b>【経済性】</b> (同成果を低コストで) <b>【効率性】</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	限られた予算で事業を展開しており、施設内での育児講座や貸出図書、玩具の購入、リーフレットの作成などを通して事業の周知を図り、効率的な運営をしています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本

事業名	情報提供の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ③	
事業概要	子育て中の人が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できるよう、ホームページ、情報誌の内容や、情報提供方法の充実を図ることにより、必要とされる子育てに関する情報が、市民に届く仕組みを構築します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		
	3,699 千円	2,500 千円			6,150 千円	

## 【Plan】計画 → | 【Do】実施 → | 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを産み育てることができるように、ホームページ、情報誌の内容、情報提供方法の充実に努めます。子育て中の人が、子どもの成長に応じた情報をタイムリーに、かつ手軽に入手できる仕組みを構築し、子育ての不安や悩みの軽減を図ります。	成果実績	必要とされる子育てに関する情報が市民に届くように、ホームページ、情報誌による情報提供の充実を図り、子育ての不安や悩みの軽減に取り組みました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者) 多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	24.0 %	減少	39.6 %	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	ホームページ「子育てマップ北九州」での情報提供を行い、平成24年7月には子育て情報誌「こそだて情報」を作成・発行します。	活動実績	情報誌「こそだて情報」を平成24年7月に51,600冊発行し、保育所、幼稚園等や、母子健康手帳交付時に配付しました。また、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報を提供しました。
------	--	------	---

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子育てマップのアクセス件数	667,474 件	667,474 件	650,038 件 97.4 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	「こそだて情報」の発行	発行	-	発行	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	1 平成24年7月に情報誌「こそだて情報」を51,600冊発行し、保育所、幼稚園、親子ふれあいルーム、子どもの館、子育てふれあい交流プラザ、医師会、コンビニエンスストア等を通じ、また、母子健康手帳交付時に配付しました。 2 子育てに関するホームページ「子育てマップ北九州」で子どもの成長に応じた情報を提供するとともに、希望者に毎月「子育て情報メール」の無料配信を行いました。 子育てマップのアクセス数は微減しましたが、子育て中の人が求めるときに知りたい情報を手軽に入手できるよう、ホームページや情報誌などを活用して子育てに関する情報提供を行いました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	情報誌「こそだて情報」作成・配布にあたっては競争入札を行い、ホームページ「子育てマップ北九州」では指定管理者制度を導入し、経済的・効率的な情報提供に努めています。市の子育てに関する施策や施設の情報の取りまとめ等については、市のみが可能であり、実施主体としては市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ④	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)

事業名	小規模グループケアの実施			
事業概要	児童養護施設及び乳児院の各施設において、家庭的な環境の中で職員との個別な関係を重視したケアを提供するため、小規模なグループ(原則6名以内)によるケアを実施します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	99,989 千円	76,206 千円		
			目安の金額	課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人
			2,700 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市内児童養護施設及び乳児院の各施設で小規模グループケアを実施し、被虐待児等に個別な関係を重視したきめ細かなケアを行い、児童の健全な育成を図ります。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	小規模グループケア実施箇所数	10ヶ所	単年度の目標設定はありません。	11ヶ所	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	社会的養護が必要な子どもが、それぞれの子どもにあった生活環境で、健やかにはぐくまれ、自立できる社会環境づくりが必要ですが、それを数値で表すことは困難です。代替として児童養護施設における小規模グループケア実施箇所数を成果指標としています。最終目標は「元気発達！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 14か所(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)	%	遅れ	やや遅れ		

活動計画	24年度は1施設で3月下旬に小規模グループケア棟を完成させ、25年4月から本格的な運営を始めます。今後も、26年度までに14か所整備する目標に向けて、着実に増設し、より多くの児童へきめ細かなケアを提供します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	小規模グループケア実施箇所数	10ヶ所	単年度の目標設定はありません	11ヶ所	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	国の要綱に基づき、1施設2グループケアまで指定できることから、市内7施設で14か所の設置を指標としました。 (最終目標と目標年度)14か所(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)	%	遅れ	やや遅れ		

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>事業が若干遅れているためやや遅れとしました。小規模グループケアは、児童一人ひとりに合わせた処遇を行い、小規模の落ち着いた環境の中で生活させることができ、児童にきめ細かなケアを実施できることから被虐待児等への支援として有効です。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>国の措置制度に基づいた義務的経費であり、他の方法による小規模グループケアの実施は困難です。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ④	
<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
( )	
(人件費備考)	

<b>事業名</b>	自立援助ホームの運営及び女子児童用自立援助ホームの創設			
<b>事業概要</b>	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与する自立援助ホームを運営します。あわせて、女子児童用の自立援助ホームを創設します。			
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	34,246 千円	36,895 千円		目安の金額
				課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人

## 【Plan】計画 →      【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)にしたいのか	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与します。	<b>成果実績</b>	成果の状況は下記のとおりです。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	児童養護施設における生活環境整備等の促進	-	生活環境整備等の促進	-	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	児童養護施設において、子どものプライバシーに配慮した児童居室の個室化などや、家庭的養護を推進するための小規模グループケアを進めるとともに、子どもたちへの支援をさらに充実させるため、職員の資質向上等を図ります。 (最終目標と目標年度)			%		
					%	やや遅れ 遅れ
	(最終目標と目標年度)			%		

<b>活動計画</b>	児童養護施設等を退所し、就職する児童に対し、共同生活を営むべき住居において、相談その他の日常生活上の援助及び生活指導、就職支援を行うことで社会的自立の促進に寄与します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです			
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	就労や健康管理、食事等日常生活に関することの援助・指導等	-	単年度の目標設定はありません	-	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就労や健康管理、食事等日常生活に関することの援助・指導等により、児童の社会的自立の促進に寄与すると考え指標に設定しました。			%		
	就職等自立児童数	4 人	単年度の目標設定はありません	10 人	%	やや遅れ 遅れ
	就職もしくは大学進学を進めるとともに、自立資金の貯蓄や正しい生活習慣を身につけさせるなど、自立に向けた準備を整えて卒園させる必要があります。しかし、児童の状況に応じた支援であることから、目標の設定は困難です。			-		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点  <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	現在のところ、特に課題となるものも見つからないことから順調としました。児童養護施設卒園児等の自立までの居場所、自立支援として有効と考えます。  国の措置費に基づいた義務的経費であり、他の方法による実施は困難です。
------------------	---	--

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	課題	26年度の活動計画(見直し内容)   その結果目指す成果(26年度の成果目標)
---------------	----	--

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	児童養護施設入所児童等への運転免許取得費助成など自立支援事業					施策番号	
						I - 1 - (1) - ④	
事業概要	児童養護施設入所児童に対し、普通自動車運転免許取得費や就職に有利になる資格取得費の一部を助成することにより、就職活動の支援を行い、もって児童の自立促進と福祉の向上を図ります。					事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「児童養護施設等入所児童自立生活支援事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目金の金額		課長
	14,364 千円	23,749 千円			675 千円	係長 0.03 人 職員 0.05 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	児童養護施設入所児童に対し、普通自動車運転免許取得費や就職に有利になる資格取得費の一部を助成することにより、就職活動の支援を行い、もって児童の自立促進と福祉の向上を図ります。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	児童養護施設における生活環境整備等の促進	—	生活環境整備等の促進	— 件	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	児童養護施設において、子どものプライバシーに配慮した児童居室の個室化などや、家庭的養護を推進するための小規模グループケアを進めるとともに、子どもたちへの支援をさらに充実させるため、職員の資質向上等を図ります。 (最終目標と目標年度)			%		
					やや遅れ	大変順調
(最終目標と目標年度)			%	遅れ		

活動計画	就職を控えた児童養護施設入所児童の必要性に応じ、随時申請を受付助成します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	就職・進学を控えた児童のうち、運転免許取得希望者への助成件数	11 件	単年度の目標設定はありません。	18 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	運転免許の取得が就職に有利になると考え、助成件数を指標に設定しました。			— %		
	就職に有利になる資格取得希望者への助成件数	5 件	単年度の目標設定はありません。	8 件	やや遅れ	大変順調
資格取得が就職に有利になると考え、助成件数を指標に設定しました。	— %					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	就職時に有利になる資格の一つである自動車運転免許取得は入所児童等にとって金銭面での負担が大きいため助成が必要です。また、その他の就職を有利にする資格を取得することも、入所児童の自立を促進することにつながるため有効と考えます。免許取得を希望する児童全員に助成を行ったことから成果の状況と活動の状況を大変順調としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	自動車運転免許は就職の際に必要なとされることが多いものです。自動車運転免許取得にかかる費用については、コストを下げる方法がなく、助成金上限額200千円を下げることは困難です。その他の資格取得の取得費助成についても、より有利な就職にも繋がることから、自立支援策として効果的です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	入所児童の権利擁護のための調査審議等を行う審査部会の社会福祉審議会児童福祉専門分科会への設置				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	子どもの権利擁護を推進するため、弁護士や医師、大学教授からなる「入所児童の権利擁護のための調査審議等を行う審査部会」を社会福祉審議会児童福祉専門分科会に設置し、児童福祉施設内での処遇や措置に対する意見等に基づき、調査審議等を行います。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	0千円	0千円			5,400千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) 市内の児童養護施設等で発生した被措置児童等への虐待に対し、入所児童の権利の侵害をどのような状態 救済し、心身の健全な成長を図るため、その権利の擁護に向けた調査審議等を行い、市長に対して対応方針等について意見を述べます。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	児童の心身の健全な成長	-	児童の心身の健全な成長	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	被措置児童等に対する虐待事案が発生した際に、入所児童の権利の侵害を救済することにより、児童の心身の健全な成長を図ることが必要ですが、児童の心身の健全な成長を数値で表すことは困難です。 (最終目標と目標年度)			%		
	(最終目標と目標年度)			%	遅れ	順調

活動計画	必要に応じて開催します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです			
活動指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	有事の際の適時的確な調査審議と効果的な対応方針策定	-	必要に応じ開催	-	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	措置児童等に対する虐待事案が発生した際、適時的確な調査審議等を行い、より効果的な対応方針等を策定するものです。			%		
				%	遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	措置児童等に対する虐待事案が発生した際の諮問調査機関であるため、有効性は高いと考えます。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	社会福祉審議会児童福祉専門分科会内へ設置するため、委員会の重複設置を避けることが可能です。また、措置児童等に対する虐待事案が発生した場合のみの開催であるため、経済性、効率性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

<b>事業名</b>	ファミリーホームの運営				施策番号		
					I - 1 - (1) - ④		
<b>事業概要</b>	家庭的養護を促進するため、保護者のいない児童に対して養育者の住宅を利用し、基本的な生活習慣を確立するとともに児童の自立を支援するファミリーホームを普及・推進します。				<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
						( ) (人件費備考)	
<b>コスト</b>	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.05 人
		57,800 千円	66,243 千円			2,700 千円	係長 0.10 人 職員 0.15 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)にしたいのか	家庭的養護を促進することで、児童間の相互作用を活かしつつ、児童の自主性を尊重し、基本的な生活習慣を確立するとともに、豊かな人間性及び社会性を養い、児童の自立を支援します。	<b>成果実績</b>	成果の状況は下記のとおりです。			
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	要保護児童数に対する里親・ファミリーホーム委託率	13.2 %	増加	12.5 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	子どもの置かれた状況に応じた社会的養護を実施するため、家庭的な養育環境としての里親、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)の普及を促進し、それぞれの子どもにあった養育環境を提供することにより、豊かな人間性や社会性を養い、児童の自立を支援することから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 15%(26年度)			-			%
	(最終目標と目標年度)			%			

<b>活動計画</b>	ファミリーホーム移行可能な里親に打診し、開設を促します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです			
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	ファミリーホーム実施箇所数	4 ヶ所	5 ヶ所	5 ヶ所	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ファミリーホームの運営により、家庭的な養育環境を整え、児童の自立を支援するため、指標として設定しました。市は、運営費を補助します。			100.0 %		
	(最終目標と目標年度)			%		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	家庭引取り等により委託率が減少したためやや遅れとしました。ファミリーホームは、家庭的養護の中できめ細やかで手厚いケアができ、子どもの健やかな成長に有効です。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	家庭的な生活の中で児童と関わっていけるため、児童の基本的な生活習慣の確立や健全育成にとって、効果が高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	<b>課題</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

## PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾
施策番号	
I - 1 - (1) - ④	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )

事業名	家庭生活体験事業(一日里親事業)の拡大			
事業概要	児童養護施設等入所児童に暖かい家庭生活を体験させ、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額
	20,557 千円	34,155 千円		課長 0.05 人 係長 0.10 人 職員 0.15 人

### 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 児童養護施設等入所児童に家庭生活を体験させることで、児童の社会性の涵養、情緒の安定、退所後の自立を促進します。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</small> 要保護児童数に対する里親・ファミリーホーム委託率 子どもの置かれた状況に応じた社会的養護を実施するため、家庭的な養育環境としての里親、小規模住居型児童養育事業(ファミリーホーム)の普及を促進し、それぞれの子どもにあった養育環境を提供することにより、豊かな人間性や社会性を養い、児童の自立を支援する必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 15%(26年度)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
		13.2 %	増加	12.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
				— %			
				%			
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ		

活動計画	家庭生活体験事業を各施設に周知し、利用促進を図ります。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明)</small> 家庭生活体験児童数 施設入所児童に家庭生活を体験させることにより、児童の社会性の涵養、情緒の安定を図り、退所後の自立を促進するため、体験児童数を指標としました。市は事業費を補助します。	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
		240 人	児童それぞれの状況に合わせて家庭的生活を体験できるようにします。	328 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
				— %			
				%			
					順調		

### 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	児童養護施設の入所児童は、家庭生活での基本的習慣などを体得しにくい環境にあるため、体験させることで退所後の自立を促進できます。また、家庭の中で、児童と個別にかかわることができるため、処遇の個別化にもつながり有効と考えます。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	児童養護施設に入所しながら、短期間でも家庭生活を体験する中で家庭的な愛情を感じ取ることは、児童の心身の健やかな成長にとって有意義なものであり、処遇の面で非常に効果的です。

以下、予算案作成時に記入

### 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	ひとり親家庭のための合同就職説明会				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	ひとり親家庭への理解を示す複数の企業の会社説明会(合同就職説明会)の場を提供することにより、就職が困難なひとり親家庭の就業と自立を支援します。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額 3,793 千円	25年度当初予算額 3,800 千円	(事業費備考) 本事業費は、「ひとり親家庭のための合同就職説明会」の事業費予算4,500千円の一部です。	人件費		目安の金額 1,855 千円

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	母子家庭は、平均年収が約234万円と低い水準にあり、非正規職員の割合が49%と高く、非常に厳しい状況にあります。このような母子家庭等ひとり親家庭の父母の就業を支援するため、ひとり親家庭への理解を示す企業を開拓し、企業への就職の場を提供する「合同就職説明会」を開催し、就業機会を増やします。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター)	66.7 %	減少	66.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-		
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(子ども・家庭相談コーナー)	22.2 %	減少	14.8 %	やや遅れ 遅れ	順調
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-			

活動計画	就職が困難なひとり親家庭の父母を対象に、ひとり親家庭に理解を示す企業による合同就職説明会を開催し、就業と自立を支援します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	合同就職説明会の参加者数	60 人	-	106 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、ひとり親家庭の就業を支援する施策の利用者数を活動指標としました。			-		
					やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>平成24年9月9日に「北九州市合同就職説明会」を開催し、就職の困難なひとり親家庭の父母の就業の機会を提供しました。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>説明会の会場内で、子育てや就職に関する相談や講座を開催し、効率的な支援を行いました。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局					
担当課	子育て支援課					
課長名	西尾					
施策番号						
I - 1 - (1) - ④						
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 負担金				
	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理				
	<input type="checkbox"/> その他	( )				
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額 (事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.05人	(人件費備考)
事業費	227,699 千円	200,872 千円		4,325 千円	係長 0.15人	
					職員 0.30人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 母子及び寡婦福祉法第31条に規定する母子家庭の母の雇用の安定及び就職の促進を図るための給付金を支給します。	成果実績	各区の子ども・家庭相談コーナーで給付の相談等を受け、就業に向けた支援を行いました。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合 (母子福祉センター)	66.7 %	減少	66.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-		
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合 (子ども・家庭相談コーナー)	22.2 %	減少	14.8 %	やや遅れ 遅れ	順調
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-			

活動計画	収入面、雇用条件等で安定した仕事に就き、自立を促進できる事業であり、法の規定に従い、引き続き現状の支援を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	自立支援教育訓練給付金・高等技能訓練促進費等給付金の受給件数	197 件	-	166 件	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、母子家庭の就業を支援する施策の利用件数を活動指標としました。			-		
	給付金受給者の資格取得率 (合格者/受給者)	94.3 %	-	100 %	やや遅れ 遅れ	順調
就業の際に有利であり、かつ生活の安定に資する資格の取得を目指すことが目的であるため、資格取得率を活動指標としました。			-			

【Check】評価(分析)	
<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	母子家庭の母親の就業を促進し、自立を支援するため、就職に有利で生活の安定につながる資格の取得を促進するための「高等技能訓練促進費等給付金」、就職につなげる能力開発のため教育訓練講座の受講料を助成する「自立支援教育訓練給付金」を支給し、母子家庭の母の自立を促進しました。  支給金額等は、法律等で規定されています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	母子福祉センター事業の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	「母子福祉センター」は、ひとり親家庭や寡婦の生活上の悩みや相談を受けたり、仕事のために必要な知識や技能を身につけるための講座等を無料で行っていきます。その他各種研修会や催し等を行い、ひとり親家庭等の生活の安定、福祉の向上を目指しています。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	39,881 千円	39,900 千円			1,480 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「母子福祉センター」において、各種相談事業、自立促進のための各種講座や就職相談会などを実施し、母子家庭等の総合的な福祉の向上を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	母子福祉センターにおける講座等の受講者延べ人数			4,486 人	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	ひとり親家庭が自立し、安定した生活を営むためには、就業により収入を安定的に確保する必要があります。よって、この就業を支援する施策の利用数の増加を成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 6,000人(26年度)	3,932 人	-	-			
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター)			66.7 %	やや遅れ 遅れ	順調	
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	66.7 %	減少	-				

活動計画	ひとり親家庭等の様々な相談に応じるとともに、生活指導や技能習得のための講座の開催、就職の援助等を行い、生活の安定や福祉の向上に努めます。また、今年度から、母子自立支援プログラム策定員に専門職(キャリアカウンセラー)を配置し、就業支援の強化を図ります。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	母子福祉センターの利用者数			8,783 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	母子福祉センターは、相談事業や就業支援事業等を行い、母子福祉を総合的に推進する拠点施設であることから、その利用者数を活動指標としました。	7,931 人	-	-			
					やや遅れ 遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	一般・特別相談(1,837人)、就業支援相談(17人)、就業支援講習会(479回開催、延べ4,486人受講)等を実施しました。就業支援講習会は、講座の内容等を見直すことにより、前年度より554人受講者が増加しました。また、24年度より、母子自立支援プログラム策定員に専門職(キャリアカウンセラー)を配置して、よりきめ細やかな自立・就業支援を行いました。その結果、前年度より、策定件数それによる就職者がともに増加しました。(策定:119人 65%増、就職:61人 45%増)
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	指定管理者制度により、コストの削減等に努めています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	母子自立支援プログラム策定事業等成功事例集の作成				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	「母子福祉センター」で実施している母子自立支援プログラム策定事業等によって、就業につながった事例などを集めた成功事例集を作成し、今後の就業支援に役立てます。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	0千円	0千円			790千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「母子福祉センター」で実施している母子自立支援プログラム策定事業等によって、就業につながった事例などを集めた成功事例集を作成し、今後の就業支援に役立てます。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター)			66.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	66.7 %	減少	—			
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(子ども・家庭相談コーナー)			14.8 %	やや遅れ 遅れ	順調	
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	22.2 %	減少	—				

活動計画	母子自立支援プログラム策定事業等によって、就業につながった事例などを集めた成功事例集を作成し、就業支援に役立てます。				活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	成功事例集を500冊発行し、母子福祉センターや各区の子ども・家庭相談コーナーにおいて活用します。そのため、数値で示すことが困難です。	未作成	—	作成配布	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
				—			
					やや遅れ 遅れ	順調	

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>成功事例集を作成し、母子福祉センターや子ども・家庭相談コーナーで配付して、就業支援に役立てました。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>母子自立支援プログラム策定事業を行う指定管理者が作成することにより、効率的に取り組みます。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	母子寡婦福祉資金貸付金制度の利用促進				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	母子家庭及び寡婦の経済的自立の助成と生活意欲の助長を図り、あわせてその扶養している児童の福祉を増進するため、無利子又は低利で各種資金の貸付を行っています。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目金の金額
	288,220 千円	455,380 千円			8,825 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	母子家庭や寡婦の経済的自立の促進及び生活意欲の向上等を図るため、貸付の利用を促進します。			成果実績	各区の子ども・家庭相談コーナーで貸付の相談等を受け、利用促進に努めました。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター)	66.7 %	減少	66.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-			
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(子ども・家庭相談コーナー)	22.2 %	減少	14.8 %	やや遅れ 遅れ	順調	
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	-						

活動計画	母子家庭等の生活の安定と向上を図るため、引き続き、貸付事業を継続します。			活動実績	適正な貸付けを執行しました。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	貸付件数	771 件	-	625 件	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	就業による自立を促進することは重要であることから、母子家庭等の就業や子育て・生活を支援する施策の利用件数を活動指標としました。			-		
					やや遅れ 遅れ	順調

【Check】評価(分析)	
分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>貸付件数は減少していますが、原則無利子で、資金の貸付を希望する人には全て貸付けをしました。これにより、母子家庭等の子どもの修学、母親の資格取得等を助け、児童の福祉を増進し、生活の安定と向上に寄与しました。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>母子及び寡婦福祉法に定められた事業であり、金額等は法律等で規定されています。</p>

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ④	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	( )
(人件費備考)	

事業名	ひとり親家庭等医療費支給制度			
事業概要	母子家庭の母または父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	877,696 千円	898,522 千円		
			目安の金額	課長 0.10 人
			3,650 千円	係長 0.10 人
				職員 0.20 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 母子家庭の母または父子家庭の父及び児童、父母のない児童の健康の向上と福祉の増進を図るため、保険診療による医療費の自己負担額を助成します。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)</small> 子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(小学生の保護者)	24.0 %	減少	39.6 %			やや遅れ
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			-	遅れ	順調	

活動計画	母子家庭の母または父子家庭の父及び児童、父母のない児童に対する医療費助成を、継続して実施します。			活動実績	活動結果は以下のとおりです。		
活動指標	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) <small>(上段:指標名 下段:指標の説明)</small> ひとり親家庭等医療の受給者数	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	ひとり親家庭等医療の受給者数が増えることにより、経済面における子育ての悩みや不安を感じる人の割合は減少すると予想されるため、指標として設定しました。	30,046 人	26,691 人	25,753	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
				96.5 %			やや遅れ
					%	遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	受給者数はほぼ目標通りであり、経済面に対する子育ての悩みや不安を感じる人の負担の軽減につながっていると考えられるため、施策に対する効果は高いと考えます。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	保険診療による自己負担額を助成するものであり、代替手段によるコスト削減または市以外の団体による関与は考えられません。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

<b>事業名</b>	ひとり親家庭施策の周知				施策番号		
					I - 1 - (1) - ④		
<b>事業概要</b>	ひとり親家庭の利用できる制度や施設をまとめた「ひとり親家庭のガイドブック(携帯版)」を作成して配布し、自立するための必要な情報を周知します。				<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
						( )	
<b>コスト</b>	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 本事業費は、「ひとり親家庭のための合同就職説明会」の事業費予算4,500千円の一部です。	人件費	目安の金額	課長 0.01人 係長 0.03人 職員 0.05人
		642 千円	700 千円			790 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 自立を図るために必要な情報を周知するため、ひとり親家庭の利用できる制度や施設をまとめた「ひとり親家庭のガイドブック(携帯版)」を作成し、配布します。			<b>成果実績</b>	成果の状況は下記のとおりです。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(母子福祉センター)			66.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	66.7 %	減少	-			
	ひとり親家庭施策を知らない人の割合(子ども・家庭相談コーナー)			14.8 %	やや遅れ 遅れ	順調	
自立を図るために必要な施策の情報が、必要な家庭に確実に効果的に届く必要があることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	22.2 %	減少	-				

<b>活動計画</b>	ひとり親家庭等の利用できる制度や施設をまとめた冊子を作成・配布することにより、自立を図るために必要な情報を周知します。			<b>活動実績</b>	ひとり親家庭等の利用できる制度や施設をまとめた冊子を作成・配布することにより、自立を図るために必要な情報を周知します。		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「ひとり親家庭のガイドブック」の作成・配布			作成 配布	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	ひとり親家庭のガイドブックを13,000冊発行し、各区の相談窓口や母子福祉センターなどで配布することにより、ひとり親家庭等の自立を図るために必要な情報を周知します。	作成 配付	-	-			
					やや遅れ 遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	ひとり親家庭等の利用できる制度や施設をまとめた冊子を作成・配布することにより、自立を図るために必要な情報を周知しました。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	携帯版にすることにより、利便性、経済性を図りました。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	<b>課題</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども総合センター
課長名	高橋

事業名	虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応及び児童への支援のための連携強化				施策番号	
					I - 1 - (1) - ④	
事業概要	児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行う。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	14,652 千円	16,710 千円			33,200 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 児童虐待は子どもに対する最大の人権侵害です。関係各機関が連携を図ることで、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応及び適切な支援ができるようになることを目指します。	成果実績	成果状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待対応件数の減少につながることから、成果指標として掲げました。 最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	322 件	減少	346 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調

活動計画	児童虐待相談対応の強化を図ります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	児童虐待問題連続講座の参加者数 市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」を11月に開催するので、参加者数を指標として掲げました。	266 人	単年度目標設定なし	257 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数 児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。	154 人	単年度目標設定なし	242 人	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	関係機関職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」や市民や関係機関職員に対する「連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数は、平成23年度に比べ15%(平成24年度:452件)と大幅に増加しています。これに対して、通告のうち虐待と認められたものの児童虐待対応件数は、平成23年度に比べ7.5%(平成24年度:346件)の増加に留まっており子どもプランの目標設定時(平成20年度374件)と比較すると概ね順調に減少しています。このことから、児童虐待の早期発見や早期対応など、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりが進んでいると考えられます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	児童虐待対応は、子どもの安全が最優先であり、法的にも、区や児童相談所がマネジメントの主体とならざるを得ません。また、児童虐待に関する研修や啓発については、専門的な知識や経験が必要で、学識経験者等による講義に加え、一部研修では経験を積んだ職員が講師を行うなど、効率的に実施しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	保育課	
		課長名	重谷	
事業名	身近で気軽に行ける相談窓口体制の整備(保育所等)			
	施策番号 I - 1 - (1) - ④			
事業概要	保育所や、幼稚園、児童発達支援センター、入所施設、特別支援学校で、市民が気軽に相談できる窓口を設けられないか検討します。その体制をつくるため、障害児療育の専門機関による技術的支援を行うなど、保育所等の職員の専門性の向上を図ります。			
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額 (事業費備考)	人件費
		0 千円	0 千円	目安の金額
				課長 0.03 人 係長 0.05 人 職員 人
		(人件費備考)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	市民が気軽に相談できる窓口を保育所等にも設けられないか検討し、その体制を作るため、障害児療育の専門機関による技術的支援を行うなど、保育所等の職員の専門性の向上を図ります。		成果実績	発達の相談等にも対応できるよう、各保育所が障害児保育について障害児療育の専門機関等から支援を受け、専門性の向上を図りました。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)					
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %		順調

活動計画	市民の相談窓口設定の検討を行い、保育所等の職員の専門性の向上を図ります。		活動実績	社会福祉研修所主催の研修(50所×3回実施(150名参加)での講義の中で、障害児保育の現状について講義を実施しました。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	相談対応施設数					
	全保育所(158施設)で相談に対応していきます。	158 施設	158 施設	158 施設 100.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)					順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	入所指導以外の相談は少ないが、療育の専門機関から支援事業や保育課や社会福祉研修所主催で体制づくりの研修を実施しました。保育所という身近な施設において発達に関する相談もしやすく、子どもに関する様々な問題の早期発見につながります。また、乳児から就学前までの様々な子どもがいるので、実際の援助の様子をみることで、保護者にとって大きな支援になります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	保育所の機能を有効活用することで予算をかけずに実施しており、経済性・効率性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	重谷
施策番号	
I - 1 - (1) - ④	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
( )	
(人件費備考)	

事業名	保育所・幼稚園から小学校・特別支援学校への連絡体制・情報共有機能の強化			
	保育所・幼稚園から小学校・特別支援学校が、特別な支援が必要な児童についてのケース会議を持ち、就学にむけた入学児童の一人ひとりの引継ぎ資料等を作成するなど、入学時の連絡体制・情報共有機能を強化します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	目安の金額	課長 0.03人
	0 千円	0 千円	345 千円	係長 人 職員 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	保育所、幼稚園等と小学校・特別支援学校が、特別な支援が必要な児童についてのケース会議の開催や就学に向けた入学児童の個別の引継ぎ資料等の作成するなど、入学時の連絡体制・情報共有機能の強化を図ります。	成果実績	北九州市内の全認可保育所から、3月に保育所児童保育要録を送付し、小学校入学児童の一人ひとりについて、情報の共有を図りました。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる指標として揚げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)					順調
(最終目標と目標年度)						

活動計画	就学に向けて児童一人ひとりの連絡体制・情報共有機能を強化します。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	保育所児童保育要録の送付	158 施設	158 施設	158 施設	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	北九州市内の認可保育所において共通に使用している様式の保育所児童保育要録を記入し、全保育所から就学先の小学校へ送付します。			100.0 %		
	小学校・特別支援学校との連携体制の強化					順調
各小学校における連絡会等の内容や開催時期等の差はありますが、全就学先で実施が可能となるように、教育委員会と連携していきます。						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	北九州市内の全認可保育所から3月に保育所児童保育要録を送付し、小学校入学児童の一人ひとりについて、情報の共有を図りました。就学前教育において、入学の連絡体制、情報共有機能を強化するために、有効性は高いと考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	現行の組織体制の中で、それぞれの連携強化をもって対応しており、特段の予算をかけていないため、経済性・効率性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	保育課	
		課長名	重谷	
事業名	専門機関との連携による保育所での発達障害児支援の充実			
	施策番号 I - 1 - (1) - ④			
事業概要	保育所と「子ども総合センター」、「総合療育センター」など専門機関との連携を強め、保育所に通うLD、ADHD、高機能自閉症のある子どもなどへの支援の拡充を図ります。特に今後の課題として、保育所における対応のあり方、専門機関との役割分担、保護者への支援のあり方等について検討を深め、支援に取り組みます。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	0 千円	0 千円		目安の金額
		課長	人	
		係長	0.05 人	(人件費備考)
		職員	0.05 人	
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 保育所と専門機関が連携を深め、保育所における対応のあり方、専門機関との役割分担、保護者支援内容等を検討し、発達障害児支援の充実を図ります。	成果実績	北九州市内の全認可保育所から3月に保育所児童保育要録を送付し、小学校入学児童の一人ひとりについて、情報の共有を図りました。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	
	保育所に対する満足度(保育内容)					
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %	順調 やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	専門機関と連携して、発達障害児やその保護者への支援に取り組みます。	活動実績	保育課主催で、療育施設の実習(38名)、統合保育研修(公開保育・55名)、関係機関見学(22名)を実施し、発達障害児支援の充実を図りました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	
	専門機関と連携した発達障害児の支援					
	子ども総合センター・総合療育センター・障害福祉センター等専門機関と連携し、発達障害児の支援の拡充を図ります。				大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	保護者支援の取り組み 専門機関などの支援を受けながら、個別の支援計画を作成し、これを基に保育所と家庭がそれぞれの生活状況を伝え合うことで、共通理解を深め、保護者の悩みなどを支えます。				やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	子どもの発達相談や保育への個別支援、研修などを通して、支援に取り組みました。一人ひとりの障害はさまざまであり、その状態も多様であるので、障害のある子どもの保育にあたっては、専門機関と連携する機会を多く持つことが重要で、有効性は高いと考えられます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	市の規定に基づく専門講師や既存施設を活用し、合理的に実施していきます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	保育課
		課長名	重谷
		施策番号	
		I - 1 - (1) - ④	
事業名	親子通園クラスの設置		
事業概要	<p>幼児期の子どもの発達や育児に関して、不安や孤独感を抱えている保護者にとっては、伴走型の支援が必要である。まずは、保護者の思いを共有し、気兼ねなく安心して親子が過ごせる場所を提供することが求められる。その上で、あそびや体験等を通じて、子育ての楽しさや成長の喜びを保護者が感じられることから、支援がスタートすることが望ましい。保育所での継続した支援、相談を行うことにより、発達の気になる子どもの健全な育成や保護者の育児不安の解消を図るために、新たな子育て支援事業として、親子通園施設を設置するものである。</p>		
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額 (事業費備考)
		1,606 千円	3,150 千円
		目安の金額	課長 0.10 係長 0.20人 職員 0.20人
		4,650 千円	(人件費備考)
			<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	直営保育所へ新たに「親子通園クラス」を設置し、発達の気になる子どもを保護者とともに受け入れ、保育所での遊びや体験、相談を通じて継続した支援を行います。また、直営保育所と保健、医療、福祉の関係機関が連携しながら、児童の保育所、幼稚園などへの移行を支援します。	成果実績	親子通園利用世帯全てが、当該事業の支援を通して、次年度の対応を決定することができました。(移行先が決定した世帯:75パーセント超)		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	保育所に対する満足度(保育内容)					
	保育の質の向上、多様なニーズに対応した特別保育の充実などの取り組みによる成果を示す指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.0 %	向上	86.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)			- %		順調

活動計画	八幡西区黒崎保育所、小倉北区東篠崎保育所において、親子通園クラスを設置し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。	活動実績	平成24年度については、黒崎保育所は延べ132組、東篠崎保育所は延べ137組の親子が利用しました			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	親子通園クラスの利用者数					
	親子通園クラスを設置し、発達に不安のある児童や育児に不安のある保護者を親子で受け入れ、遊びや相談等を通じて、保育所や幼稚園、療育機関等への移行支援を行います。 (最終目標と目標年度) 延べ300組(平成26年度)	104 組	200 組	269 組 134.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)					大変順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	小倉北区東篠崎保育所と八幡西区黒崎保育所の親子通園クラスで、遊びの提供や保護者との懇談を行い、発達の気になる子どもや育児に不安のある保護者に対し、継続した支援を行いました。黒崎保育所は延べ132組、東篠崎保育所は延べ137組の親子が利用しました。 通園利用世帯に対して実施したアンケートで、利用者の満足度は100%でした。また、次年度の移行先が決定した世帯も75%を超え、移行支援としての成果も出ています。 全国的にも例のない事業です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	直営保育所の経営資源を活用することでコストを抑えるとともに、利用料として1世帯あたり月に4,000円を徴収しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ⑤	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他 ( )
(人件費備考)	

事業名	子育てに優しいまちづくり(地域の子育て支援)の推進				
事業概要	個々の子育て家庭のニーズに対応できるよう、地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めていくため、小学校区単位を基本に、市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進します。 具体的には、子育て相談の実施など区役所の保健師などによる支援や、研修会など地域の子育て支援にかかわる人材の育成などを行います。				
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
		5,232 千円	5,600 千円		目安の金額
					課長 0.10 人 係長 0.35 人 職員 0.35 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたのか	地域ぐるみで子育てを支える取り組みを進めていくため、小学校区単位を基本に市民センター等を拠点とした子育て支援活動を促進します。	成果実績	成果の状況は以下のとおりです		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)			- %		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38.0 %	減少	27.7 %	やや遅れ 遅れ	順調
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %			

活動計画	平成24年度は20地域を採択し、財政的支援(子育て支援活動経費として10万円を交付)、人的支援(アドバイザーを地域に派遣し子育て支援活動をサポート)、人材育成支援(子育てに関する研修会(年2回実施)や活動事例報告会(年度末実施))を行います。	活動実績	20地域に補助金の交付、アドバイザーの派遣、人材育成研修会(8、12月)及び活動事例報告会(3月)を開催しました。採択地域においては、地域の実情に応じた、地域ぐるみの子育て支援活動を展開しました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	支援地域数	20 地域	20 地域	20 地域	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域ぐるみで子育てを支えるには、各校区のまちづくり協議会を核としたネットワークによる地域での子育て支援活動の展開が望ましく、地域の実情に応じた子育て支援活動を実施する地域数を拡充していく必要があると考え、支援地域数を活動指標とします。			100.0 %		
					%	やや遅れ 遅れ

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	成果の状況は、年度により若干の上下変動は見られるものの、目標達成に向け推移していることから順調とし、活動の状況については、計画どおりの20地域で、地域の実情に応じた様々な子育て支援活動が実施されたことから、大変順調としました。 また、本年度は20支援地域採択枠に30地域からの申請があったことから、本事業のニーズが高く、地域が主体となって積極的に子育て支援活動に取り組んでいることから、事業目的を達成する上で大変有効的であると考えられます。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	本年度、実施した研修会や活動事例報告会では、支援地域以外からの参加者も多数あり、本事業についての関心やニーズが高いことが確認されました。このことから、支援地域以外においても、自主的に子育て支援活動へ取り組むこととなれば、効率的に本事業の目的が達成できると考えます。 身近な地域で子育てをさせる仕組みをつくるとともに、子育てを地域で支えるという意識を市民に啓発する必要があることから、実施主体としては市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	一時保育事業				施策番号	
					I - 1 - (1) - ⑤	
事業概要	保護者のパート就労や冠婚葬祭、及び育児リフレッシュ等の理由により、一時的に家庭での保育が困難となる児童を保育所において保育します。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	49,342 千円	54,487 千円			1,750 千円	係長 0.10人 職員 0.10人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	一時保育の実施箇所数を増やすとともに、今後もニーズの把握に努めます。			成果実績	4施設で、一時保育の新規開設を行い、全63施設において年間延べ25,829人の児童に利用されています。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)						
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は、「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)			- %	順調		

活動計画	引き続き一時保育実施施設を増やし、子育て家庭等の支援を行います。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	一時保育事業を実施する保育所					
	保育所の新設や改築に伴い一時保育室を設置するなどして一時保育事業実施保育所数の増を図ります。	59 施設	58 施設	63 施設 108.6 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年度は4所で新規開設を行い、全63施設における年間延べ利用児童数は、25,829人でした。一時的な就労等多様化する就労形態への対応や、専業主婦等の育児リフレッシュへの対応等について高い効果があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	補助金は利用児童数に応じた額となっており、限られた補助の中で人員を配置し実施するなど、合理的に事業を行っています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下
施策番号	
I - 1 - (1) - ⑤	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)
事業費	課長 0.35 人 係長 1.30 人 職員 2.40 人

事業名	放課後児童クラブの運営体制の基盤整備		
事業概要	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。		
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)
事業費	1,311,482 千円	1,415,159 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)にしたいのか	放課後児童クラブの全児童化に併せ、市民ニーズに応えられる運営内容を確保するため、研修会の実施、運営マニュアルの作成、開設時間の標準化や延長の推進等により、運営体制の充実を図ります。また、全児童化により、受け入れが増加する高学年児童や障害のある子どもへの対応が適切に行えるよう、指導員の資質向上を図ります。そのため、研修の充実、指導員相互の交流や情報交換、障害のある子どもなどの対応を支援するための臨床心理士等の巡回派遣を行います。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	放課後児童クラブに対する満足度(利用日、利用時間)			77.8 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	クラブごとに開設日や開設時間などの運営状況が異なる中、市民ニーズの多様化への対応を示す指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 向上(26年度)	81.5 %	向上	- %		
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ	やや遅れ
			%	遅れ		

活動計画	指導員の資質向上を図るため、より実践的な研修に取り組みます。また、障害児を受け入れているクラブに臨床心理士、アドバイザーを派遣し、指導員に助言等を行います。開設時間の標準化の推進にも取り組みます。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標		23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	18時30分以降まで開設している放課後児童クラブの割合			97.9 %	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	放課後児童クラブは多様な団体によって運営されていることから、クラブごとに開設時間などの運営状況に違いがあります。放課後児童クラブに対する様々なニーズに応えられるよう開設時間の標準化・延長をはじめ、運営の質を高めます。 (最終目標と目標年度) 100%(26年度)	96.8 %	向上	- %		
障害のある児童の受入	229 人	障害児の受入促進	245 人	やや遅れ	順調	
全児童化により、受入が増加する障害のある児童への対応が適切に行えるよう、研修の充実や臨床心理士等の派遣により指導員の資質の向上を図ります。			- %	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点</p>	<p>障害児の受入等で先進的なクラブに事例を発表してもらうなど、より実践的な研修の実施や、臨床心理士やアドバイザーの派遣指導といった指導員の資質の向上に取り組んだ結果、障害児の受入が促進されています。また、開設時間の標準化に向けた協議をクラブと行い、18時30分以降まで開設しているクラブも増えています。そのため、活動の状況は順調としました。成果指標については、アンケート結果における満足度(利用日、利用時間)が少し低下しており、やや遅れとしました。</p> <p>障害児の受入に関しては、市に臨床心理士、アドバイザーを設置(雇用)し、必要に応じて各クラブに派遣して、指導員の助言等にわたらせることができるため、各クラブで専門職を設置する場合に比べて、低コストで効率的な取り組みと考えています。</p>
-----------	--	---

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下

事業名	放課後児童ヘルパーの設置				施策番号					
					I - 1 - (1) - ⑤					
事業概要	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (各クラブが設置 )				
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費	目金の金額	課長 人	係長 0.10人	職員 人
	0 千円	0 千円			1,000 千円					

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくため、地域と連携を図り、地域の人材を「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	放課後児童クラブの魅力向上	-	向上	-	大変順調	順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	学校や地域と連携し、活動内容の充実を図ることで、各地域の特色を活かした魅力ある放課後児童クラブの運営が促進されると考え、指標として掲げました。 (最終目標と目標年度)			%			
						やや遅れ	順調
(最終目標と目標年度)			%				

活動計画	夏の教室(地域版)のモデル事業の実施に併せ、放課後児童ヘルパーを活用したモデル事業の取り組みの結果を報告書にまとめ、指導員研修会を通じて全放課後児童クラブに紹介します。このモデル事業の成果を踏まえて、夏の教室(地域版)の実施に併せ、各クラブでの放課後児童ヘルパーの活用を促進していきます。			活動実績	活動結果は下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	ヘルパー活用クラブの割合	8.2 %	単年度の目標設定はありません	18.7 %	大変順調	順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	放課後児童クラブの多くは、地域の方々が運営に参画されており、地域の特色を活かした放課後児童クラブの活動を推進していくために、「放課後児童ヘルパー」として登録し、活動を支援していきます。 (最終目標と目標年度) 50%(26年度)			- %			
						やや遅れ	順調
			%				

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	活動については、モデル事業の取り組みの成果(ヘルパーの活用方法等)を指導員研修会を通じて紹介したことで、ヘルパーを活用するクラブが増えてきていることから、順調としました。成果についても、地域の人材をヘルパーとして活用することで、農作業体験活動に取り組むことができるなど、地域の特色を活かした魅力あるクラブ運営に繋がっていることから、順調としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	地域の身近なところで、クラブの活動を支援してくれる人材を確保することができるので、経済性・効率性が高い取り組みと考えています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実					施策番号 I - 1 - (1) - ⑤	
	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつけます。また、関係機関と連携し、地域での見守り体制を強化するとともに、訪問員のスキルアップを図ります。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長	人
	44,211 千円	45,590 千円			2,750 千円	係長	0.05 人 職員 0.30 人 (人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)	38 %	減少	27.7 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、この割合の減少は施策の目標を着実に推進していく上でも重要であることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)			やや遅れ	順調	
			%	遅れ		

活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	専門職による訪問	5,855 件	適切な訪問	6,273 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全戸家庭訪問により、母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に掲げました。			- %		
					やや遅れ	順調
			%	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	4か月までの乳児家庭全戸訪問と合わせて実施しており、訪問したに産後うつ質問票を実施しています。また、その結果支援が必要と判断された産婦は保健師等が継続的に支援できているため順調と判断しました。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。また、医療機関との連携を強化し、対象家庭を早期に訪問するための体制について検討しました。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	産婦の状況に応じて地域の主任児童委員や専門職が実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本
施策番号	
I - 1 - (1) - ⑤	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	(人件費備考)

事業名	子育てに優しいまちづくりに向けたキャンペーン			
事業概要	本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを、広く市民にPRするとともに、行政のみならず、身近な地域においても、子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでもらえるよう、キャンペーン(「すくすく子育てフェスタ」)を実施し、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	事業費備考	人件費
	9,453 千円	6,000 千円		
	目金の金額	課長	0.10 人	
	3,650 千円	係長	0.10 人	
		職員	0.20 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生み育てることができるように、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを、広く市民にPRするとともに、行政のみならず、身近な地域においても、子育て家庭を支える環境づくりに取り組んでもらえるよう、キャンペーン(「すくすく子育てフェスタ」)を実施し、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。	成果実績	親子で楽しみふれあうことができる「すくすく子育てフェスタ」を実施し、市民に「子育てで日本一を実感できるまちづくり」を進めていることをPRするなど、地域社会全体で子育てを支援する環境づくりを進めました。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われる中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	平成24年12月23日に、西日本総合展示場新館にて、「すくすく子育てフェスタ」を開催します。				活動実績	平成24年12月23日に「すくすく子育てフェスタ」を開催しました。49団体が参加し、8,600人の来場者に、市の子育て支援施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことができました。
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	「すくすく子育てフェスタ」の来場者数 来場者数の増加が、より多くの市民にPRすることにつながることから、活動指標として掲げました。 (最終目標と目標年度) 10,000人(26年度) 来場者アンケートで「大変良かった」「良かった」と回答した割合 来場者の満足度を測る指標として掲げました。	9,100 人	9,100 人	8,600 人 94.5 % 99.2 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック   大変順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 <b>【経済性】</b> (同成果を低コストで) <b>【効率性】</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	平成24年12月23日に「すくすく子育てフェスタ」を開催しました。49団体が参加し、8,600人の来場者に、市の子育て支援施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことができました。市の施策や地域における支援活動のPR、親子のふれあいの場の提供などを行うことは、「子育ての悩みや不安の解消」に向け、高い効果が期待できるとともに、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることを実感してもらえる良い機会となっています。
		イベント実施にあたっては競争入札を行うとともに、地域で子育て支援活動に携わっている企業・団体等の協力を得て、経済的・効率的な運営を行っています。また、本市が子育てで日本一を実感できるまちづくりを進めていることをPRするのは、本市自身が行うべきであり、実施主体として市が適切であると考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本

事業名	赤ちゃんの駅登録事業			施策番号		
				I - 1 - (1) - ⑤		
事業概要	乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。					事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	
	2,400 千円	2,294 千円			課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.30 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生み育てることができるように、乳幼児を持つ保護者が外出した際、授乳やおむつ替えができる施設を、「赤ちゃんの駅」として登録し、子育て中の家庭が安心して外出できる環境づくりを進めます。また、本事業については、公共施設だけではなく、民間事業者の協力も得るなど、地域社会全体で子育て中の家庭を支える環境づくりを進めます。		成果実績	子育て家庭が安心して外出できるように、登録施設数の増加や利用促進に向けてPR活動に取り組み、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    <b>順調</b>

活動計画	「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けて、チラシ等を活用したPR活動を行うほか、「すくすく子育てフェスタ」会場でもPR活動を行います。登録施設には、利用者が気軽に立ち寄れるよう、目印となるステッカー等を目立つ場所に掲示します。			活動実績	下記のほか、チラシや啓発グッズを配布し利用促進に向けたPR活動を実施しました。	
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	「赤ちゃんの駅」登録施設数 「赤ちゃんの駅」登録施設数が増加することが、乳幼児を持つ保護者の利便性の向上につながるため、活動指標に掲げました。 (最終目標と目標年度) 300施設(26年度)	342 施設	300 施設	352 施設 117.3 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック    <b>大変順調</b>

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「すくすく子育てフェスタ」会場でのPRチラシと啓発グッズの配布、臨時赤ちゃんの駅を設置しPRを行いました。また、各区親子ふれあいルーム等でのPRチラシの配布など幅広く行い、「赤ちゃんの駅」登録施設数増や利用促進に向けたPRを効果的に実施できました。地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充にあたっては、公共・民間施設を問わず、既存の施設を有効活用することとしており、経済的・効率的な登録施設の拡充に努めています。子育てしやすい環境づくりは市が主体で行うもので、市が積極的に関与する必要があります。また、「赤ちゃんの駅」登録施設の拡充のため、民間事業者の無償協力を得るには、実施主体としては市が適切です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	大下

事業名	親子ふれあいルーム整備事業			施策番号	
				I - 1 - (1) - ⑤	
事業概要	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などに整備し運営します。				事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	32,027 千円	33,322 千円		目安の金額	課長 0.10人 係長 0.35人 職員 0.35人
				7,275 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	乳幼児を持つ保護者の子育てへの不安を軽減するため、親子が気軽に集い、交流、情報交換、育児相談等ができるスペースを既存の公共施設を活用しながら、区役所や児童館などに整備し運営します。	成果実績	成果の状況は以下のとおりです		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合			59.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	55.9 %	増加	- %		
	子育ての悩みや不安を感じる人の割合(就学前児童の保護者)			27.7 %	やや遅れ 遅れ	順調
多くの保護者が子育ての悩みや不安を感じており、施策を着実に推進していく上で重要な指標であることから、設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	38.0 %	減少	- %			

活動計画	区役所等7か所・児童館10か所での親子ふれあいルームの運営を実施します。親子ふれあいルームの利用促進を図るため、情報発信(PRチラシ作成、配布等)を実施します。親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を行います。			活動実績	区役所等7か所の親子ふれあいルームについては、委託により運営を実施。(28,560千円)また、PRチラシ(2.2万枚)を作成、配布し、利用促進を図り、運営スタッフ向けの研修を2回行っています。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	親子ふれあいルーム利用者数(保護者)			28,017 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	親子ふれあいルームを利用することで、子育ての不安や悩みを軽減できると考えられるため、利用者数を活動指標とします。	25,347 人	単年度の目標設定はありません	- %			
						やや遅れ 遅れ	順調
				%			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	成果の状況は、年度により若干の上下変動が見られるものの、目標達成に向け推移していることから順調とし、活動の状況については、目標設定はないものの、利用者数が増加していることから、順調としました。また、親子ふれあいルームの整備については、これまでに区役所等に7か所、児童館に10か所整備し、「元気発進！子どもプラン」の計画を達成しています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果)の分析 ※民間活力導入の視点	親子ふれあいルームの整備は、既存の公共施設を活用しています。運営については、公募により選考を行い、子育て支援活動の実績のある団体へ委託し、民間活用を行っています。これからも親子ふれあいルームの質の向上や利用促進を図るため、運営スタッフへの研修を引き続き実施し、事業内容についての検討を行います。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども家庭政策課
課長名	猪本
施策番号	
I - 1 - (1) - ⑤	
事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	(人件費備考)
事業費	課長 0.10 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人

事業名	一時預かりサービス情報の提供			
事業概要	民間事業者が提供する子どもの一時預かりサービスに関する情報を、幅広く収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行います。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	事業費備考	人件費
	259,466 千円	268,951 千円	「子どもの館」・「子育てふれあい交流プラザ」の運営費の総額、本事業はその一部	2,900 千円

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	安心して子どもを生み育てることができるように、民間事業者が提供する子どもの一時預かりサービスに関する情報を、幅広く収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行い、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めます。	成果実績	子育て中の人々が求めるときに知りたい情報を手軽に入手できるよう、ホームページで一時預かりサービスに関する情報を提供することにより、地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合 地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。 最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調

活動計画	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報の収集及びホームページ「子育てマップ北九州」に専用のページを設け、情報提供を行います。	活動実績	計画どおり情報の収集及びホームページでの情報提供を行いました。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	「子育てマップ北九州」内専用ページのアクセス件数 より多くの市民に、必要とされる子育てに関する情報が届いているかを図る活動指標として設定します。	2,153 件	増加	2,517 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック    順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 <b>【経済性】</b> (同成果を低コストで) <b>【効率性】</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	民間事業者が提供する一時預かりサービスに関する情報を収集し、ホームページ「子育てマップ北九州」で情報提供を行いました。「子育ての悩みや不安の解消」に向けて、必要とされる情報を保護者にタイムリーに提供することにより地域社会全体で子育て家庭を支える環境づくりを進めました。  ホームページ「子育てマップ北九州」管理運営は、「子どもの館・子育てふれあい交流プラザ」運営に関する指定管理業務の一部として実施しており、経済的・効率的な情報提供に努めています。市が実施主体となつて、情報のとりまとめを行い、ホームページ「子育てマップ北九州」において情報提供を行う必要があると考えます。
-----------	---	--

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	ほっと子育てふれあい事業の充実				施策番号	
					I - 1 - (1) - ⑤	
事業概要	仕事の通津尾や子どもの軽い病気の時に、ボランティア組織「ほっと子育てふれあいセンター」の会員間で子どもの預かりや送迎な そ、子育て支援サービスの充実を図ります。				事業手法 ( )	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		人件費
	15,299 千円	15,572 千円			3,075 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	ほっと子育てふれあいセンターにおいて、地域で子育ての援助を行いたい者と子育ての援助を受けたい者を組織化し、相互に援助できるよう支援することにより、安心して子育てと仕事を両立できるような環境づくりに資するとともに地域の子育て支援を行い、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上を図ります。	成果実績	成果の状況は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育てが地域の人に支えられていると感じる人の割合	55.9 %	増加	59.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	地域のつながりが希薄化していると言われていた中、子育ての悩みや不安を軽減するため、地域社会全体で子育てを支える意識の醸成や環境整備を望む声があることから、成果指標として設定しました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)			— %		
	(最終目標と目標年度)	%				

活動計画	定期的な会員募集を行い、会員獲得に努めています。また、提供会員の基本研修、ステップアップ研修や会員相互の交流会活動を通じて、会員の資質向上を図っています。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	提供(両方)会員の確保	2,370 人	単年度の目標設定はありません	2,556 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	援助活動の需要に対する供給の確保に努めます。			— %		
	研修会の実施	18 回	18 回	18 回		順調
研修会を実施し、会員の質の向上に努めます。			100.0 %			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	仕事の都合で保育所等への送迎ができない方や、急な用事のために子どもを預ける必要がある方等を援助し、労働者の福祉の増進及び児童の福祉の向上に寄与することにより、十分な効果が得られていると考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	会員の質の向上のため、子どもの心身の健康や事故の対応などの研修を行っています。研修内容や会員同士の交流会の充実を図ることにより、安全で質の高いサービスの提供に努めることとしており、効率性は高いと考えます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局						
		担当課	青少年課						
		課長名	塚崎						
事業名	問題を抱える少年の立ち直り支援の充実				施策番号	I - 1 - (4) - ①			
					事業概要	我が国の現代は、急速な高度情報化や少子高齢化等に伴い、家庭の教育力や社会の規範意識、他者とのコミュニケーション能力の低下等が問題視されています。このような社会状況の中、家庭や学校、地域において、自己の確立が十分でなく、非行やひきこもり等、社会生活を円滑に営む上で問題を抱える少年の増加は、社会全体の問題となっています。そのような少年に、ボランティアや豊かな社会体験の場を提供し、自己有用感や自尊感情を高める等の自立・立ち直りを支援します。			
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長	人	事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)
		14 千円	638 千円			1,000 千円	係長	0.10 人	
							職員	人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	非行やひきこもり等の問題を抱える少年の立ち直りや自立を支援するため、ボランティア活動をはじめとした様々な社会体験の場を提供します。特に、青少年施設等における野外体験プログラムの提供や、問題を抱える少年が体験活動を行うための新たな受け入れ先の開拓、関係機関等とのネットワーク構築に取り組みます。			成果実績	成果実績は、下記の通りです。		
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】		
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合	8.33 %	減少	1.82 %				
	非行やニート、ひきこもり等、不安定な雇用形態等将来を見通せない不安の中、社会生活を円滑に営む上で様々な困難を抱えている若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。(平成23年度から調査実施)最終目標は、「元氣発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)			— %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  順調		
	(最終目標と目標年度)							

活動計画	・ボランティアプログラムを提供するなどの充実を図ります。 ・親子ふれあい合宿を実施します。 ・関係機関等との連携を強化します。	活動実績	活動実績は、下記の通りです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	立ち直り・自立支援のためのボランティア活動者数	171 人	—	189 人		
	家庭裁判所や子ども・若者応援センターYELL等との連携により、青少年施設等でのボランティア活動に取り組んだ少年の延べ人数を指標とし、事業の実施状況を把握します。					大変順調 順調 やや遅れ 遅れ
親子ふれあい合宿の参加者数	13 組	—	4 組			
	保護観察所等との連携により、親子ふれあい合宿に参加した親子の延べ人数を指標とし、事業の実施状況を把握します。					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	家庭裁判所等からの相談や依頼は少なくなっていますが、子ども・若者応援センターYELL等からの相談や依頼が増えて、ボランティア活動者数は増加しています。また、親子ふれあいルームや子育てふれあい交流プラザ、海岸清掃活動や竹林保全活動、青少年施設等の受け入れ先からの温かい理解と協力を得て、問題を抱える少年の立ち直りや自立支援に資することができています。また、親子ふれあい合宿についても、青少年施設等を利用して実施し、親子がふれあう機会を提供するなど、親子の絆を深めるために効果的な事業を実施しています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	本事業は、非行やひきこもり等の問題を抱える少年の増加が社会問題となっており、適時性のある事業です。本事業では、既存の青少年施設等との連携を図りながら、効率的に事業を実施しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども総合センター
課長名	本村
施策番号	
I - 1 - (4) - ①	
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金
	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金
	<input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理
	<input type="checkbox"/> その他
(人件費備考)	

事業名	少年支援室の拡充・運営			
事業概要	現在の5少年支援室を、対象とする少年の状態に応じた支援活動ができるよう充実を図り、その機能を強化します。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	目安の金額	課長 0.50人
	15,630 千円	11,504 千円	10,750 千円	係長 0.50人 職員 人
				(事業費備考)
				(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 現在の5少年支援室を、対象とする少年の状態に応じた支援活動ができるよう充実を図り、その機能を強化します。	成果実績	成果の状況は下記の通りです。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	不登校、非行等の問題を抱える少年の自立支援の強化	-	自立支援の強化	-	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	不登校や非行等に対応するための支援体制の充実等、問題を抱える少年の自立支援を強化します。 (最終目標と目標年度)			- %		
	(最終目標と目標年度)			%		順調
			%			

活動計画	不登校や非行等の少年を通所させ、カウンセリングや集団活動、自学自習の援助を行いながら、少年の学校や社会復帰に向けた取り組みを支援します。また、少年の健全育成を図るための街頭補導や、3少年支援室で各20回程度市内のコンビニやカラオケボックス、インターネットカフェ等に対して青少年を有害環境から守るため環境浄化活動としての立ち入り調査を実施します。	活動実績	下記の活動のほかに、学校訪問を積極的に行い、学校との連携を深めながら子どもの支援に努めました。また、広報紙の紙面に工夫を加え、啓発活動を進めました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	面接・電話相談対応件数	47,338 件	単年度目標設定なし	47,306 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	不登校や非行相談等への対応や相談内容に応じた適切な支援を行うことが本事業の内容であることから、活動指標として「面接・電話相談対応件数」を設定しました。			- %		
				%		順調
			%			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	不登校、非行等の少年の生活習慣の確立、自学自習の援助やその家庭への援助を行いました。3少年支援室(かなだ・わかぞの・くろさき)では、年間38,836件の相談に対応しました。また、2少年支援室(あいおい・あだち)では、心因性の不登校児童生徒の学校復帰へ向けて8,470件の相談に対応しました。また、少年補導指導員や少年相談員によるゲームセンター等の定期的巡回補導、青少年を有害環境から守るための環境浄化活動、少年非行防止の啓発活動を行いました。さらに、コンビニやカラオケボックス等への627件の立ち入り調査を実施しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	非行等の少年や不登校児童生徒・発達障害児など、学校だけでは対応できない児童生徒が通所しています。また、養育・養護、育成相談にも積極的に対応するなど、事業目的は充分に果たしており、有効性は高いと言えます。  最小の経費で最大の効果を上げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	思春期保健連絡会の設置			施策番号	
				I - 1 - (4) - ①	
事業概要	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にしている健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	
	1,576 千円	2,905 千円		目安の金額	課長 人 係長 0.20 人 職員 0.20 人
				3,500 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	思春期の心身の変化を正しく理解し、自分自身の心と体を大切にしている健康教育を推進するため、医療・学校・地域・行政等の関係者による連絡会を開催し、現状の把握や課題の共有および連携強化を図るとともに、思春期保健の対策等について協議します。協議の結果等を踏まえ、思春期の健康教育を効果的に実施します。	成果実績	代表的な成果指標の他に、ファクトシートを作成し、健康教育に利用できるようになりました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	青少年を取り巻く有害環境浄化への取り組みの推進	-	取り組みの推進	-	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	青少年を取り巻く有害環境に対応するため、有害環境の浄化とともに、青少年自身や保護者の規範意識の向上 (最終目標と目標年度)			%		
					やや遅れ	順調
(最終目標と目標年度)			%	遅れ		

活動計画	思春期の子どもを課題を共有し、健康教育を推進するために、医療・保健・教育等の思春期保健関係者による連絡会を開催します。また、モデル教室を実施し、その結果を検証するとともに、平成22年度に作成した「健康指導イラスト教材集」の改訂を行います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	連絡会の開催	6 回	適切な開催	3 回	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	思春期保健連絡会を開催し、関係者の連携を強化します。思春期保健の課題を共有し、効果的に健康教育を推進するのに重要です			- %		
	健康教室の開催	22 回	適切な実施	47 回	やや遅れ	大変順調
小・中学校における健康教室の実施による知識の普及啓発、課題の共有が必要であるため、指標として設定しました。	- %			遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	モデル教室の検証結果を踏まえ、小中学校における思春期健康教室の実施を充実させ、開催回数が増えました。また、保護者向けの「北九州市の思春期の子どもを知るためのファクトシート」を作成したので、大変順調と判断しました。今後は確実な思春期の心とからだの健康教育の推進とあわせて、ファクトシートを利用した保護者向けの学習の充実に取り組むことが課題です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	様々な関係団体との連携強化を図ることで、教材を作成することができました。それを利用した健康教室をすることで効率的な実施ができています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
		課長名	塚崎
事業名	子ども・保護者のメディアリテラシー向上やネット監視対策に向けた取り組み		
	実施番号 I - 1 - (4) - ①		
事業概要	学校や地域の要請に基づき、携帯電話の正しい使い方に関する出前講演を実施する他、講師の紹介も行います。		
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額 (事業費備考)	人件費
	328 千円	1,749 千円	目安の金額
		課長 0.05 人	係長 0.05 人
		職員 0.05 人	(人件費備考)
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	出会い系サイト等をはじめとするインターネット・携帯電話でのトラブルに子どもたちが巻き込まれる事件が多発し、青少年を取り巻く新たな有害環境として問題になっていることから、広報・啓発を中心とした有害サイト等メディア上の有害情報対策を推進します。	成果実績	出前講演受講者から、「保護者として身近なテーマであり、有意義であった」との意見も寄せられています。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	青少年を取り巻く有害環境浄化への取り組みの推進						
	青少年を取り巻く有害環境に対応するため、有害環境の浄化とともに、青少年自身や保護者の規範意識の向上のための施策を進めます。 (最終目標と目標年度)		・有害環境の浄化 ・規範意識の向上		%	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	(最終目標と目標年度)				%	やや遅れ 遅れ	順調

活動計画	「出会い系サイト等」被害防止教室を実施します。 ・リーフレット等による啓発活動を行います。 (いずれも市が直接実施)	活動実績	「出会い系サイト等」被害防止教室の実施 * 非行防止教室において実施 ・リーフレットの配布(小4・中1)				
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	出会い系サイト等被害防止教室の参加者数						
	市立中学校の生徒を対象とした非行防止教室や、保護者や地域の方々を対象とした出前講演などで、有害サイト等の危険性や対策について講演を実施します。(23年度から、希望によって非行防止教室でもメディア関連の情報を盛り込むこととしました。)	4,954 人	—		8,680 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
					%	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	非行防止教室については、3年で、市内の全中学校において実施することとしており、平成24年度は、八幡東区・八幡西区において、実施をしました。この非行防止教室において、メディア関連の項目を盛り込むこととしており、着実に実施しています。しかしながら、携帯電話の中高生の所有率の向上に伴い、福岡県内でも「出会い系サイト等」を使用して犯罪に巻き込まれる子どもたちの数は増加する傾向にあり、引き続き対策が必要です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	非行防止教室は、少年非行の動向に精通している必要があり、県警から派遣されている青少年非行対策担当課長が講師を担当しています。これにより、効率的に事業を実施することができました。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	青少年課
課長名	塚崎

<b>事業名</b>	深夜補導の実施					施策番号	
						I - 1 - (4) - ①	
<b>事業概要</b>	青少年が深夜はいかいすることにより、事件に巻き込まれたり、生活習慣が乱れたりすることを防止するために、深夜(夜間)補導を行います。					<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
							( )
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額	課長	0.05人	(人件費備考)
	16,065 千円	13,000 千円		1,450 千円	係長	0.05人	
					職員	0.05人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	青少年がたむろしそうな深夜営業中の店舗、駅周辺、公園などを巡回し、深夜はいかいをしている青少年への声掛けを行い帰宅を促すことにより、事件に巻き込まれたり生活習慣が乱れたりすることを防止し、青少年の健全な生活を確保します。	<b>成果実績</b>	不良行為少年補導者数が前年の21,565人から19,543人へ減少する成果をあげることができました。		
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	シンナー等乱用少年の検挙補導者数	9 人	撲滅	10 人	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	福岡県のシンナー等乱用少年の検挙補導者数は、平成24年で33人と依然として他の都道府県と比べて多く、そのうち10人(30.3%)を本市の少年が占めています。このような現状を改善するためにも、青少年を取り巻く有害環境の浄化や規範意識向上等、啓発活動の推進に取り組みます。これらの成果を図る指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 撲滅(26年度)			%		
	刑法犯少年の検挙補導者数	1,046 人	減少	1,136 人	やや遅れ 遅れ	順調
本市の刑法犯少年の約7割が初発型非行であり、規範意識が希薄化しています。このような現状を改善するためにも、街頭補導や見守り活動を強化し、社会全体で青少年を見守る体制を整備する必要があります。これらの成果を図る指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)				%		

<b>活動計画</b>	22時から翌日4時まで、市内全域において、1班3名体制の3班によ巡回を民間に委託し、年2回実施します。	<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。
-------------	---	-------------	----------------

<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	声かけ人数	2,088 人	深夜はいかい者への声かけを行うことにより帰宅を促します。	591 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	深夜はいかい者に声をかけた人数を指標として掲げました。			%		
				%	やや遅れ 遅れ	順調
				%		

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	シンナー等乱用少年の検挙補導人員や刑法犯少年の検挙補導者人員について、平成24年はやや増えたものの、年々減少する傾向にあります。 24年度は、第1期(8月～10月)と第2期(12月～3月)の2回実施しました。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	地域からは、ボランティアではなしえない深夜のパトロールとして、非常に高い評価を得ています。 今後も、パトロール体制、パトロール箇所などの見直しを行うことなどにより、効率的な事業運営に努めます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

<b>見直し状況等</b>	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	子ども総合センター
		課長名	伊藤
事業名	非行少年の立ち直り支援と体制強化		
	施策番号 I - 1 - (4) - ①		
事業概要	非行少年の立ち直り支援と自立を促進するため、子ども総合センターの体制を充実し、学校、警察、地域等と連携して、非行少年及びその家庭への支援を積極的に行います。		
コスト	事業費	24年度執行額 710 千円	25年度当初予算額 654 千円 (事業費備考)
			目安の金額 15,200 千円
		課長 0.80 人 係長 0.60 人 職員 0.00 人	人件費 (人件費備考)
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 非行少年の立ち直り支援と自立を促進するため、子ども総合センターの体制を充実し、学校、警察、地域等と連携して、非行少年及びその家庭への支援を積極的に行います。	成果実績	成果の状況は、下記のとおりです。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	非行少年等に対する支援の推進	—	推進	—	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック  <b>順調</b>
	地区担当ケースワーカーと連携して初期対応の段階から積極的に関わり、困難なケースについては非行相談担当ラインへケース移管し、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等と連携して、非行少年の立ち直りのための支援を推進します。 (最終目標と目標年度)			— %		
	(最終目標と目標年度)			%		

活動計画	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携や情報連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を定例開催するとともに、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取組みを図ります。	活動実績	活動結果は、下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	非行相談対応件数	159 件	単年度目標設定なし	150 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック  <b>順調</b>
	虞犯行為や触法行為のあった児童及び保護者からの相談への対応や相談内容に応じた適切な支援を行うことが、本事業の内容であることから、活動指標として「非行相談対応件数」を掲げました。			— %		
				%		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	非行少年の立ち直りに向け、実務的かつ緊密な行動連携や情報連携を行うため、関係機関と非行相談連絡会議を定例開催するとともに、教育・福祉的な指導の視点に立った即時的な対応、連携した取組みを図ることができました。22年度に非行相談担当ラインが新設され、地区担当ケースワーカーと連携して、初期対応の段階から積極的に関わり、困難なケースについては、非行相談担当ラインへケース移管し、学校、警察、裁判所、児童自立支援施設等と連携し、これまでより緊密できめ細やかな対応が可能になり、有効性は高いと考えます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	最小の経費で最大の効果を挙げるべく、計画的かつ効率的な予算執行に努めて、事業展開しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	青少年課
課長名	塚崎

事業名	若者のための応援環境づくりの推進				施策番号	
					I - 1 - (4) - ①	
事業概要	不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そこで、若者のための応援環境づくりを推進します。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額		課長 人
	1,547 千円	1,552 千円		1,750 千円	係長 0.10 人 職員 0.10 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) どのような状態にしたいのか	若者の自立を支援するため、若者向けのホームページの運営や「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営、また、ユースアドバイザー養成講習会を開催する等、応援環境づくりを推進します。				成果実績	成果実績は、下記の通りです。
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合 不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上でさまざまな困難を抱えている子どもや若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。最終目標は、「元気発信！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	8.33 %	減少	1.82 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)					順調	

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者向けホームページを運営します。</li> <li>北九州市子ども・若者支援地域協議会を運営します。</li> <li>ユースアドバイザー養成講習会を開催します。</li> </ul>	活動実績	子ども・若者支援のためのネットワークづくりとして重要となる「北九州市子ども・若者支援地域協議会」を計画どおり、実務者会議を11回開催しました。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	若者向けホームページへのアクセス件数 インターネット等により、若者に有益な情報(就業支援等の各種施策、各種相談窓口、市の魅力、仲間づくり等)やそれぞれの専門機関の情報等を効果的かつタイムリーに発信し、若者をサポートする環境づくりを実施し、若者の自立支援に取り組んでいます。その成果を図る指標として掲げました。	12,874 件	15,600 件	13,629 件 87.4 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ユースアドバイザー養成講習会の参加者数 若者の自立支援に対応する専門的な相談員「ユースアドバイザー」を養成するため、研修・養成プログラムに基づき、「ユースアドバイザー養成講習会」を開催しています。その参加者数を指標として掲げました。	28 名	25 名	42 名 168.0 %	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	若者向けホームページには、平成24年度は13,629件のアクセスがありました。今後も内容の充実に努めるとともに、双方向の情報発信サイトを目指します。また、「北九州市子ども・若者支援地域協議会」の運営(実務者会議11回開催)や「ユースアドバイザー養成講習会」の開催(42名参加)を通じて、子ども・若者支援のための着実なネットワークづくりを行っています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	ホームページソフトウェアをネットワーク経由のサービス利用型(SaaS型)とし、開発コスト及び運営コストを低減しています。また、地域協議会とユースアドバイザー養成講習会(一部)については、内閣府のモデル事業を活用し、市費負担の軽減を図っています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
		課長名	塚崎
		施策番号	
		I - 1 - (4) - ①	
事業名	子ども・若者応援センター「YELL」の運営 (旧「(仮称)青少年応援センター」の設置)		
事業概要	不安定な雇用やニート(若年無業者)、不登校やひきこもり等、雇用情勢の悪化や経済的格差の拡大、家族や周囲との円滑なコミュニケーションの欠如などにより、将来を見通せない不安の中で、社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている子どもや若者が増加しています。 そのため、困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』を開設し、自立を支援します。		
コスト	事業費	24年度執行額 23,224 千円	25年度当初予算額 23,200 千円
	人件費	目安の金額 2.625 千円	
		課長	0.15 人
		係長	0.15 人
		職員	0.15 人
		事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	さまざまな困難を抱える子どもや若者を総合的にサポート(コーディネート)していく総合相談窓口『子ども・若者応援センター「YELL」』の運営を行い、自立を支援します。		成果実績	H22.10の開設から、H24.9までの24ヶ月間で、延べ4,590件の相談があり、来所相談実人員は403人となった。その内、継続的に支援が必要な者が222人に上り、支援を行った結果、就労が82人、就学が10人となった。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	社会生活を円滑に営む上での困難を抱えている若者の割合	8.33 %	減少	1.82 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	ニートやひきこもり、不安定な雇用形態等将来を見通せない不安の中、社会生活を円滑に営む上でさまざまな困難を抱えている若者の増加が社会問題となっています。このような現状の改善のため、若者の自立支援に取り組み、その成果をはかる指標として掲げました。最終目標は、「元氣発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			— %		
	(最終目標と目標年度)					

活動計画	○子ども・若者応援センターを運営します。 ・困難を抱える子どもや若者の育成支援に関する総合相談・助言 ・保護者のための面接相談 ・相談内容に応じた情報提供 ・専門機関との連携 等			活動実績	活動結果は下記のとおりです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	来所・電話相談件数	2,381 件	—	2,713 件	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	悩みや課題を抱える子どもや若者、その家族等を適切にサポートする活動指標として設定しました。			— %		
	(最終目標と目標年度)					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	開設以来多くの方々にご利用いただき、悩みや課題を抱える子どもや若者とその家族等を対象に、総合的にサポートする拠点として支持されています。平成24年度は、延べ相談件数が2,713件(来所973件、電話1,740件)、その内新規来所相談実人数は145件となっています。 また、自立へのステップアップのために必要な体験プログラムへの延べ参加者数は1,019人となりました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	運営業務を社会福祉法人へ委託し、経済的・効率的な運営を行っています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
		課長名	塚崎
		施策番号	
		I - 1 - (4) - ③	
事業名	青少年ボランティアステーション推進事業		
事業概要	社会の構成員としての規範意識や他者への思いやり等の豊かな人間性を育むとともに、社会性や協調性等を身に付けることができるよう、青少年が行うボランティア活動を支援・促進します。 事業の柱①ボランティア活動の推進：青少年が参加できるボランティアプログラムの開発及び関係機関・団体等への働きかけを行います。 事業の柱②社会参加ボランティアの実施：関係機関と連携しながら、ボランティア活動を通じた青少年の社会的自立を支援します。 事業の柱③リーダーの養成や登録：ボランティア活動の知識や実践力を育て、活動を支援できるリーダーの養成及び登録を行います。		
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額 (事業費備考)
		2,171 千円	2,264 千円
		人件費	目安の金額
			課長 0.00 人 係長 0.50 人 職員 0.00 人
			(人件費備考)
			■ 直営 □ 補助金 □ 全部委託 □ 負担金 □ 一部委託 □ 指定管理 □ その他 ( )

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	青少年の健全育成に欠かすことができない様々な体験活動を通じ、青少年が社会の構成員として規範意識や社会性、協調性等を身に付けることができるよう、青少年ボランティアステーションを拠点に、青少年のボランティア活動を支援・促進します。また、ひきこもりや非行等の課題を抱える青少年の社会的自立を支援するため、社会参加ボランティアプログラムを実施します。			成果実績	成果実績は、下記の通りです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段：指標名 下段：指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	ボランティア体験活動者数(延べ人数)			5,398 人	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	青少年ボランティアステーションのコーディネートにより、ボランティア活動に取り組んだ小・中学生や高校生等の延べ人数が、本事業の活性化を図る一つの指標になると考え掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 3,200人(26年度)	5,339 人	2,800 人	192.8 %		
					やや遅れ	大変順調
(最終目標と目標年度)				遅れ		

活動計画	■年間を通じて、ボランティア活動情報の提供と活動調整及び活動時の支援を行います。 ■7～8月は、市内の小・中学生や高校生等を対象にした「夏休みの青少年ボランティア体験」を実施します。 ■ボランティアという社会貢献に対する意識を醸成することが重要と考え、広報・普及活動の一環とした「ボランティア出前授業」を実施します。			活動実績	活動実績は、下記の通りです。	
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段：指標名 下段：指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	「ボランティア出前授業」参加児童・生徒数			818 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	規範意識や他者への思いやり等を高めることにつながるボランティア活動の意義について、市内の小・中学生やインターアクトクラブ等に所属する高校生等を対象にした「ボランティア出前授業」を実施し、広報・普及活動に取り組みます。	417 人	450 人	181.8 %		
					やや遅れ	大変順調
				遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	平成24年度の「夏休みの青少年ボランティア体験」では、申込者数1,333人(昨年度+33人)、参加延べ人数は1,501人(昨年度+72人)となり、多くの参加を得ることができました。また、事業全体を通して、ボランティア活動に参加意欲の高い学校等の裾野も広がり、青少年に対して貴重な社会体験活動の機会や場の提供ができています。現代の青少年に不足しがちな様々な体験活動をボランティアを通して実施させる本事業は、豊かな社会性や規範意識を育む、また、持続可能なよりよい社会の実現等に向けた「人づくり」のためにも大変有効です。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	平成22年度から、夜宮青少年センター内にあった青少年ボランティアステーションの組織を、子ども家庭局青少年課に移管しました。そして、青少年課所管の様々な事業と連携して実施することにより、青少年ボランティアリーダーの養成等、効率的に事業を実施することができました。また、子ども・若者応援センターYELL等からの相談による自立支援、家庭裁判所等からの相談による立ち直り支援に向けた社会参加ボランティア活動も、関係機関や団体の協力と連携を図りながら実施することができています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
		課長名	塚崎
		施策番号	
		I - 1 - (4) - ③	
事業名	社会体験活動を通じた青少年健全育成のための新たな仕組みづくり		
事業概要	市や関係機関、市民団体等が実施しているさまざまな青少年育成事業等の情報の一元化や発信により、具体的に体験活動の場を紹介するとともに、次代の青少年育成活動の担い手となる青年リーダーの養成や、家庭や保護者に向けての青少年の体験活動の有益性の啓発等を行うことで、さらなる青少年の健全育成の環境づくりを図ります。		
コスト	事業費	24年度執行額 1,824 千円	25年度当初予算額 1,684 千円
	人件費	目安の金額 2,700 千円	
		課長	0.05 人
		係長	0.10 人
		職員	0.15 人
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 (人件費備考)	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	青少年が地域において日常的・継続的に社会体験活動を行うことができる環境づくりをはじめ、放課後児童クラブの運営や地域の青少年活動等をサポートすることができる青年リーダーの養成などの新たな仕組みづくりにより、より多くの青少年に社会体験活動の機会を与えることで、健全育成を図ります。			成果実績	成果実績は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	青少年ボランティアステーションにおけるボランティア体験活動者数	5,339 人	2,800 人	5,398 人 192.8 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	青少年ボランティアステーションにおけるコーディネートにより、ボランティア活動に取り組んだ小学生・中学生・高校生等の延べ人数を指標として掲げました。目標数値は、子ども家庭プランで設定し、22年度から毎年200人ずつ増の目標としています。最終目標は、「元気発進!子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)3,200人(26年度)						
青少年への社会体験活動等の機会や場の提供	社会体験活動の機会や場の提供				やや遅れ 遅れ	順調	
	次世代を担う青少年が社会とのかかわりを自覚し、自己を確立・向上していけるよう、青少年に豊富な社会体験活動等の機会や場を提供します。 (最終目標と目標年度)						

活動計画	・青少年が取り組める体験活動の情報を、パンフレットやウェブサイト等で効果的に発信します。 ・子どもたちが地域においてさまざまな体験活動を行うためのモデルとなるクラブを実施します。 ・青少年育成団体等に所属する青年リーダーの育成やネットワークづくりを行います。 ・青少年育成団体相互の連携や情報共有、共同事業実施のための連絡会議を実施します。	活動実績	活動実績は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	地域体験活動クラブのモデル実施	2 箇所	2 箇所	2 箇所 100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	地域においてさまざまな体験活動に取り組むことができるモデルクラブを設置します。					
青少年育成活動をサポートする青年リーダーの数	70 人	30 人	74 人 246.7 %	やや遅れ 遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	青少年にさまざまな体験活動の機会や場を提供するための情報発信の強化や、子ども地域体験活動クラブのモデル実施、青少年育成シニアリーダー会議”ぼんて”の組織化等、青少年の体験活動の推進に向けた新たな仕組みづくりは、青少年の体験活動不足が問題視される中、有効な取り組みです。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	青少年育成団体やNPO団体等との協働・連携により、経済的・効率的に事業を実施できています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	青少年課
課長名	塚崎

<b>事業名</b>	青少年の家の整備・充実					施策番号	
						I - 1 - (4) - ③	
<b>事業概要</b>	青少年の体験不足が言われる中、青少年が野外活動や集団生活などの体験を通じて心身ともにたくましく成長していくためのきっかけ作りや指導者養成等を行うための社会教育施設として、長く活用できるよう施設の修繕や備品等の整備を行っています。					<b>事業手法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
							( )
<b>コスト</b>	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	目安の金額	課長 0.10 人	(人件費備考)
		29,281 千円	28,439 千円		4,900 千円	係長 0.30 人 職員 0.10 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	青少年の家は、施設周辺の豊かな自然の中で、野外活動や集団生活などの体験を通して、規律、協同、友愛、奉仕の精神を学び、心身ともにたくましい青少年の育成を目的とした社会教育施設です。 近年の少子化などの社会の変化や、青少年のさまざまな体験不足が言われるなか、市民の新たなニーズや老朽化に対応するため、青少年の家の整備、充実を推進します。	<b>成果実績</b>	施設改修事業として、かぐめよし少年自然の家トイレの改修を実施。			
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方) 青少年への社会体験活動等の機会や場の提供 次世代を担う青少年が社会とのかかわりを自覚し、自己を確立・向上していけるよう、青少年に豊富な社会体験活動等の機会や場を提供します。 また、青少年の体験活動を支える少年自然の家等の青少年教育施設の再整備を進めます。 (最終目標と目標年度)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
			社会体験活動の機会や場の提供		大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
					やや遅れ 遅れ	順調

<b>活動計画</b>	青少年の家の継続的な利用に向け、施設の安全性の確保や利用者の快適性の向上のため、計画的な補修工事等を実施します。	<b>活動実績</b>	活動実績は下記のとおりです。
-------------	--	-------------	----------------

<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明) 計画的補修工事等の実施 整備工事等を計画的に実施するなど、施設の利便性の向上を図るとともに、円滑な施設運用を図ります。平成24年度は、かぐめよし少年自然の家のトイレ改修等を実施しました。	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	利用者数	187,806 人	利用者の増加	193,517 人	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	野外活動などを通して、健全な青少年育成を目的とし、各施設において、周辺の自然環境などの特色を活かした事業を行い、利用者数の増加を図ります。				やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 <b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	青少年の家については、市内中学1年生全員を対象とする「ふれあい合宿」などの学校利用を含め、一般利用もあわせ、多くの利用があり、各施設において機能整備を進めることにより、施設での事業も円滑に実施されており、快適性に対する利用者の評価も高まっています。 施設設置後、かなりの期間を経過しており、建替えなどを検討する時期にきていますが、新築などには財政的にきわめて困難な状況のため、適切な手法による計画的な機能整備を行うことで、長寿命化を図り、活用していくこととします。 必要かつ適切な投資により、機能整備を行い、ある程度の期間、確実に施設を運用できる見込みを確保した上で指定管理制度を導入しており、管理運営費用の削減につながっています。 指定管理へ移行した施設においても、施設の根幹部分については、施設設置者である本市の責任が免れないため、今後の利用にあたっての維持・快適性の向上には、引き続き市の関与が必要であり、適切な発注による計画的な機能整備を進めています。
------------------	--	---

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入</b>	
<b>見直し状況等</b>	課題 26年度の活動計画(見直し内容) その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	青少年課
		課長名	塚崎
		施策番号	
		I - 1 - (4) - ③	
事業名	児童文化科学館の整備・充実		
事業概要	児童文化の向上及び科学教育の振興を目的とし、「天文学習」「科学教育」を行い、利用者数の増加を図ります。施設・設備・展示物等の老朽化が著しいため、計画的な整備・更新に努めます。		
コスト	事業費	24年度執行額 0 千円	25年度当初予算額 0 千円
		(事業費備考) 平成24年度予算額 8,000千円	
	人件費	目安の金額 4,900 千円	課長 0.10 人 係長 0.30 人 職員 0.10 人
		(人件費備考)	
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 児童文化科学館では、市内の全小学4年生を対象とする「天文学習」を行うほか、科学教育の振興、児童文化の向上を図るため、プラネタリウム、展示物、科学教室などの体験を通じた科学事業や演劇会などの文化事業を開催します。また、展示物やプラネタリウム機器等についても計画的な整備・更新を行います。	成果実績	天文学習等の実績として、市内小学4年生を対象に、162校10,202人の児童の受け入れを行いました。その他、科学事業など年間231回実施28,842人の施設利用実績があります。【817人減】			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	利用者数の増加 児童文化の向上及び科学教育の振興を目的とし、「天文学習」「科学教育」を行い、利用者数の増加を図ります。近年の少子化などの要因により、施設利用者数は減少傾向ですが、前年度利用実績比較での増加を目標とします。 (最終目標と目標年度)	98,437 人	利用者数の増加	97,620 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
				—		
						順調
(最終目標と目標年度)						

活動計画	施設のあり方について検討を行っており、展示物やプラネタリウム機器等の整備についても併せて検討します。	活動実績	あり方の検討作業を進めています。 今年度の施設利用者数 97,620人 (昨年度98,437人)			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	児童文化科学館のあり方の検討について できるだけコストを抑えつつ、学習効果を高め、一般入場者の増加も期待できる形での、施設のあり方について検討を進めます。	平成22年度の耐震診断結果をふまえて、施設の再生生活に向けた検討を行いました。	他都市の状況も踏まえ、施設のあり方について方向性の確認作業を実施します。	行革の議論の推移を見ながら、施設のあり方について検討を進めました。	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	平成24年度の整備状況			実施設計等、具体的な整備着手は見合わせました。		
	児童文化科学館のあり方検討を進め、具体的な整備着手を目指します。					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	児童文化科学館のあり方については、耐震診断の結果もふまえて、検討を行っています。天文館の耐震強度不足など、現状では様々な要因があり、最終的な結論には至っていません。利用者数はH23 98,437人→H24 97,620人(△817人)と増加していませんが、対前年で99.17%の実績のため、順調としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	施設のあり方については、「経済性」「効率性」を含め検討中です。他都市の状況等もふまえて、コストや立地条件、館が持つべき機能など、十分に検討する必要があります。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成24年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	青少年課
課長名	塚崎

事業名	「子どもまつり」の充実				施策番号	
					I - 1 - (4) - ③	
事業概要	市内7会場で、区ごとに子ども会や青少年育成団体、自治会等を構成員とした実行委員会を設け、関係団体の協力のもと、子どもたちが楽しく過ごせるイベントを実施します。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費		目安の金額
	2,275 千円	2,450 千円			1,825 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	毎年、「子どもの日」にちなんで開催している「子どもまつり」の中で、親子のふれあい等を高めることができる催しを実施することにより、親子を中心とした家庭におけるコミュニケーションの促進を図ります。	成果実績	成果実績は下記のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	「親子のふれあい」の推進		親子のふれあいの推進		大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	親子のふれあいを高める催しを実施することにより、親子を中心とした家庭におけるコミュニケーションの促進を図ります。なお、成果指標がふれあいの推進のため、数値で示すことは困難です。 (最終目標と目標年度)				順調	
	(最終目標と目標年度)				やや遅れ	
					遅れ	順調

活動計画	「子どもまつり」の中で、親子が一緒に楽しみながら取り組むことができる事業などを実施するとともに、親子関係づくりの啓発活動等を行うことで、親子のふれあいを高めるきっかけづくりを図ります。	活動実績	活動実績は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	子どもまつりの実施内容の充実		内容の充実		大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	子どもまつりの中で行うイベントブースに、親子のふれあいの推進を意識した内容を盛り込むなど充実を図ります。なお、活動指標が充実度のため、数値で示すことが困難です。				順調	
	来場者数				やや遅れ	
	各区で開催している子どもまつり会場への来場者数を指標として掲げました。	80,653 人	-	38,219 人	遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	子どもまつりの中で行う各イベントブースに、親子のふれあいの促進を意識した内容を盛り込むことで、親子と一緒に楽しみながら体験活動や運動等を行うことができ、親子のふれあいの促進が図れます。 平成24年度の来場者数が減少していますが、小倉北区が雨天のため勝山公園から生涯学習総合センターに会場変更したこと、小倉南区が荒天のため中止としたことが原因です。全体として【活動の状況】は順調としています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	子どもまつりには多くの親子が来場するため、この中で親子が一緒に取り組むことができる内容の各種イベントを実施することで、効果的に親子のふれあいの促進を図ることができます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	保育課
課長名	本脇

事業名	保育所等耐震対策				施策番号	
					II - 1 - (4) - ④	
事業概要	昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された保育所等の施設のうち、耐震改修および耐震診断未実施の保育所等施設について、耐震診断(二次診断)を計画的に実施し、必要に応じた耐震対応を図ります。地震等の災害発生時の子どもたちの安全を確保することで、保育サービスの基盤整備を進めます。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)24年度執行額には、直営保育所等耐震対策にかかる事業費は含まれていません。(建築都市局の統括事業として実施されたため)	目安の金額		課長 0.05人 係長 0.13人 職員 0.20人
	10,674 千円	16,200 千円		3,375 千円		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	子どもたちの安全を確保する目的で、昭和56年5月31日以前の旧耐震基準により建築された保育所等の施設のうち、耐震改修および耐震診断未実施の保育所等施設について、耐震診断(二次診断)を計画的に実施し、必要に応じた耐震対応を図ります。			成果実績	24年度までに、保育所等39所にて耐震診断を実施し、耐震対応が必要とされた16所(直営5所、民間11所)のうち、8所(直営5所、民間3所)の耐震対応を完了しました。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	公共施設などの耐震化の推進						
	大規模な地震などに備え、保育所等の耐震化を推進します。 (最終目標と目標年度)		推進		大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調	
	(最終目標と目標年度)						

活動計画	直営保育所等(1所)および民間保育所(13所)について、耐震診断(二次診断)を実施します。	活動実績	活動実績は以下のとおりです。
------	---	------	----------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	耐震対応および耐震診断未実施の保育所等の耐震診断実施施設数(直営)			1 所		
	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)により建築された直営保育所等が、地震に対してどの程度の耐久性を有しているかについて調査します。 ※調査対象施設:北方地域子育て支援センター	4 所	1 所	100.0 %	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	耐震対応および耐震診断未実施の保育所の耐震診断実施施設数(民間)			13 所		
	旧耐震基準(昭和56年5月31日以前)により建築された民間保育所が、地震に対してどの程度の耐久性を有しているかについて調査します。 ※調査対象施設:あさひ保育園ほか12所	5 所	13 所	100.0 %	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	24年度においては、直営保育所等1所、民間保育所13所の合計14所で耐震診断(二次診断)を実施しました。旧耐震基準により建築された保育所等施設の地震に対する耐久性を見極めるうえで、有効な診断結果を得ることができました。計画的に耐震診断を進めていること、必要に応じた耐震対応も進んでいることから、成果および活動の状況については順調であると考えています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	直営保育所等については、建築都市局の統括事業として、計画的かつ効率的に耐震診断を実施しており、「経済性」「効率性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。また、民間保育所については、補助金を活用することによって、市の財政負担軽減を図りながら耐震診断を進めており、「経済性」に優れた取り組みを行うことができたと考えています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	子ども・家庭相談コーナーの運営				施策番号	
					II - 3 - (1) - ④	
事業概要	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談をひとつの窓口で受け、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげています。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
	84,403 千円	88,085 千円		136,625 千円	(人件費備考) 担当課の他、各区の子ども・家庭相談コーナーの人件費も含まれます。	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	「子ども・家庭相談コーナー」で、子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	児童虐待対応件数	322 件	減少	346 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待防止につながり、結果として、児童虐待対応件数の減少として現れることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			—			順調
	(最終目標と目標年度)						

活動計画	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、母子家庭の自立支援、DV被害者対応、児童虐待対応等、それぞれの相談に応じた支援・対応を行うとともに、必要に応じて他の機関のサービス・支援へとつなげ、総合的な相談窓口としての役割を担います。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	相談件数	76,648 件	—	77,404 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	各区の「子ども・家庭相談コーナー」において、子ども・家庭相談員等が、来所、電話、訪問、手紙など、様々な形態による相談に応じています。その相談件数を活動指標として設定しました。			—			順調
	(最終目標と目標年度)						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	子どもと家庭に関するあらゆる相談に応じ、それぞれの内容に応じた支援・対応を行い、相談者の不安や負担感の軽減を図るとともに、関係機関との連携により一定の成果をあげており、事業の適切な運営がなされています。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	事業実施にあたり、計画的な研修を通じて相談員の資質の向上を図るなど効率的な運営をしています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子育て支援課
課長名	西尾

事業名	生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業の充実					施策番号 II - 3 - (1) - ④	
	子育ての孤立化を防ぎ、乳児の健全な育成環境の確保を図るため、生後4か月までの乳児がいるすべての家庭を訪問し、子育て情報の提供を行うとともに、さまざまな不安や悩みを聞き、支援が必要な家庭に対して適切な指導や支援、サービス提供に結びつけます。また、関係機関と連携し、地域での見守り体制を強化するとともに、訪問員のスキルアップを図ります。					事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	事業費	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 「のびのび赤ちゃん訪問事業」の総額 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長 人 係長 0.05 人 職員 0.30 人
		44,211 千円	45,590 千円			2,750 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、子育ての孤立化を防ぐために、様々な不安や悩みを聞き、子育て支援に関する必要な情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭に対しては適切なサービス提供に結びつけることにより、地域のなかで子どもが健やかに育成できる環境整備を図ります。	成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	児童虐待対応件数	322 件	減少	346 件	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待防止につながり、結果として、児童虐待対応件数の減少として現れることから、成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)			- %		
				やや遅れ	順調	
(最終目標と目標年度)			%	遅れ		

活動計画	訪問を継続実施し、訪問担当者に対する研修会を行うなど、事業の充実を図ります。訪問等で直接面接して情報を提供します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	専門職による訪問	5,855 件	適切な訪問	6,273 件	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	全戸家庭訪問により、母体の健康保持および胎児の健やかな発育を促すためには、専門職の訪問が必要なため指標に掲げました。			- %		
					やや遅れ	順調
			%	遅れ		

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、 外部要因などの視点	対象家庭に専門職と地域支援者が協働して訪問し、面接できなかった家庭に対しても、その後の乳児健診において支援を行ったため順調と判断しました。子育ての孤立化を防ぎ、地域での見守り体制を充実していくために、今後も事業を継続します。
	【経済性】(同成果を低コストで) 【効率性】(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	無償で活動している地域の主任児童委員と、専門職が協働で実施しているため、これ以上のコスト削減は困難です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局
		担当課	保育課
		課長名	重谷
事業名	保育カウンセラー事業		
	施策番号 II - 3 - (1) - ④		
事業概要	虐待等が疑われる子どもやその保護者に対する保育所の保育指導や相談機能の強化、家庭保育力の向上を図るため、保育所の訪問等を行うカウンセラー事業を実施するもの。		
コスト	事業費	24年度執行額 1,426 千円	25年度当初予算額 (事業費備考) 3,582 千円
	人件費	目安の金額 5,300 千円	課長 0.20 人 係長 〃 職員 0.40 人
		事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 (人件費備考)	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 虐待等が疑われる子どもや、その保護者に対応する保育所の保育指導や相談機能の強化、家庭保育力の向上を図るため、対象の保育所に訪問し、対象児の観察、保育所職員のカウンセリング等を行います。	成果実績	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所に訪問し、前年度を上回る件数の事例について、保育所の負担軽減を行いました。			
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待防止につながり、結果として、児童虐待対応件数の減少として現れることから、成果指標として掲げました。最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)	322 件	減少	346 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    <b>順調</b>

活動計画	臨床心理士と保育課保育士が、虐待等が疑われる子どもや、その保護者に対応する保育所を訪問し、助言、指導等を実施します。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	臨床心理士と保育課保育士による保育所訪問等、保育所への対応の回数 臨床心理士と保育課保育士が保育所を訪問し、虐待等の疑われる子どもの観察、指導・保育所職員のカウンセリング等を実施することが保育所の質の向上になるので指標として掲げました。	99 回	100 回	99 回 99.0 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック    <b>順調</b>

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	虐待の疑われる子どもやその保護者に対応する保育所(53か所)を訪問、報告の上った全事例について保育所への助言、指導等を通し、虐待への意識の向上、保育所の負担軽減を行いました。また、訪問して一定期間後に電話連絡等のフォロー(69か所)を行い、継続した支援を行いました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	保育カウンセラーの賃金は子ども総合センターの臨床心理士報酬費に基づき、金額を設定しています。カウンセリング等の専門的指導をする上で、これ以上のコスト削減はできません。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	子ども総合センター
課長名	高橋

事業名	虐待の早期発見・迅速かつ適切な対応及び児童への支援のための連携強化				施策番号 II - 3 - (1) - ④	
	事業概要 児童虐待の早期発見及び被虐待児童の迅速かつ適切な保護を行うため、関係機関との連携強化を図り、児童虐待の防止等のために必要な体制を整備するとともに、関係機関等の職員の研修及び広報活動を行う。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額	課長 0.80 人
	14,652 千円	16,710 千円			33,200 千円	係長 0.90 人 職員 2.00 人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか 児童虐待は子どもに対する最大の人権侵害です。関係各機関が連携を図ることで、児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応及び適切な支援ができるようになることを目指します。	成果実績	成果状況は下記のとおりです。			
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	児童虐待対応件数 児童虐待の発生予防に努めるとともに、早期発見、早期対応により、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりを進めることが児童虐待対応件数の減少につながることから、成果指標として掲げました。 最終目標は、「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	322 件	減少	346 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック    順調

活動計画	児童虐待相談対応の強化を図ります。	活動実績	活動結果は下記のとおりです。			
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	児童虐待問題連続講座の参加者数 市民や関係機関職員を対象にした「児童虐待問題連続講座」を11月に開催するので、参加者数を指標として掲げました。	266 人	単年度目標設定なし	257 人	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	児童虐待対応リーダー養成研修の参加者数 児童虐待の早期対応を図るため、保育所、学校等の職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」を毎年実施しています。毎年対象施設が異なるため、参加者数も変動しますが、指標として掲げました。	154 人	単年度目標設定なし	242 人	やや遅れ 遅れ	順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	関係機関職員を対象とした「児童虐待対応リーダー養成研修」や市民や関係機関職員に対する「連続講座」などを実施した結果、児童虐待通告件数は、平成23年度に比べ15%(平成24年度:452件)と大幅に増加しています。これに対して、通告のうち虐待と認められたものの児童虐待対応件数は、平成23年度に比べ7.5%(平成24年度:346件)の増加に留まっており子どもプランの目標設定時(平成20年度374件)と比較すると概ね順調に減少しています。このことから、児童虐待の早期発見や早期対応など、虐待が深刻化する前に適切な支援ができる社会環境づくりが進んでいると考えられます。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	児童虐待対応は、子どもの安全が最優先であり、法的にも、区や児童相談所がマネジメントの主体とならざるを得ません。また、児童虐待に関する研修や啓発については、専門的な知識や経験が必要で、学識経験者等による講義に加え、一部研修では経験を積んだ職員が講師を行うなど、効率的に実施しています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課	
		課長名	櫻江	
事業名	男女共同参画基本計画推進事業(市の付属機関等における女性の参画拡充の促進)			施策番号
				II - 3 - (2) - ①
事業概要	市の付属機関及び市政運営上の会合への女性委員の参画の拡充を図ります。			事業手法
				<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費
	0 千円	0 千円		目安の金額
				課長 0.05 人
				係長 0.05 人
				職員 0.05 人
				(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	男女共同参画社会の形成の推進のためには、政策・方針決定過程への女性の参画の拡大が重要なことから、市の付属機関及び市政運営上の会合への女性委員の参画の拡充を図ります。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	市の審議会等委員への女性の参画率	36.1 %	40.0 %	40.7 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	市政にもっと女性の意見や視点などを反映させる観点から、女性委員の参画拡充を図ります。最終目標は「男女共同参画基本計画(第2次)で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 40%(25年度)			101.8 %			
	女性委員のいない市の審議会等の数	3	0	0	やや遅れ 遅れ		大変順調
市政にもっと女性の意見や視点などを反映させる観点から、女性委員の参画拡充を図ります。最終目標は「男女共同参画基本計画(第2次)で設定したものです。 (最終目標と目標年度)0(25年度)	100.0 %						

活動計画	・付属機関等委員改選に係る事前協議及び個別ヒアリングを実施します。(市が直接実施) ・付属機関等女性委員参画率の調査、集計、結果公表を行います。(市が直接実施)			活動実績	活動の状況は下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	関係団体等への働きかけ	—	—	—	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	関係団体等に対し、市の付属機関及び市政運営上の会合への女性委員の参画拡充の働きかけを行った。			— %			
					やや遅れ 遅れ		大変順調
	%						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	地域、各種団体、企業等の協力の下、市役所全体で女性委員の参画拡充に取り組んだ結果、目標である「平成25年度 40%」を1年早く達成しました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	今後も、コストをかけずに、引き続き、市の付属機関等への女性の参画拡充を図っていきます。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題
	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

<b>事業名</b> 拠点施設における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発		担当局		子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課		
<b>事業概要</b> 男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディス(もじ・やはた)において、性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を実施します。		課長名		櫻江	
		施策番号 II - 3 - (2) - ①			
<b>コスト</b>	24年度執行額 7,928 千円	25年度当初予算額 8,166 千円	(事業費備考) 男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業の一部	目安の金額 1,105 千円	課長 0.02 人 係長 0.05 人 職員 0.05 人
	事業費		人件費	事業手法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)	

【Plan】計画 →				【Do】実施 → 【Check】評価		
<b>目的</b> 何を(誰を)どのような状態にしたいのか	本市における男女共同参画社会形成の拠点施設である男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて、性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を行い、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。			<b>成果実績</b>	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合	38.7 %	減少	(H29年度調査予定)	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	広報・啓発事業の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」を設定しました。 (最終目標と目標年度)減少					順調
	(最終目標と目標年度)減少					

<b>活動計画</b> 男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて、性別による固定的役割分担意識解消のための講座等を開催します。(指定管理委託)				<b>活動実績</b>	活動の状況は、下記のとおりです。	
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画講座・講演会等開催件数	211 件	同程度	212 件	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男女共同参画講座・講演会等を開催します。			—		順調
	ムーブ及びレディスでの男女共同参画講座・講演会等参加者数	39,131 人	同程度	37,243 人	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	順調
性別による固定的役割分担意識解消のための広報・啓発を進めるため、ムーブ及びレディスにおいて男女共同参画講座・講演会等を開催します。	—					

【Check】評価(分析)	
<b>分析及び課題の整理</b> 【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「北九州市の男女共同参画社会に関する調査」において「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」が薄れる結果となりました。
「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入し、効率的かつ経済的な事業実施に努めています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
<b>見直し状況等</b>	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

		担当局	子ども家庭局	
		担当課	男女共同参画推進課	
		課長名	櫻江	
事業名	地域における固定的役割分担意識解消のための広報・啓発			
		施策番号		
		II - 3 - (2) - ①		
事業概要	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等から、固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を市民センターなど市内一円でを行い、男女共同参画に関する理解を深めていきます。			
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 地域における男女共同参画推進啓発事業本事業はその一部	目安の金額
	3,969 千円	6,132 千円		課長 0.03 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人
事業費				人件費
		(人件費備考)		
		<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	地域で活動しているNPO等と協働で、固定的役割分担意識解消のための広報・啓発事業を市民センターなど市内一円でを行い、男女共同参画に関する理解を深め、男女共同参画社会の実現を目指します。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合			(H29年度調査予定)	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	広報・啓発事業の成果として、概ね5年おきに実施される「北九州市の男女共同参画社会に関する調査結果」の「性別による固定的役割分担意識に肯定的な人の割合」を設定しました。 (最終目標と目標年度)減少	38.7 %	減少				
(最終目標と目標年度)					順調		

活動計画	・北九州市女性団体連絡会議との協働による「男女共同参画フォーラムin北九州」を開催します。(一部補助) ・NPO等の公募制による男女共同参画に関する広報啓発事業を実施します。(一部委託)			活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。		
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募制)の実施回数			72 回	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めます。	74 回	同程度				
「男女共同参画フォーラムin北九州」及び男女共同参画に関する広報啓発事業(公募制)の参加者数				5,659 人		順調	
北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で当事業を実施し、地域における男女共同参画に関する理解を深めます。	5,414 人	同程度					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と協働で、「男女共同参画フォーラムin北九州」や男女共同参画に関する広報啓発事業を市内一円で概ね計画どおり実施しました。上記成果実績のとおり、地域における男女共同参画の推進を図ることができました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	北九州市女性団体連絡会議やNPO等と連携を図って広いネットワークを活用しながら、多くの市民に対して継続的に広報・啓発活動を効率的かつ経済的に実施しています。

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

事業名	地域ぐるみで働き方を見直す体制の推進				施策番号 II - 3 - (2) - ②	
	事業概要 誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、市民や企業に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行います。				事業手法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他 ( ) (人件費備考)	
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) ワーク・ライフ・バランス推進事業 本事業はその一部	目安の金額	課長	0.02人
	9,633 千円	10,531 千円		1,980 千円	係長	0.10人
					職員	0.10人

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を) 企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心どのような状態に、市民や企業等に対してワーク・ライフ・バランスの理解促進のための啓発事業等を行い、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現していきます。			成果実績	男女共同参画社会に関する調査(平成23年度)において、ワーク・ライフ・バランスという言葉の認知度が64%となりました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合 仕事と生活のバランスについて、「希望」と「現実」が一致している人が少なく、保護者が望むワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	子育て中の労働者で過労働時間60時間以上の雇用者の割合 子どもと向き合う時間をとれるようにするとともに、子どもの病気など生活上必要などときに対応できるようにするためには、長時間労働の解消が必要であることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	29.0 %	減少	32.0 %	やや遅れ		
					遅れ	順調	

活動計画	・「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催します。(市が直接実施) ・従業員向け広報啓発や、「ワーク・ライフ・バランス新聞」の小・中学校等全保護者へ配付します。 ・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業を実施します。(一部委託)			活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」の開催回数 企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を運営し、本市におけるワーク・ライフ・バランスの推進施策について協議するとともに、啓発事業を実施します。	3 回	3 回	3	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間参加者数			100.0 %	やや遅れ		
	ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーン協賛事業のうち学校開放週間への参加を促進し、ワーク・ライフ・バランスの推進をPRします。	87,777 人	増加	85,512 人	遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点 <b>【経済性】</b> (同成果を低コストで) <b>【効率性】</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、「ワーク・ライフ・バランス新聞」を製作し、市内の保育所、幼稚園、小・中、特別支援学校の全保護者へ配付を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、ワーク・ライフ・バランスという言葉は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取り組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけていきます。
-----------	---	---	---

以下、予算案作成時に記入

【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入	
見直し状況等	課題 26年度の活動計画(見直し内容)
	その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

事業名	企業等におけるワーク・ライフ・バランス推進の支援				施策番号		
					II - 3 - (2) - ②		
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行います。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他	
						( )	
コスト	事業費	24年度執行額 4,344 千円	25年度当初予算額 5,360 千円	(事業費備考) ワーク・ライフ・バランス事業 本事業 はその一部	人件費	目安の金額 2,095 千円	課長 0.03 人 係長 0.10 人 職員 0.10 人
	(人件費備考)						

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どの様な状態にしたいのか	企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。			成果実績	(公財)日本生産性本部が実施する「第6回ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を本市を拠点とする2社が入賞し、また福岡県内初の受賞という快挙であります。
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合 仕事と生活のバランスについて、「希望」と「現実」が一致している人が少なく、保護者が望むワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)増加(26年度)	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	子育て中の労働者で過労働時間60時間以上の雇用者の割合 子どもと向き合う時間をとれるようにするとともに、子どもの病気など生活上必要なときに対応できるようにするためには、長時間労働の解消が必要であることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度)減少(26年度)	29.0 %	減少	32.0 %		
						やや遅れ 遅れ

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業向け講演会や、アドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。(一部委託)</li> <li>従業員向け広報啓発や、ワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業・事業所に呼びかけます。(一部委託)</li> <li>ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業を行います。(一部委託)</li> </ul>	活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。
------	--	------	------------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数	5 社(人)	同程度	9 社(人)	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	ワーク・ライフ・バランスに積極的に取組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することにより、企業等における取組みを支援・促進します。					
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数	11 回	同程度	10 回	やや遅れ 遅れ	順調
新たにワーク・ライフ・バランスに取組もうとする事業者等や、その充実を図ろうとする事業者等に対し、アドバイザー(社会保険労務士)を派遣して、その取組みを支援・促進します。						

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス新聞」を市内事業所へ配付を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけていきます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

事業名	配偶者等からの暴力対策事業				施策番号	
					II - 3 - (2) - ③	
事業概要	男女がともに個人として尊重され、女性に対する暴力等、人権侵害行為のない社会を実現することを目標に、配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力について正しく認識し、それぞれの人権を尊重する意識を醸成するために事業を行います。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
						(人件費備考)
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 男女共同参画基本計画推進事業 本事業はその一部	人件費	目安の金額	課長 0.05 人 係長 0.15 人 職員 0.15 人
	5,717 千円	7,203 千円			3,200 千円	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	男女がともに個人として尊重され、女性に対する暴力等、人権侵害行為のない社会を実現するため、配偶者や恋人等、親しい関係にある人からの暴力について正しく認識し、それぞれの人権を尊重する意識を醸成します。	成果実績	男女共同参画社会に関する調査(平成23年度)においてDV被害の相談窓口として、警察や区役所の認知度が上がりました。		
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】
	配偶者等との間における「平手で打つ」について、暴力と認識する人の割合			—	大変順調 順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック
	DV(配偶者等からの暴力)を根絶するためには、暴力に関する正しい認識の周知・啓発が不可欠であると考え、成果指標として設定しました。 (最終目標と目標年度)100%(25年度)	55.2 %	100 %			
	配偶者等との間における「殴るふりをしておどす」について、暴力と認識する人の割合			—	やや遅れ 遅れ	やや遅れ
DV(配偶者等からの暴力)を根絶するためには、暴力に関する正しい認識の周知・啓発が不可欠であると考え、成果指標として設定しました。 (最終目標と目標年度)100%(25年度)	57.9 %	100 %				

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発リーフレットの作成し、配付します。(一部委託)</li> <li>・NPO等との協働による出前講座など、地域・学校などにおけるDV対策広報啓発事業を実施します。(一部補助・一部委託)</li> <li>・DV対策関係機関連絡会議を開催します。(北九州市が直接実施)</li> <li>・DV相談業務(配偶者暴力相談センター、ムーブ等)等によるDV被害者を支援します。(一部委託)</li> </ul>			活動実績	活動状況は以下のとおりです。		
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	DV・デートDVの予防啓発に関する出前講演等の実施回数			41 回	大変順調 順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	NPO等との協働やムーブ主催の出前講演等により、地域・学校等におけるDVに対する正しい理解を深め、潜在しているDV被害者の支援に努めます。	45 回	増加				
DV・デートDVの予防啓発に関する出前講演等の参加者数			5,590 人	やや遅れ 遅れ	順調		
NPO等との協働やムーブ主催の出前講演等により、地域・学校等におけるDVに対する正しい理解を深め、潜在しているDV被害者の支援に努めます。	5,904 人	増加					

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	DV相談窓口紹介カード等を公共施設等に配付したり、NPO等と連携して地域や学校において出前講演を開催するなど、DV対策啓発事業を実施しました。また、DV被害者支援のため、警察など関係機関との連絡会議を開催して情報を共有するとともに、相互に連携を図りながらDV相談業務を行うなど、概ね計画どおり実施しました。配偶者等からの暴力に関する正しい認識の促進を引き続き図るため、今年度は特に若年層を対象としたデートDV予防啓発を重点的に実施し、出前講演実施後のアンケートからも成果が上がったことが伺えたことなどから、順調としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	NPO等との連携を図って、出前講演等を実施するなど、経済性・効率性は高いと考えます。また、地域で活動するファシリテーター等のスキルアップを図りながら、さらに効果的な啓発につとめます。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

事業名	企業等におけるワーク・ライフ・バランス推進の支援				施策番号	
					Ⅲ - 3 - (3) - ③	
事業概要	誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現するため、企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行います。				事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) ワーク・ライフ・バランス推進事業 本事業はその一部	人件費		目安の金額
	4,344 千円	5,360 千円			2,095 千円	(人件費備考)

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どの様な状態にしたいのか	企業・働く人・市民・行政で構成された「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心に、ワーク・ライフ・バランスの推進及び実践に向けた企業等の取組支援や啓発事業等を行うことにより、誰もが多様な働き方や生き方が選択でき、活力ある豊かな社会を実現できるようにします。		成果実績	(公財)日本生産性本部が実施する「第6回ワーク・ライフ・バランス大賞」優秀賞を本市を拠点とする2社が入賞し、また福岡県内初の受賞という快挙であります。
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→ 【成果の状況】
	子育て中の労働者で仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合 仕事と生活のバランスについて、「希望」と「現実」が一致している人が少なく、保護者が望むワーク・ライフ・バランスが実現していないことから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 増加(26年度)	30.3 %	増加	29.8 %	大変順調 順調
	子育て中の労働者で過労働時間60時間以上の雇用者の割合 子どもと向き合う時間をとれるようにするとともに、子どもの病気など生活上必要なときに対応できるようにするためには、長時間労働の解消が必要であることから成果指標として掲げました。最終目標は「元気発進！子どもプラン」で設定したものです。 (最終目標と目標年度) 減少(26年度)	29.0 %	減少	32.0 %	やや遅れ 遅れ 順調

活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業向け講演会や、アドバイザー派遣などによる企業等に対する働きかけを行います。(一部委託)</li> <li>・従業員向け広報啓発や、ワーク・ライフ・バランス表彰の実施を市内企業・事業所に呼びかけます。(一部委託)</li> <li>・ワーク・ライフ・バランス推進キャンペーンの実施などによる広報啓発事業を行います。(一部委託)</li> </ul>	活動実績	活動の状況は、下記のとおりです。
------	---	------	------------------

活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→ 【活動の状況】
	北九州市ワーク・ライフ・バランス表彰受賞者数 ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業等を表彰し、事例集等で広く紹介することにより、企業等における取組みを支援・促進します。	5 社	同程度	9 社	大変順調 順調
	北九州市ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣回数 新たにワーク・ライフ・バランスに取り組もうとする事業者等や、その充実を図ろうとする事業者等に対し、アドバイザー(社会保険労務士)を派遣して、その取組みを支援・促進します。	11 回	同程度	10 回	やや遅れ 遅れ 順調

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	<p>【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点</p> <p>「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を開催して、各構成機関で情報を共有しました。11月の推進キャンペーンでは、企業向け講演会や「ワーク・ライフ・バランス新聞」を市内事業所へ配付を行うなど、活動状況は概ね予定どおりに進みました。また、ワーク・ライフ・バランスという「言葉」は市民に浸透してきましたが、仕事と生活の両立が図られていると感じる人の割合は29.8%となっており、実践活動を通して成果実現を図っていく必要があります。</p> <p>「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点</p> <p>行政が単独で実施するのではなく、「北九州市ワーク・ライフ・バランス推進協議会」を中心として、企業・働く人・市民・行政が連携・協働して取組むことにより、効率的かつ経済的にそれぞれの立場から、地域や個人(家庭)、企業等に直接働きかけていきます。</p>
-----------	---

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

<b>事業名</b>	女性のキャリアアップ・キャリア形成等への支援					施策番号	
						IV - 3 - (2) - ②	
<b>事業概要</b>	男女共同参画センター・ムーブ及び東部・西部勤労婦人センター・レディスにおいて、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性を対象とした様々な就業支援講座を開催します。					<b>事業手法</b>	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
<b>コスト</b>	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考) 男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業の一部	人件費	目安の金額		課長 0.02 人 係長 0.05 人 職員 0.05 人
	32,938 千円	34,301 千円			1,105 千円		

## 【Plan】計画 →      【Do】実施 → 【Check】評価

<b>目的</b>	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成を図り、働く場における女性の活躍を推進します。			<b>成果実績</b>	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
<b>代表的な成果指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	効果的な講座を地域密着で開催し、就職・再就職への契機となるような取組みの促進	—	—	—	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	効果的な講座を地域密着で開催し、多くの方に受講していただき、就職・再就職への契機となるよう取り組みます。参考となる数値について、今後検討していきます。						

<b>活動計画</b>	男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて、就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行います。(指定管理委託)			<b>活動実績</b>	活動結果は下記のとおりです。		
<b>活動指標</b>	<b>指標</b> (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】	
	男女共同参画センター及び勤労婦人センターでの就業支援講座開催数	157 講座	同程度	154 講座	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	就職・再就職を目指すあらゆる世代の女性のキャリアアップ、キャリア形成の支援を行うため、男女共同参画センター・ムーブ及び勤労婦人センター・レディスにおいて就業支援講座を開催します。						
男女共同参画センター及び勤労婦人センターでの就業支援講座受講者数	8,319 人	同程度	8,864 人	順調			

## 【Check】評価(分析)

<b>分析及び課題の整理</b>	<b>【成果の状況】</b> <b>【活動の状況】</b> を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	受講者数が増加するなど、活動・成果ともに、ほぼ計画どおり行うことができたので、順調としました。
	<b>「経済性」</b> (同成果を低コストで) <b>「効率性」</b> (同コストで高成果を)の分析 ※民間活力導入の視点	ムーブ及びレディスの運営については指定管理者制度を導入し、3館で課題の共有や情報交換などを行うことで、効率的かつ経済的な事業実施に努めています。

以下、予算案作成時に記入

<b>【Action】→【Plan】</b>		上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入
<b>見直し状況等</b>	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)

# PDCAチェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	子ども家庭局
担当課	男女共同参画推進課
課長名	櫻江

事業名	公益財団法人アジア女性交流・研究フォーラム事業					施策番号	
						VII - 1 - (3) - ③	
事業概要	(公財)アジア女性交流・研究フォーラムにおいて、「国際的な最新情報の収集・発信」「成果の地域還元」「フェイスtoフェイスの国際交流」「あらゆる分野での女性のエンパワーメント」「次世代育成」「男性の視点からの男女共同参画の推進」「DV相談体制等の強化」「情報提供の充実」を目指し、様々な事業を実施します。					事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)	人件費	目安の金額		課長 0.01人 係長 0.03人 職員 0.03人
	73,109 千円	75,344 千円			640 千円		

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究、国際交流・研修、情報収集・発信等を行う(公財)アジア女性交流・研究フォーラムの活動を支援し、本市における男女共同参画社会の形成を推進します。			成果実績	下記の代表的な成果指標のとおりです。	
代表的な成果指標	指標(数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【成果の状況】	
	市民が国際的な見地から男女共同参画の推進の必要性を認識する状態	—	—	—	大変順調	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	ひとりでも多くの市民に、男女共同参画社会の推進の必要性を認識していただけるよう取り組みます。数値で示すことは難しいですが、参考指標を検討したいと考えています。	—	—	—	やや遅れ	順調	

活動計画	日本及びアジア諸国の男女共同参画に関する調査・研究事業、国際交流・研修事業、情報収集・発信事業を実施します。(補助事業)	活動実績	新たな取り組みとして、国際理解セミナー「KFAW領事館シリーズ」をスタートさせ、在福岡領事館の領事に、分かりやすいテーマで各国の男女共同参画事情をお話いただくセミナーを開催しました。				
活動指標	指標(数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段:指標名 下段:指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績(達成率)	→	【活動の状況】	
	アジア女性会議の効果的な開催	—	維持	下記【活動の状況】のとおりです。	大変順調	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック	
	海外関係機関との交流の充実	—	維持	下記【活動の状況】のとおりです。	やや遅れ	順調	

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	「第23回アジア女性会議」において、国際的な視点から、暴力のない社会づくりについて海外の専門家と共に議論し、幅広い層の市民に向けて、世界の取組について学ぶ機会を提供したり、領事館の領事などに、分かりやすいテーマで各国の男女共同参画事情をお話いただく国際理解セミナーを新たにスタートさせるなど、有効な活動を展開し、成果を得たことで「順調」としました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	これまで培ってきたネットワークを生かして、低いコストで専門家を招聘するなど、様々な視点から、コスト削減・効率化に努めています。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)